4-149-933-**02** (1)

HD カラービデオカメラ

取扱説明書

BRC-Z330

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

Printed in Japan　http://www.sony.co.jp/

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般および設置の注意事項が記されています。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

目次

はじめに

概要

メニューで行う調整と設定

付属のリモコンを使った操作

リモートコントロールユニット RM-BR300 を使った操作

設置と接続

付録

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

放熱ファンモーターの空気出入り口をふさがない

放熱ファンモーターの空気出入り口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
・ 壁から 10 cm 以上離して設置する。
・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
・ 布などで包まない。
・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。

ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。交換は、本機を購入された販売店にご依頼ください。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。
壁面や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1 年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。
また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると、倒れたり落ちたりして、故障やけがの原因となることがあります。
・ ぐらついた台の上
・ 傾いたところ
・ 振動や衝撃のかかるところ
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

カメラの取り付けネジは確実に締めつける

取扱説明書の取り付け方法に従って確実に組み立てないと、落下してけがの原因となることがあります。

壁や天井に設置するときは、AC アダプターが落下しないようにしっかり固定する

AC アダプターが落下して顔にあたると、大けがの原因となります。

⚠注意　下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

指定された電源コード、カメラケーブルなどの接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源コード、カメラケーブルなどの接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、動作不良をはじめ、火災や感電の原因となることがあります。

AC 電源コードを傷つけない

AC 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

・ コードを加工したり、傷つけたりしない
・ 重い物をのせたり、引っ張ったりしない
・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない
・ コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

運搬時には、接続ケーブルを取り外す

本機を運搬する際には、AC 電源コードおよび接続ケーブルを必ず取り外してください。接続ケーブルに引っかかると、転倒や落下の原因となることがあります。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

電池についての安全上の注意

ここでは、本機での使用が可能な単三形乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

お買い上げ店に連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

・乾電池は充電しない。
・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
・指定された種類の電池を使用する。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

・投げつけない。
・使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
・⊕と⊖の向きを正しく入れる。
・電池を入れたまま長期間放置しない。
・新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
・種類の違う電池を混ぜて使わない。
・水や海水につけたり濡らしたりしない。

その他の安全上の注意

警告

本機は電源スイッチを備えていません。
設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

はじめに

本機の性能を維持するために

使用・保管場所について

・次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。
　－極端に暑い所や寒い所 (使用温度は 0 ℃～ 40 ℃)
　－直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
　－強い磁気を発するものの近く
　－強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
　－強い振動や衝撃のある所
・携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像に影響を与えることがあります。本機の近くでは、できるだけ携帯電話などの電源を切ってください。
・**レンズを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。**
レンズを太陽や強い光源に向けたままにすると、集光により内部部品の破損の原因となります。使用しないときには太陽や強い光源に向かないように置き場所を工夫するか、レンズカバーなどを使用して保護してください。

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

輸送について

輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

・レンズや光学フィルターの表面に付着したごみやほこりは、ブロアーで払ってください。
・外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
・アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

PAN/TILT 機構について

通電中は、PAN/TILT 機構の動作を妨げないでください。故障や誤動作の原因となります。

定期メンテナンスについて

本機は駆動部を持つ製品であるため、使用条件により、磨耗やグリス切れによる異音が発生する場合があります。性能を維持するため、定期メンテナンスを行うことをおすすめします。異音などが発生した場合は、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

レーザービームについてのご注意
レーザービームは CMOS イメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOS イメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

CMOS イメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOS（Complementary Metal Oxide Semiconductor）イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOS イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。
・高温の環境で使用するとき
・GAIN（感度）を上げたとき

本機においては、カメラの電源を切り、再び電源を入れることで症状が改善することがあります。

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フォーカルプレーン

撮像素子（CMOS イメージセンサー）の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したり、横縞が流れるように見えることがあります。このようなときは、フリッカー補正機能をONにしてください（38ページ）。
条件によってはフリッカー補正機能で低減しない場合があります。
電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では1/60に設定することをお勧めします（35ページ）。

特長

パン・チルト・ズーム機能搭載の小型一体型 HD ビデオカメラ

・本カメラは、HD カメラブロックと、パン機構とチルト機構および光学 18 倍 / デジタル 4 倍ズームレンズを搭載した、小型一体型ビデオカメラです。小型一体型のため、幅広い用途に対応できます。
・パン方向の動作角度は左右に ± 175 度、チルト方向の動作角度は上方向へ 90 度、下方向へ 30 度まで可能なため、広範囲のリモート撮影ができます。
・パン・チルト機構には、騒音が気にならない静音設計を採用しています。

ハイビジョン対応 HD CMOS カメラ搭載による高画質・高解像度のリモート撮影

・総画素数 225 万画素、1/3 型 CMOS イメージセンサーを搭載したカメラシステムを開発、高精細なハイビジョン映像を撮影でき、高感度でスミアのない高画質を実現しました。
・ハイビジョン放送で使用されている 1080i（有効走査線 1080 本インターレース）での撮影が可能です。さらに、1080/59.94i 方式と 1080/50i 方式のハイビジョン方式を底面のスイッチで切り換えることができます。
・通常のテレビ放送（有効走査線 480 本）の約 4 倍の情報量とアスペクト比 16：9 のワイドスクリーンでの臨場感あふれる撮影ができます。

HD マルチフォーマット出力を装備

本カメラは 1080i 方式の出力に加え 720p（有効走査線 720 本プログレッシブ）方式の出力へも対応しています。底面のスイッチで切り換えることができます。また、底面のスイッチで 720/59.94p 方式と 720/50p 方式を切り換えることができます。

ダウンコンバーター出力を装備

オプションカードを装着することなく、標準で HD[1] および SD[2] 出力が可能です。現在は SD 出力として運用し、将来的には HD 出力へ移行する予定がある場合などにも対応できます。
HD 出力として、アナログコンポーネント信号出力端子を標準装備しています。また、SD 出力として、コンポジット信号出力端子、S ビデオ出力端子を標準装備しています。

[1] HD とは、ハイビジョン放送方式（有効走査線 1080 本）を示します。
[2] SD とは、通常のテレビ放送方式（有効走査線 480 本）を示します。

カードスロットの装備

別売の HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1、HD-SDI 出力カード BRBK-HD2、HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2、アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1 を装着できるカードスロットを装備しています。お客様のお好みに合った画像出力フォーマットが選択可能となり、幅広いアプリケーション要求に対応できます。

長距離の画像伝送とパン・チルト・ズーム制御を実現

・HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1、光ファイバーケーブル CCFC-S200 および HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 を組み合せ、ソニー独自のカメラ接続技術と光デジタル多重伝送を行うことで、最大 2,000 m の長距離までカメラ画像伝送とパン・チルト・ズーム制御ができます。光ファイバーケーブルを使用することで、長距離のシステムアップも安価で簡単にできます。
・付属のシーリングブラケットを使用することで、天吊りや高所設置が可能です。

VISCA カメラプロトコルの採用

・本カメラには通信方式 RS-232C と RS-422 インターフェースを搭載しています。業界標準の VISCA カメラプロトコルをサポートし、最大 7 台のカメラを接続して高速通信速度対応（38400 bps）遠距離操作が可能です。
・別売のリモートコントロールユニット RM-BR300 により、カメラ操作が簡単に行えます。

外部映像同期機能の搭載

複数台のカメラ映像同期がとれる外部映像同期機能を搭載しています。

タリーランプ機能の搭載

使用中のカメラが一目でわかるタリーランプを搭載しています。

COLOR AE 機能の搭載

特定の色に対して露出を自動調整する COLOR AE 機能を搭載しています。

ND フィルター内蔵

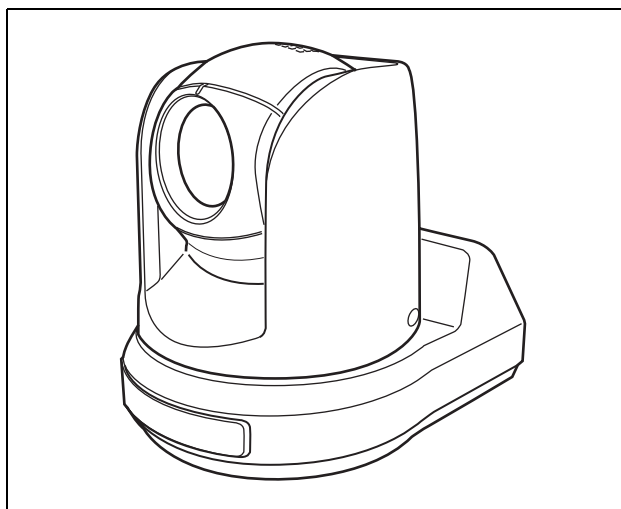
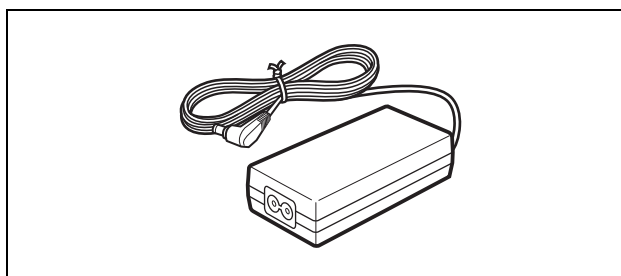
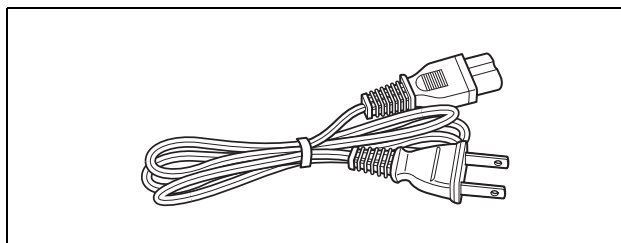
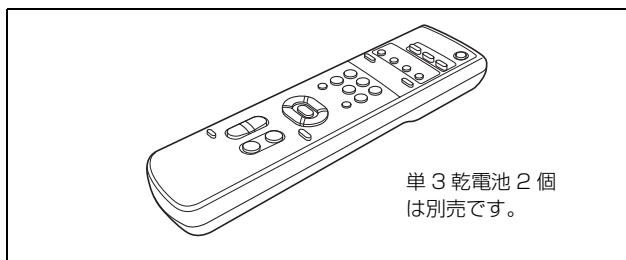
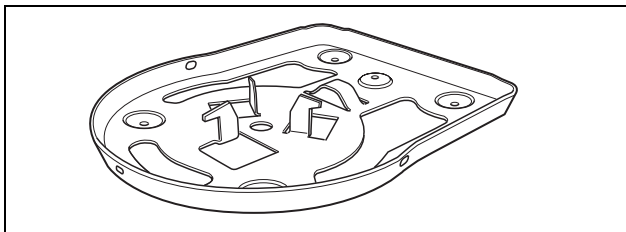
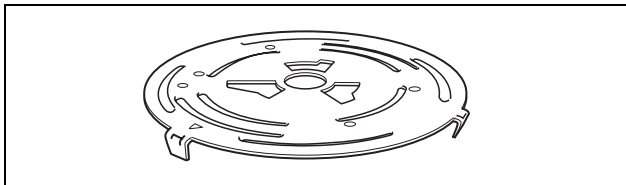
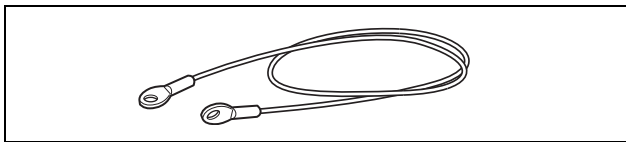
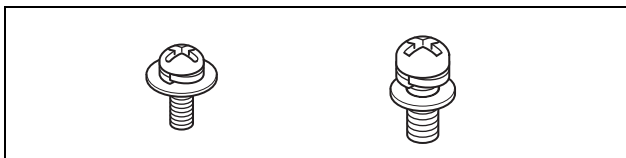
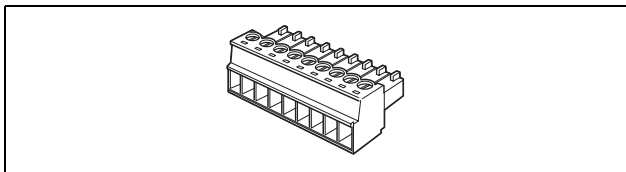
本カメラ内蔵の ND フィルターで光量の調節をすることができます。メニューから 1/4 と 1/16 を選択でき、リモコンからも設定可能です。

システムの構成機器

HD カラービデオカメラ BRC-Z330 には、多様なシステム構成に対応できるように、さまざまな別売機器が用意されています。ここでは、本ビデオカメラの付属品と別売機器を紹介します。

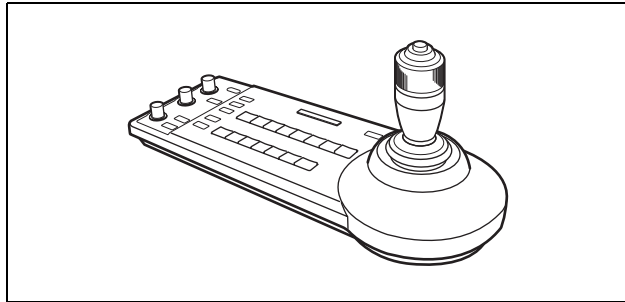
付属品

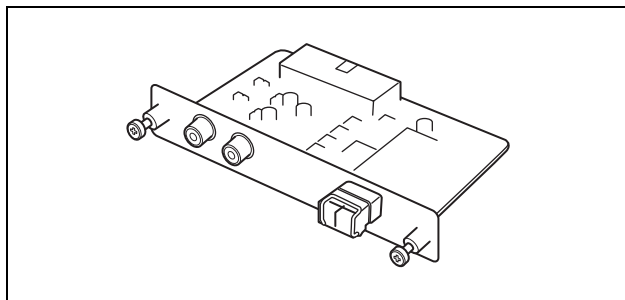
HD カラービデオカメラ BRC-Z330 の付属品は以下のとおりです。梱包をあけたら、以下の付属品が一式そろっているか確認してください。

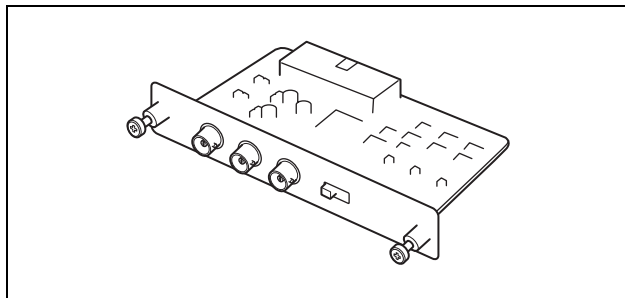
カメラ本体 （1）

AC アダプター MPA-AC1（ソニー製）（1）

電源コード （1）

リモコン　(1)

シーリングブラケット (A)　(1)

シーリングブラケット (B)　(1)

ワイヤーロープ　(1)

取り付け用ネジ ⊕M3 × 8（7）/ ステンレスネジ ⊕M4 × 8（1）

RS-422 端子台コネクター（1）

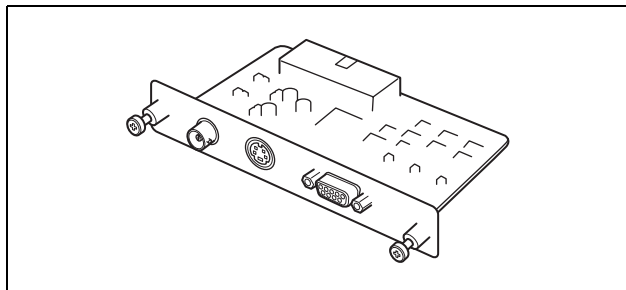
取扱説明書　(1)

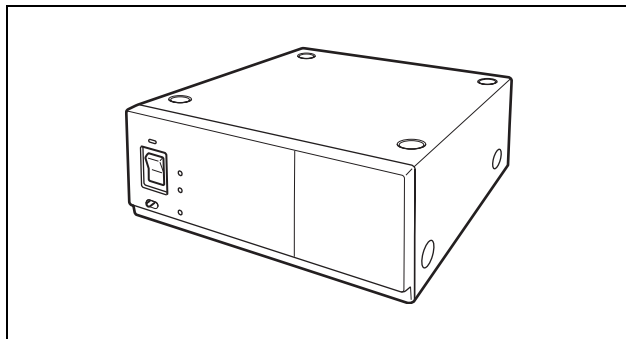
別売機器

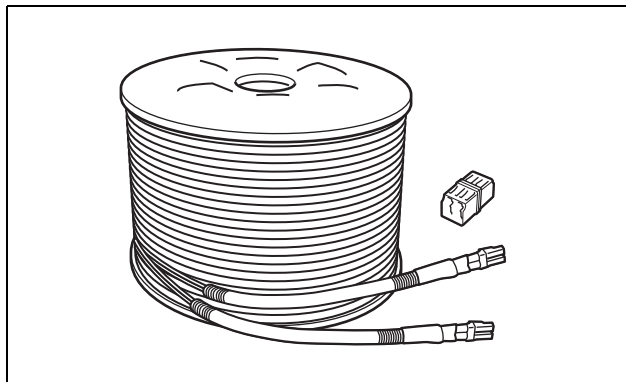
リモートコントロールユニット RM-BR300

ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。また、最大7台のカメラをリモートコントロール可能です。
付属品：AC アダプター（1)、電源コード（1)、
RS-232C 接続ケーブル（3 m）(1)、RS-422 端子台コネクター（2)

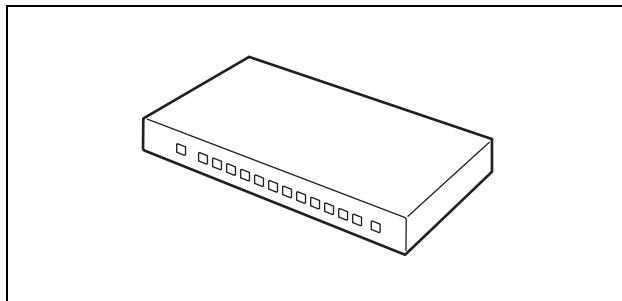
HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1

カメラに挿入して、高ビットの光デジタル多重伝送（映像、音声、外部同期、コントロール信号）を行います。

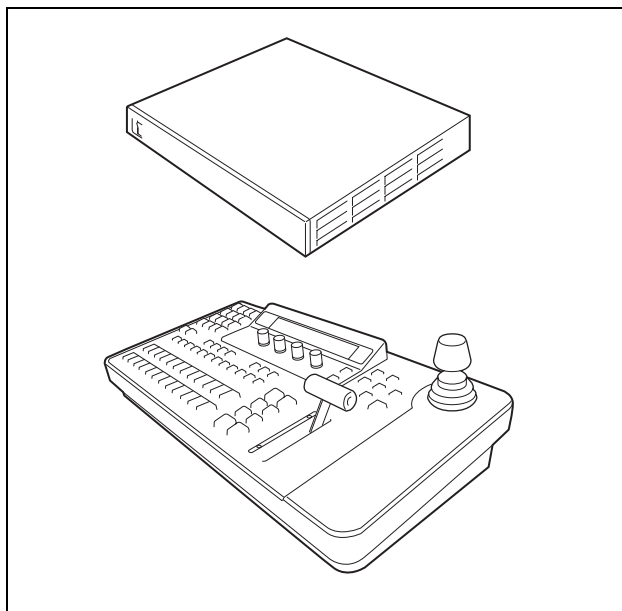
HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2

カメラに挿入して、SMPTE292M シリアルデジタルインターフェース規格に準拠した HD-SDI 信号、または SMPTE259M シリアルデジタルインターフェース規格に準拠した SD-SDI 信号を出力します。ただし、オーディオ信号は出力しません。

アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1

各種 SD アナログ信号（コンポジットビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオ、RGB）を出力します。

HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10

光ファイバーケーブル CCFC-S200 を使って、最大 2,000 m までの接続が可能です。
付属品：AC アダプター（1）、電源コード（1）、DC コード抜け止め（1）、RS-232C 接続ケーブル（3 m）（1）、RS-422 端子台コネクター（1）

光ファイバーケーブル CCFC-S200

長さ 200 m の 2 芯シングルモードの光ファイバーケーブルです。
付属の延長プラグを使用して最長 2,000 m まで伝送できます。
付属品：延長プラグ（1）

ビデオスイッチャー（市販）

複数のカメラ映像信号入力を切り換えます。

リモートカメラオペレーティングスイッチャー BRS-200

カメラコントローラーとして、パン・チルト、ズームなどの操作ができます。また、同時にスイッチャーとして複数のカメラ映像信号入力の切り換えなどが行えます。
付属品：AC 電源コード（1）、AC アダプター（1）、AC アダプター用 AC コード（1）、コントロールケーブル（BRS-200PR、BRS-200CP 間接続用）（1）、RS-422 端子台コネクター（1）、ラックマウント取り付け金具（1 組）、ラックマウント取り付け金具用ビス（2）、DC IN 端子抜け防止金具（1）

詳しくは、お買い上げ店へお問い合わせください。

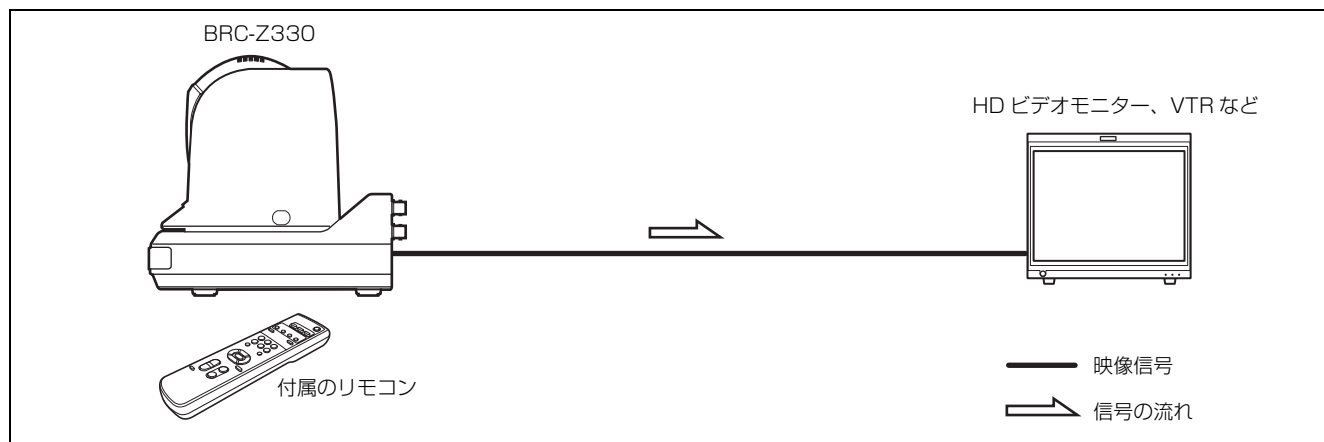
システム構成例

HD カラービデオカメラ BRC-Z330 は、別売機器との組み合わせにより、さまざまなシステムを構成できます。ここでは、代表的なシステム例をあげて、システムの構成に必要な機器とそのシステムでどんなことができるかを説明します。

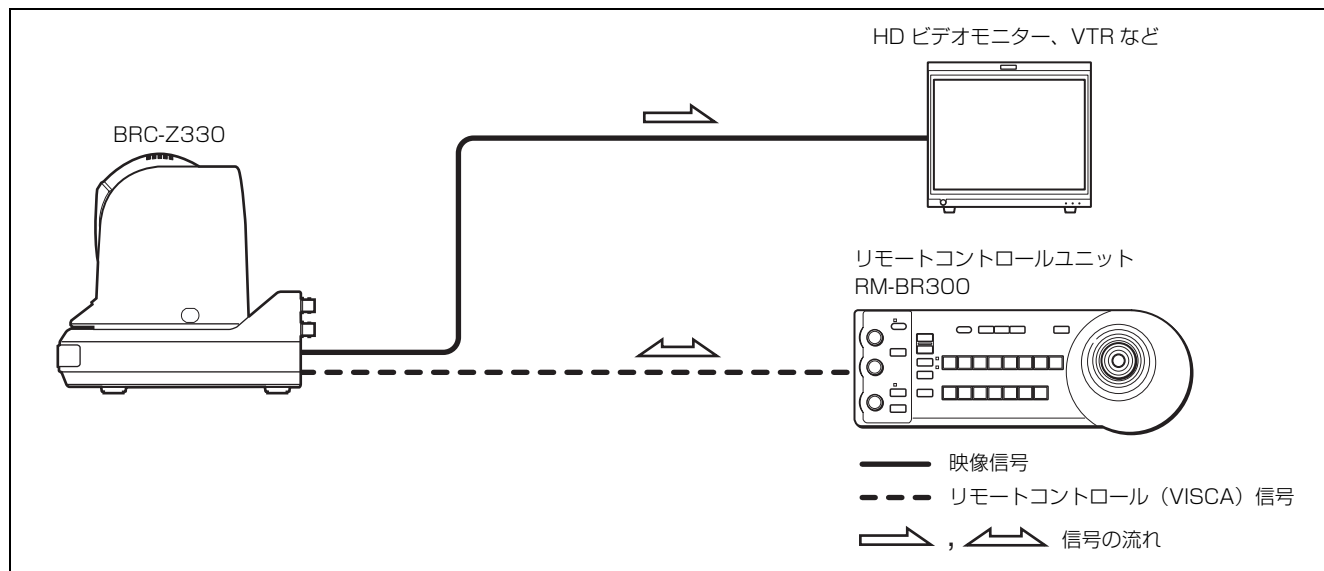
1 台のカメラ BRC-Z330 を付属のリモコンで操作するとき

このシステムでできること

短距離で簡単にカメラを操作できます。

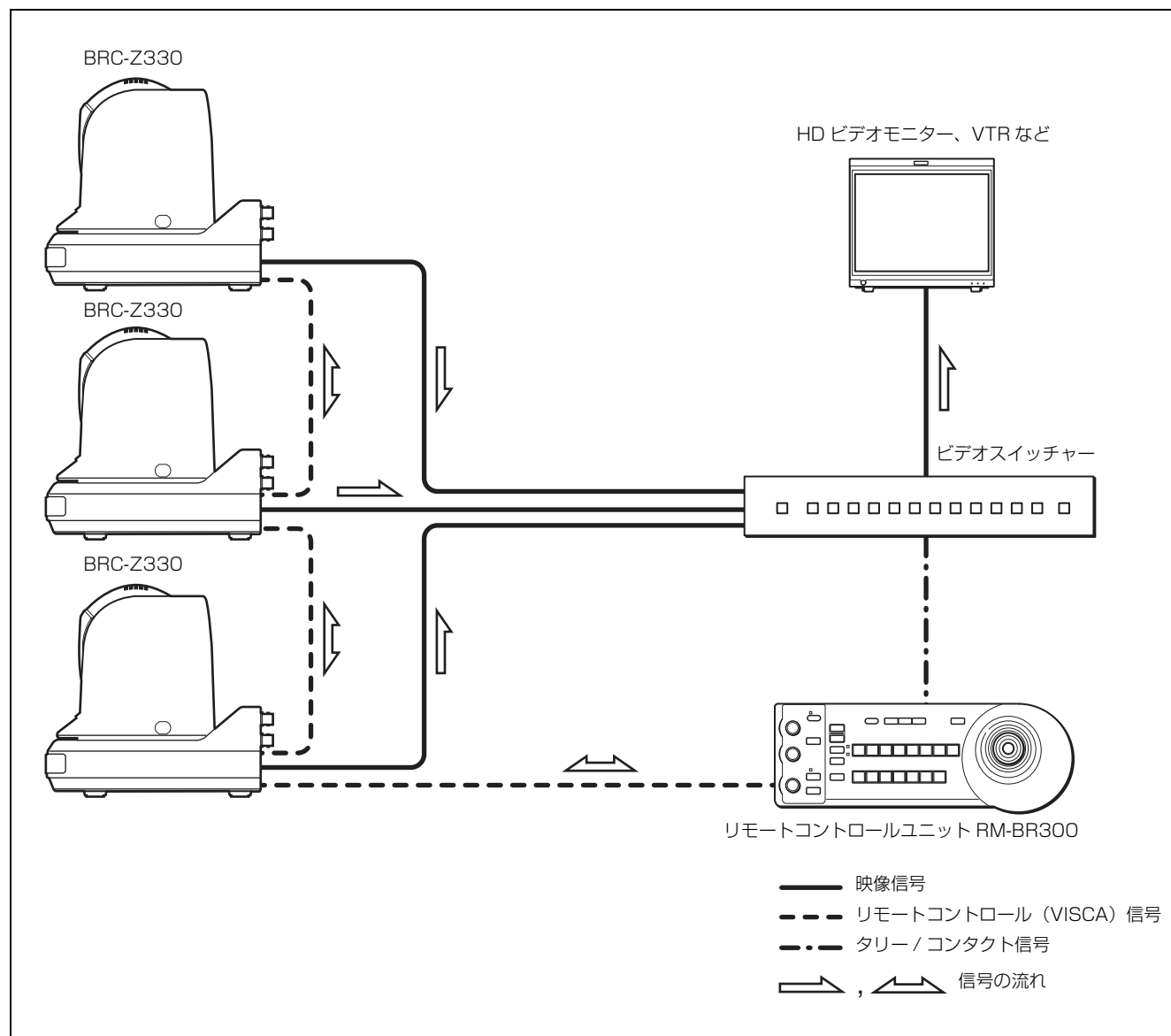
システム構成図

1 台のカメラ BRC-Z330 をリモートコントロールユニット RM-BR300 で操作するとき

このシステムでできること

リモートコントロールユニットのジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。

システム構成図

複数のカメラ BRC-Z330 をリモートコントロールユニット RM-BR300 で操作するとき

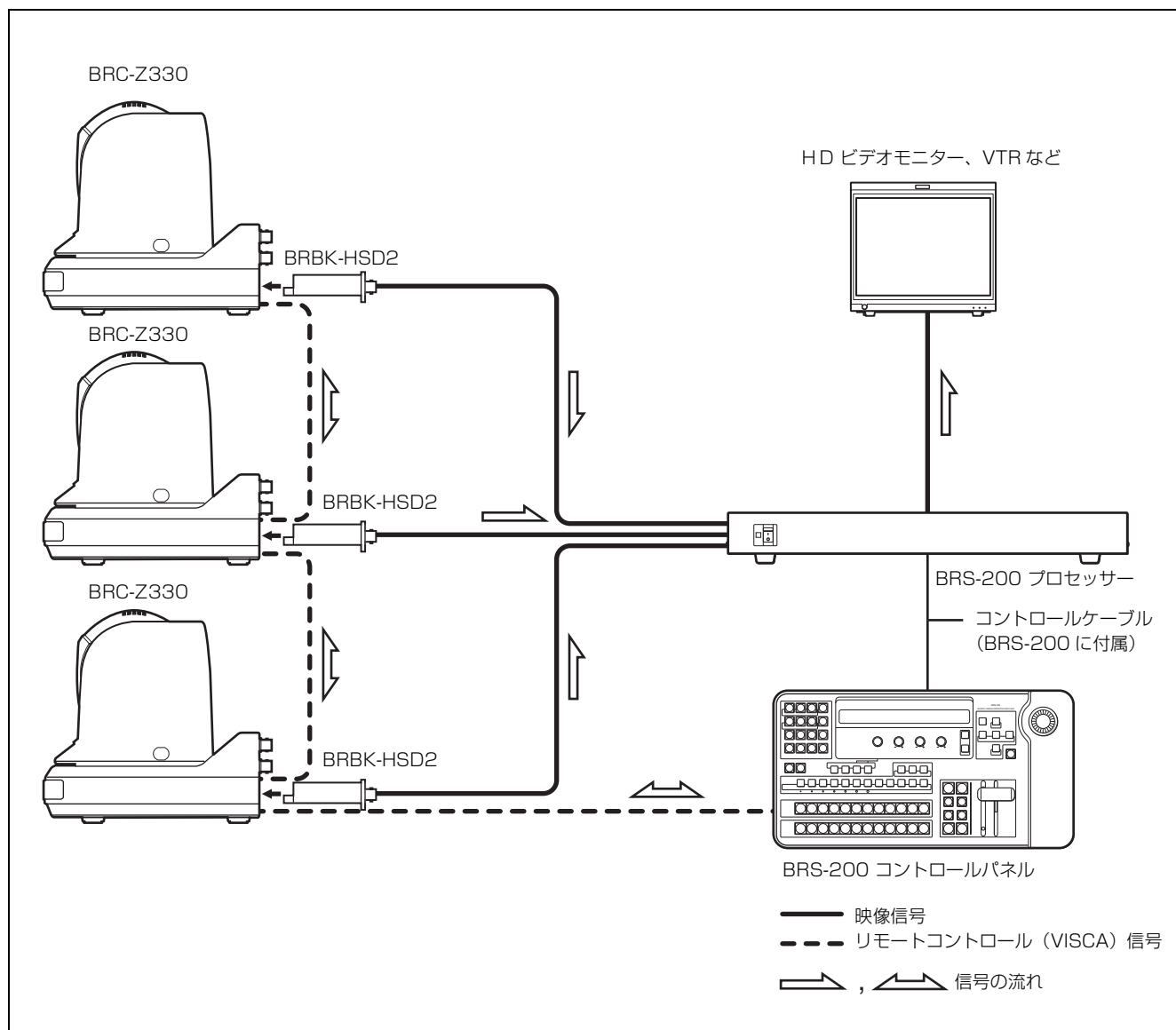
このシステムでできること

・７台までのカメラを１台のリモートコントロールユニットでリモート操作できます。
・ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。

システム構成図

複数のカメラ BRC-Z330 をリモートカメラオペレーティングスイッチャー BRS-200 で操作するとき

このシステムでできること

・7台までのカメラを1台のリモートカメラオペレーティングスイッチャーでリモート操作、およびスイッチャー操作ができます。
・ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。

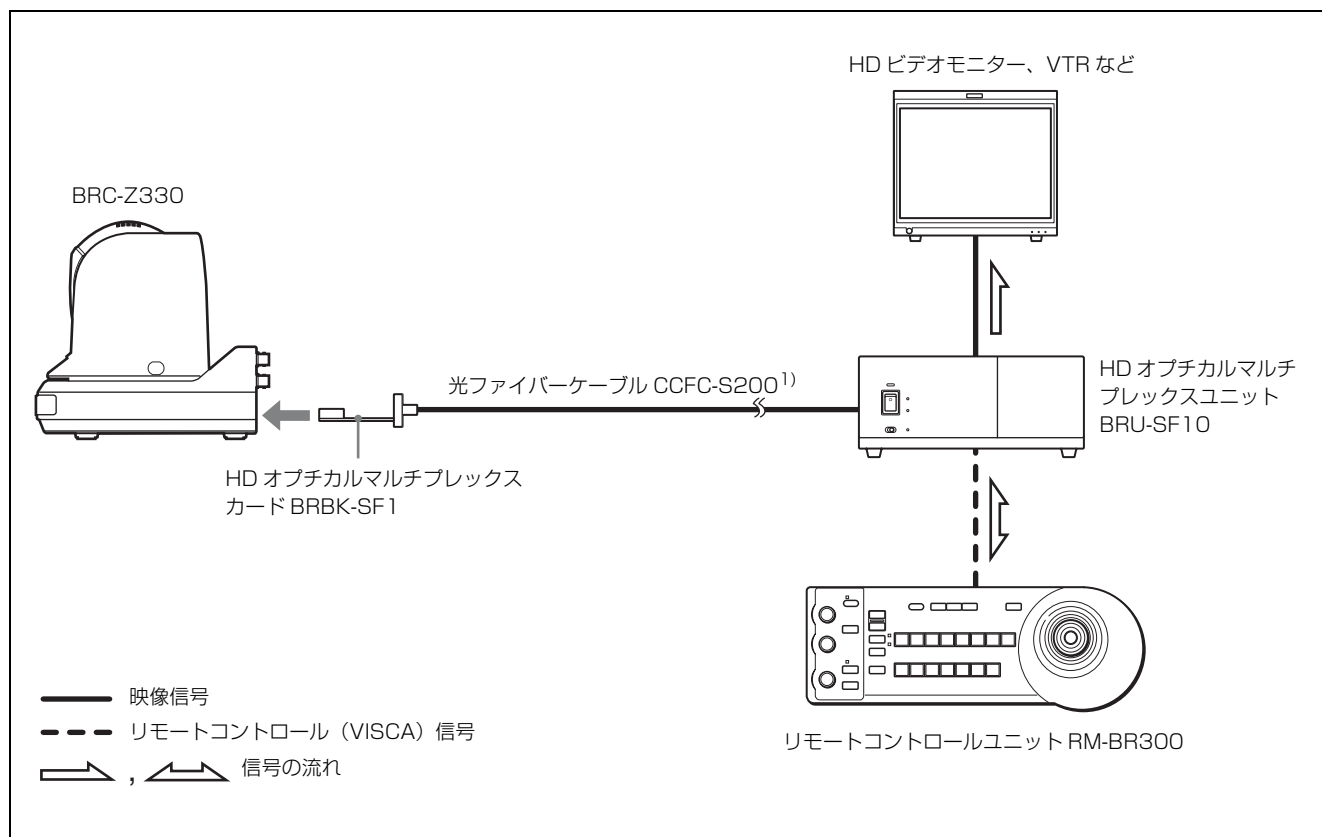
システム構成図

ご注意

・リモートカメラオペレーティングスイッチャー BRS-200 を使って BRC-Z330 を操作するときは、BRC-Z330 に HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2 または HD-SDI 出力カード BRBK-HD2 を取り付けてください。BRBK-HSD2 または BRBK-HD2 を取り付けないと、このシステムは利用できません。
・リモートカメラオペレーティングスイッチャー BRS-200 は、HD-SDI と SD-SDI の混在はできません。詳細は、BRS-200 の取扱説明書をご覧ください。

1 台のカメラ BRC-Z330 を遠距離からリモート操作するとき

このシステムでできること

・最大 2,000 m 離れたところから、カメラをリモート操作できます。
・ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。
・光ファイバーケーブルの使用により、カメラ映像信号、カメラ制御信号の長距離伝送が可能です。

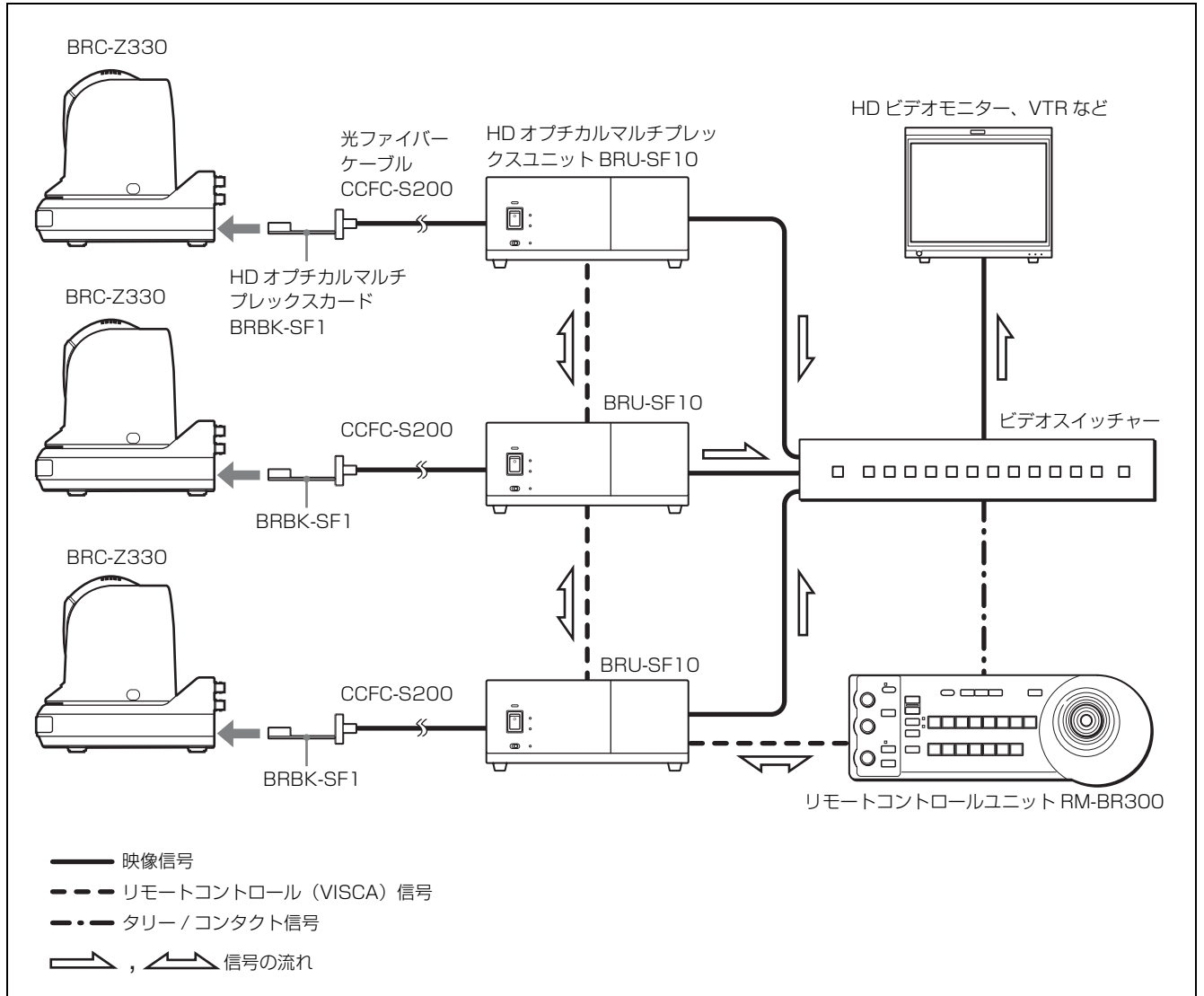
システム構成図

1) 付属の延長プラグを使用して最長 2,000 m まで伝送できます。

ご注意

・カメラ BRC-Z330 の電源を入れてから、HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 の電源を入れてください。
・HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 をカメラ BRC-Z330 に挿入し、何も接続しないと、カメラは動作しません。BRBK-SF1 を挿入したときは、光ファイバーケーブル CCFC-S200 を使って HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 を接続し、BRU-SF10 の電源を入れてください。
・HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 をカメラ BRC-Z330 に挿入すると、カメラ後面の EXT SYNC IN 端子、VISCA RS-232C IN/OUT 端子、VISCA RS-422 端子、DATA MIX スイッチ、75 Ω 終端スイッチは、すべて無効になります。これらの端子およびスイッチの代わりに HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 後面の端子とスイッチをご使用ください。
・カメラ BRC-Z330 の BOTTOM スイッチのうち、59.94/50 切り換え（スイッチ番号 1）および 1080i/720p 切り換え（スイッチ番号 2）以外のスイッチは無効となります。無効となるスイッチの代わりに、HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 後面のスイッチをご使用ください。
・別売の光ファイバーケーブル CCFC-M100、CCFC-M100HG はご使用になれません。

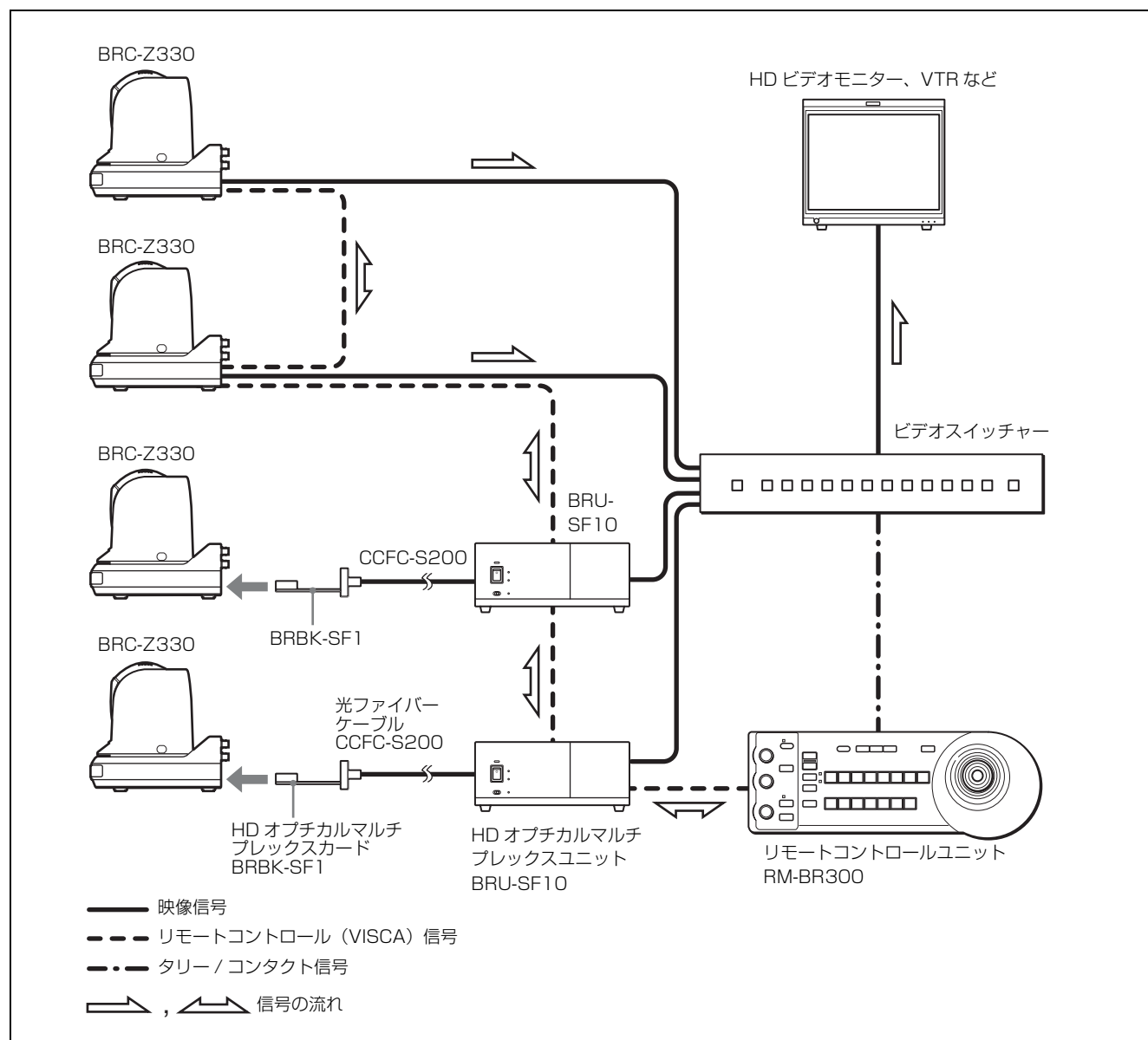
複数のカメラ BRC-Z330 を遠距離からリモート操作するとき

このシステムでできること

・最大 2,000 m 離れたところから、7 台までのカメラをリモート操作できます。
・ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。
・光ファイバーケーブルの使用により、カメラ映像信号、カメラ制御信号の長距離伝送が可能です。

システム構成図

複数のカメラ BRC-Z330 を遠距離と近距離から混合して使用するとき

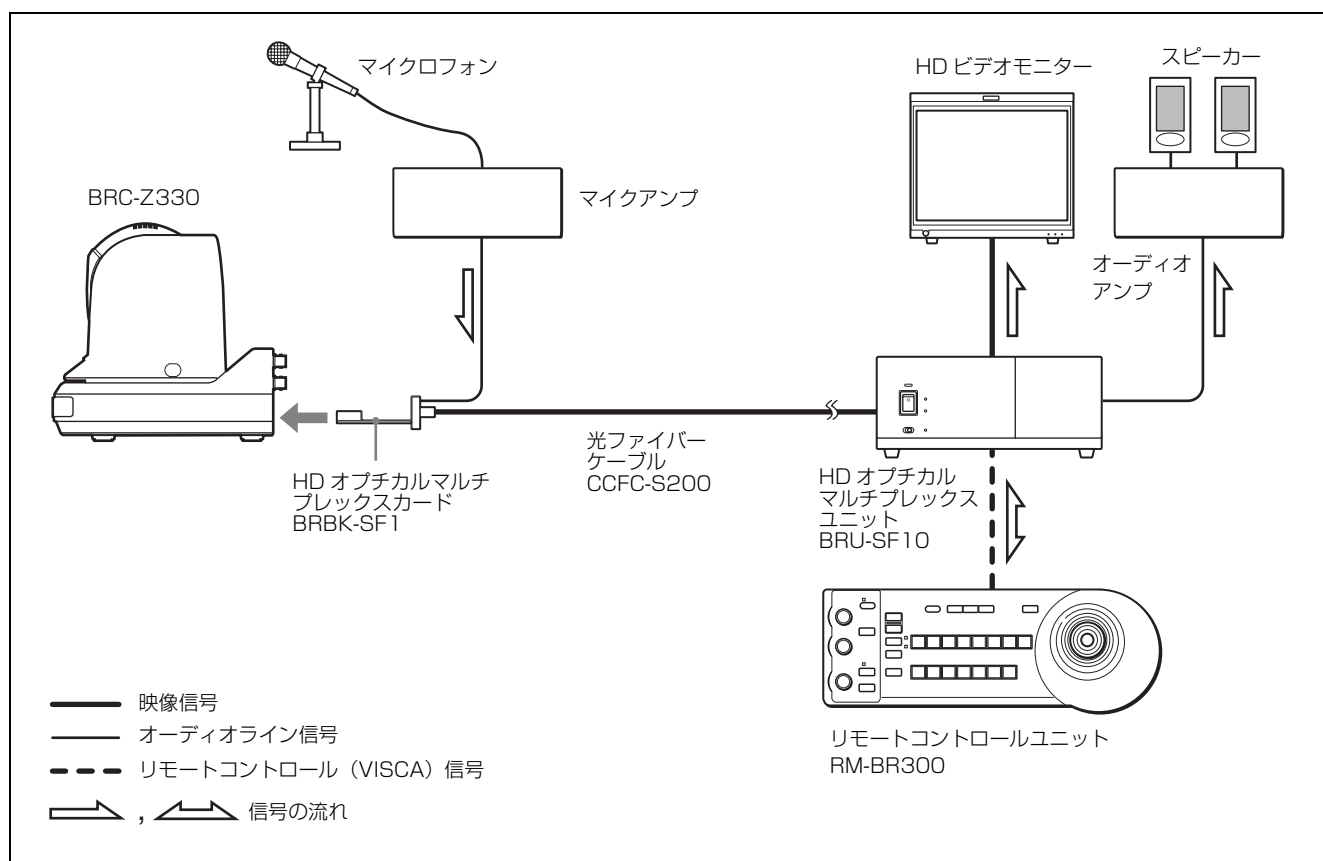
このシステムでできること

・7 台までのカメラを 1 台のリモートコントロールユニット RM-BR300 でリモート操作できます。
・ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。
・最大 2,000 m 離れたところから、リモート操作できます。光ファイバーケーブルの使用により、カメラ映像信号、カメラ制御信号の長距離伝送が可能です。

システム構成図

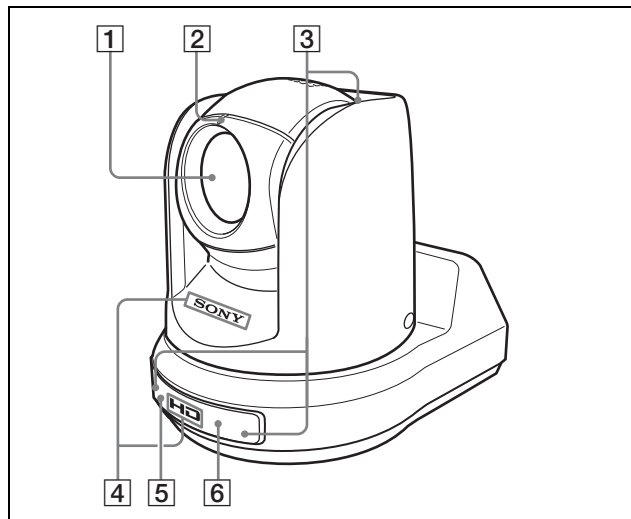
BRC-Z330 を使用して、オーディオ信号を伝送するとき

このシステムでできること

・ 最大 2,000 m 離れたところから、カメラをリモート操作できます。
・ ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。
・ 光ファイバーケーブルの使用により、カメラ映像信号、カメラ制御信号および HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 に入力したオーディオ信号の長距離伝送が可能です。

システム構成図

各部の名称と働き

カメラ本体

前面

1 レンズ
光学 18 倍ズームレンズです。

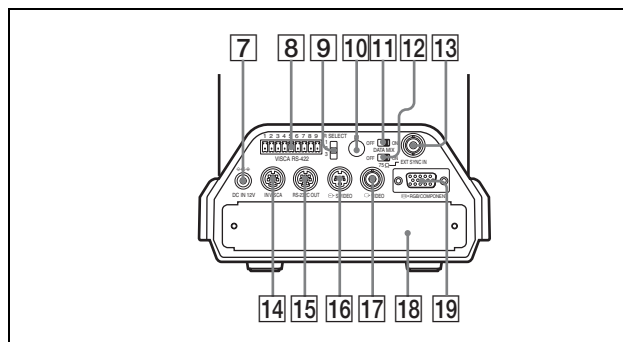
2 タリーランプ
VISCA タリーコマンド受信時、または別売のリモートコントロールユニット RM-BR300 からカメラを選択した場合、赤色に点灯します。
また、冷却ファンモーターに異常がある場合（ファンモーターの回転数が遅くなったときや停止したとき）、タリーのオン／オフにかかわらず、約 0.5 秒間隔で点滅します。

3 リモコン受光部
付属のリモコンの受光部です。
上部の受光部をご使用になるときは、SYSTEM メニューの IMG-FLIP を ON にしてください（40 ページ）。この場合、後面のリモコン受光部は効かなくなります。

4 SONY バッジと HD バッジ
必要に応じ、引き出して回転させると、上下逆にすることができます。

5 POWER ランプ
AC アダプターと電源コードを使って本機をコンセントにつなぐと、点灯します。
付属リモコンからの操作を受信すると、緑色が点滅してお知らせします。

6 STANDBY ランプ
リモコンで電源を切ると、点灯します。

後面

7 DC IN 12V 端子
付属の AC アダプターを接続します。

8 VISCA RS-422 端子
VISCA 通信に使用します。

VISCA RS-422 端子への接続のしかたは、「VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた」（91 ページ）をご覧ください。

9 IR SELECT スイッチ
複数のカメラを 1 台のリモコンで操作するとき、カメラ番号を決めます（47 ページ）。

10 リモコン受光部
付属のリモコンの受光部です。
SYSTEM メニューの IMG － FLIP を ON にしたとき、この受光部は効かなくなります（40 ページ）。

11 DATA MIX スイッチ
挿入されている出力カード BRBK-HD2 からの映像信号にメニュー画面を重ねて表示するとき ON にします。メニュー画面を表示しないときは OFF にします。
BRBK-HD2 以外のカードが挿入されているとき、またはカードスロットに何も挿入されていないときは、このスイッチは無効です。

12 75 Ω 終端スイッチ
複数のカメラ接続時に外部同期を使用するとき、本機がディジーチェーン接続の真ん中のときは OFF に、最終端のときは ON にします。
また、EXT SYNC 端子に何も接続していないときは ON にします。

13 EXT SYNC IN 端子
外部映像同期信号を入力します。

⑭ **VISCA RS-232C IN 端子**
別売のリモートコントロールユニット RM-BR300 と接続します。複数のカメラを接続するときは、前のカメラの VISCA RS-232C OUT 端子と接続します。

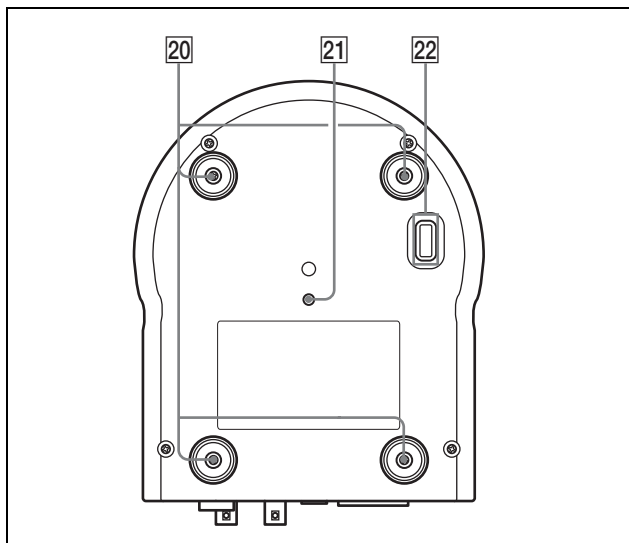
⑮ **VISCA RS-232C OUT 端子**
複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA RS-232C IN 端子と接続します。

⑯ **S VIDEO 端子**
本機からの映像を S 映像信号として出力します。

⑰ **VIDEO 端子**
本機からの映像をコンポジット信号として出力します。

⑱ **カードスロット**
別売の出力カード BRBK-SF1、BRBK-HD2、BRBK-HSD2 または BRBK-SA1 を挿入します。
出荷時は、カバーが取り付けてあります。

⑲ **RGB/COMPONENT 端子**
本機からの映像をアナログコンポーネント信号（YPbPr または RGB）として出力します。

底面

⑳ **高所設置用ブラケット取り付けネジ穴**
本機を天井や高所の棚などに設置するとき、付属のシーリングブラケットを付属のネジ 4 本を使って固定します。
出荷時は脚 4 本が取り付けられています。

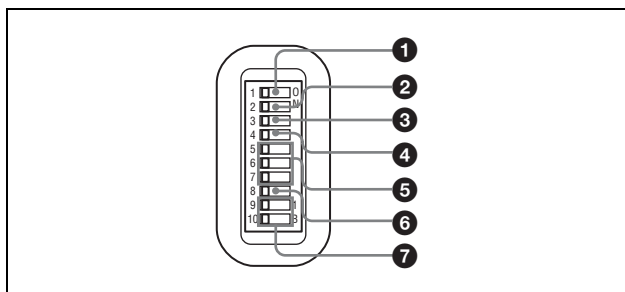
高所への設置方法は、「高所へ設置する」（57 ページ）をご覧ください。

㉑ **三脚取り付け用ネジ穴（1/4-20UNC）**
三脚を使用するとき、このネジ穴を使って固定します。

㉒ **BOTTOM スイッチ**
出力信号フォーマットの切り換えや、RS-232C と RS-422 の切り換え、ボーレートの切り換え、リモコン信号出力のオン / オフ、カメラアドレスの設定に使用します。

詳しくは「BOTTOM スイッチの設定」をご覧ください。

重要
機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

BOTTOM スイッチの設定

❶ **スイッチ 1（59.94/50 信号フォーマット切り換えスイッチ）**
ON にすると 1080/50i（720/50p）方式の HD ビデオフォーマットで出力され、OFF にすると 1080/59.94i（720/59.94p）方式で出力されます。

❷ **スイッチ 2（1080i/720p 信号フォーマット切換スイッチ）**
ON にすると 720p 方式の HD ビデオフォーマットで出力され、OFF にすると 1080i 方式で出力されます。

❸ **スイッチ 3（RS-232C/RS-422 切換スイッチ）**
ON にすると RS-422、OFF にすると RS-232C が選択されます。
HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 を使用している場合は、このスイッチの設定は無効になります。

❹ **スイッチ 4（通信ボーレート切換スイッチ）**
ON にするとボーレートが 38400 bps になり、OFF にすると 9600 bps になります。
HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 を使用している場合は、このスイッチの設定は無効になります。

❺ **スイッチ５〜７（カメラアドレス設定スイッチ）**
カメラのアドレスを設定します。
通常は「０」に設定しておきます。「０」に設定すると、リモートコントロールユニット RM-BR300 の RESET ボタンを押しながら POWER ボタンを押すことによって、カメラが接続されている順番にアドレスが自動的に割り振られます。
HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 を使用している場合は、このスイッチの設定は無効になります。
また、アドレスを手動設定するときは、このスイッチを下記のように「1」〜「7」に設定します。

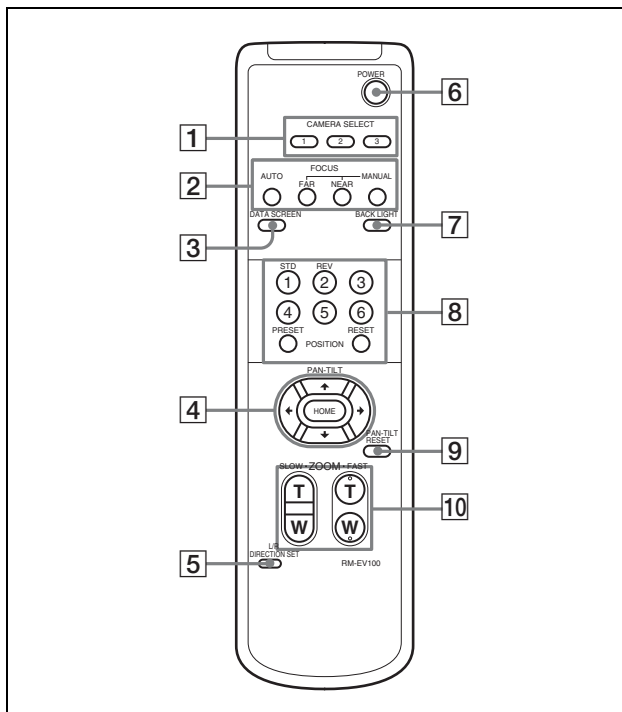
アドレス	0	1	2	3	4	5	6	7
スイッチ5	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
スイッチ6	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
スイッチ7	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON

❻ **スイッチ８（赤外線出力切換スイッチ）**
ON にすると赤外線出力がオンになり、OFF にするとオフになります。

❼ **スイッチ９、10**
本機では使用しません。OFF にしてください。

ご注意

・スイッチの設定は、本機の電源を入れる前に行ってください。
・カメラアドレス設定スイッチを「0」に設定したカメラと、「1」〜「7」に設定したカメラの混在使用はできません。
・アドレスの手動設定で複数のカメラを同一アドレスに設定し、1 つのコントローラーで複数のカメラを同時に操作することはできません。
・スイッチ 9、10 を ON にすると、3 のリモコン受光部で受信した信号が 14 の VISCA RS-232C IN 端子の 7 番ピンから出力されます。OFF にすると信号は出力されません。

リモコン（付属）

1 **CAMERA SELECT ボタン**
リモコンで操作したいカメラの番号を押します。カメラ番号は、カメラ後面の IR SELECT スイッチで設定します。

ご注意

近くに同じカメラ番号に設定したカメラがある場合、付属のリモコンで同時に動作してしまいます。近くに設置するカメラは、違うカメラ番号に設定することをお勧めします。

カメラ番号の設定のしかたは、「複数のカメラをリモコンで操作する」（47 ページ）をご覧ください。

2 **FOCUS ボタン**
ピント合わせに使います。
自動でピントを調節するときは AUTO ボタンを押します。手動で調節するには、MANUAL ボタンを押してから、FAR、NEAR ボタンで調節します。

3 **DATA SCREEN ボタン**
このボタンを押すと、メインメニューが表示されます。もう一度押すとメニューが消えます。下層のメニューが表示されているときに押すと、1 つ上層のメニューに戻ります。

ご注意

メニュー表示中は、パン・チルト・ズーム操作はできません。

4 **PAN-TILT ボタン**
矢印ボタンを押して、パン・チルトします。HOMEボタンを押すと、カメラの向きが正面に戻ります。
メニューが表示されているときは、⬆または⬇ボタンでメニュー項目を選び、⬅または➡ボタンで設定値を変更します。HOME ボタンで選んだ項目のメニューを表示します。

5 **L/R DIRECTION SET ボタン**
このボタンを押しながら REV ボタンを押すと、カメラの動く方向が⬅、➡矢印ボタンの向きと逆になります。もとの設定に戻すときは、このボタンを押しながら STD ボタンを押します。

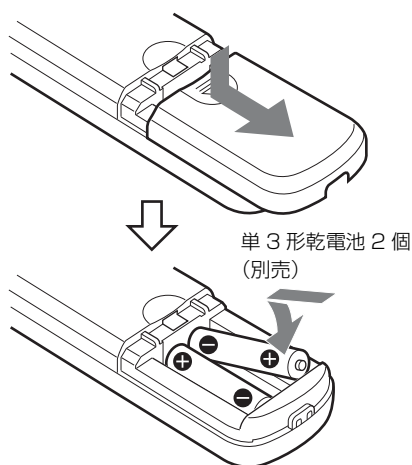
6 **POWER スイッチ**
本機がコンセントに接続されているときに、このボタンで電源を入切できます。

7 **BACK LIGHT ボタン**
逆光補正するとき、このボタンを押します。もう一度押すと、解除されます。

8 **POSITION ボタン**
PRESET ボタンを押しながら 1 ～ 6 ボタンを押すと、カメラの向きやズーム、ピント調節、逆光補正の設定が押した番号ボタンに記憶されます。
記憶を消すときは、RESET ボタンを押しながら、1～ 6 ボタンを押します。

9 **PAN-TILT RESET ボタン**
パン・チルト位置をリセットします。

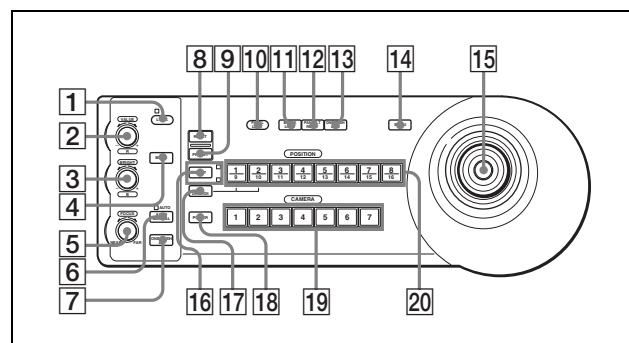
10 **ZOOM ボタン**
ゆっくりズームするときは SLOW ボタンを、すばやくズームするときは FAST ボタンを使います。
T ボタンを押すと被写体が大きくなり、W ボタンを押すと被写体が小さくなります。

リモコンの電池を入れるには

注意
指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

ご注意
破裂の危険性があるため、必ず単 3 形のマンガン乾電池またはアルカリ乾電池をご使用ください。

リモートコントロールユニット RM-BR300（別売）

カメラ BRC-Z330 と組み合わせた場合の機能を説明します。

前面

1 **LOCK ボタンとインジケーター**
このボタンを 1 秒以上押すとインジケーターが点灯し、VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみ、FOCUS つまみで設定した調整値がロックされます。（ロックされたつまみのインジケーターは消灯します。）また、AUTO/MANUAL ボタンが動作しなくなります。
LOCK ボタンをもう一度 1 秒以上押すと、ロックが解除されます。

2 **VALUE/R つまみ**
MODE ボタンで明るさ調整モードを選択しているとき（VALUE の文字が点灯）：カメラのメニューで優先設定されているモード（SHUTTER、IRIS、GAIN）の値を調節します。
VALUE 点灯時のつまみの機能は、カメラの露出モードの設定により変化します。詳しくは、「VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能」（54 ページ）をご覧ください。

MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき（R の文字が点灯）：R. GAIN（赤ゲイン）を調節します。
R 点灯時のつまみの機能は、カメラ側のホワイトバランスモードの設定により変化します。詳しくは、「R つまみと B つまみの機能」（53 ページ）をご覧ください。

3 **BRIGHT/B つまみ**
MODE ボタンで明るさ調整モードを選択しているとき（BRIGHT の文字が点灯）：カメラのブライトネス（明るさ）などを調節します。
BRIGHT 点灯時のつまみの機能は、カメラの露出モードの設定により変化します。詳しくは、「VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能」（54 ページ）をご覧ください。

MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき (B の文字が点灯)：B.GAIN（青ゲイン）を調節します。
B 点灯時のつまみの機能は、カメラ側のホワイトバランスモードの設定により変化します。詳しくは、「R つまみと B つまみの機能」（53 ページ）をご覧ください。

4 **MODE ボタン**
VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみの機能を、明るさ調整またはホワイトバランス調整に切り換えます。
明るさ調整モードのときは、VALUE および BRIGHT の文字が点灯します。
ホワイトバランス調整モードのときは、R および B の文字が点灯します。

5 **FOCUS つまみ**
左へ回すとピントが合う位置が近くなり、右へ回すと遠くなります。

6 **AUTO/MANUAL ボタンと AUTO インジケーター**
カメラのフォーカスモードを AUTO または MANUAL に切り換えます。
AUTO を選択すると AUTO インジケーターが点灯し、FOCUS つまみと ONE PUSH AF ボタンが無効となります。ただし、FOCUS メニューの AF ASSIST を ON にすると、FOCUS つまみでフォーカスの合う位置を変えることができます。
MANUAL を選択すると、FOCUS の文字が点灯し、FOCUS つまみと ONE PUSH AF ボタンが有効となります。

7 **ONE PUSH AF ボタン**
このボタンを押すと、ワンプッシュオートフォーカス機能が働きます。

8 **RESET ボタン**
このボタンを押しながら POSITION ボタンを押すと、押したボタンに相当するカメラ内部のメモリー内容がクリアされ、工場出荷時の状態に戻ります。
また、複数台のカメラを接続しているとき、このボタンを押しながら POWER ボタンを押すと、カメラのアドレスを自動的に設定できます。

9 **PRESET ボタン**
このボタンを押しながら POSITION ボタンを押すと、押したボタンに相当するカメラの状態が、そのカメラ内部のメモリーに記憶されます。

10 **PANEL LIGHT ボタン**
このボタンを押すと、すべての POSITION ボタンと CAMERA ボタンが点灯したり、消灯したりします。

11 **BACK LIGHT ボタン**
カメラの EXPOSURE メニューの MODE が FULL AUTO または SHUTTER Pri、IRIS Pri、GAIN Pri のとき、このボタンを押すと、カメラの逆光補正機能が有効になります。もう一度押すと、解除されます。
SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、スポットライト補正機能が有効になり、被写体の一部に明るい場所がある場合、露出が暗く調整されます。もう一度 SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、スポットライト補正機能が解除されます。

12 **PAN-TILT RESET ボタン**
このボタンを押すと、カメラのパン・チルト位置を初期状態にリセットします。

13 **ONE PUSH AWB ボタン**
カメラの COLOR メニューの WHITE BALANCE で ONE PUSH（ワンプッシュホワイトバランス）が選択されているとき、このボタンを押すと、ワンプッシュホワイトバランス機能が実行されます。

14 **MENU ボタン**
カメラのメニューをオン / オフしたり、メインメニューに戻るときに使います。ボタンは約 1 秒押してください。

15 ジョイスティック

カメラのメニューがオフのとき
パン・チルト・ズームを操作します。
ジョイスティックを左右に倒すとパンが実行され、上下に倒すとチルトが実行されます。ジョイスティックを倒す角度によって、パン、チルトの速度が変わります。手を離すと動作が停止します。
ジョイスティック上部のダイヤルを右へ回すと被写体が大きくなり、左へ回すと被写体が小さくなります。
また、カメラのPAN TILT ZOOMメニューの設定にかかわらず、ジョイスティック上部のボタンを1～2秒押すと、カメラの向きが正面に戻ります。

カメラのメニューがオンのとき
メニューを操作します。ジョイスティックを上下左右に倒すと、リモコンの矢印ボタンと同じ働きをします。
ジョイスティック上部のボタンを押すと、リモコンのHOMEボタンと同じ働きをします。

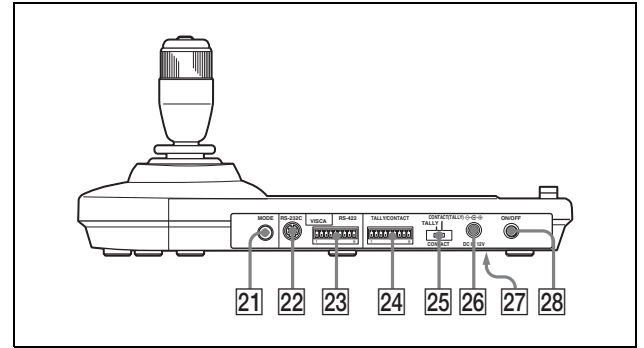
16 SHIFTボタンとインジケーター
このボタンを押しながらPOSITIONボタンを押すと下側のインジケーターが点灯し、POSITIONボタンをポジション番号9～16として使用できます。
SHIFTボタンから指を離すと上側のインジケーターが点灯し、POSITIONボタンをポジション番号1～8として使用できます。

17 L/R DIRECTIONボタン
このボタンを押しながらPOSITIONボタン2（REV）を押すと、カメラのパンの方向がジョイスティックを倒す方向と逆になります。もとの設定に戻すときは、このボタンを押しながらPOSITIONボタン1（STD）を押します。

18 POWERボタン
このボタンを押すと、接続されているカメラの状態に応じてCAMERAボタンが点灯します。
青：カメラの電源オン
黄緑：カメラスタンバイ
消灯：カメラ未接続
このボタンを押しながらCAMERAボタン1～7を押すと、押した番号のカメラの電源を入切できます。

19 CAMERAボタン
接続されているカメラを選択します。選択したカメラ番号のボタンが青色に点灯します。

20 POSITIONボタン
カメラのパン・チルト・ズーム位置や各種設定をそれぞれのボタンに相当するカメラ内部のメモリーに記憶したり、記憶したメモリー内容を呼び出したりします。

後面・底面

21 MODE切り換えスイッチ
接続するカメラによってスイッチの位置を切り換えます。

スイッチの位置	カメラモード
0	自動判別（デフォルト）
1	BRC-300
2	MODE 2
3	MODE 3
4	MODE 4
5	SNC-RZ30N
6	BRC-H700
7	BRC-Z700
8	BRC-Z330

ご注意
操作するカメラがすべてBRC-Z330の場合は、スイッチを8の位置に設定することをおすすめします。それ以外の場合は0に設定してください。

22 VISCA RS-232C端子
カメラのVISCA RS-232C IN端子と接続します。

23 VISCA RS-422端子
カメラのVISCA RS-422端子と接続します。
工場出荷時には、VISCA RS-422端子台コネクターが取り付けられています。

24 TALLY/CONTACT端子
外部スイッチャーに接続し、タリーランプ入力、またはコンタクト出力端子として使用します。
TALLY/CONTACTスイッチで端子の機能を切り換えます。
工場出荷時には、VISCA RS-422端子台コネクターが取り付けられています。

25 TALLY/CONTACTスイッチ
TALLY/CONTACT端子の機能を切り換えます。
TALLY：外部スイッチャーで選択したカメラのタリーランプが点灯します。

CONTACT：外部スイッチャーに対し、リモートコントロールユニットで選択したカメラアドレスのコンタクト出力を短絡します。

CONTACT(TALLY)：外部スイッチャーに対し、リモートコントロールユニットで選択したカメラアドレスのコンタクト出力が短絡するとともに、リモートコントロールユニットで選択したカメラのタリーランプを点灯させせます。

ご注意

・スイッチの設定は、リモートコントロールユニットの電源を入れる前に行ってください。電源を入れたあとで切り換えても、有効になりません。
・TALLY/CONTACT スイッチの機能について詳しくは、RM-BR300 の取扱説明書をご覧ください。

26 DC IN 12V 端子
付属の AC アダプターを接続します。

27 DIP スイッチ（底面）
スイッチ 1（RS-232C/RS-422 切換スイッチ）
ON にすると RS-422、OFF にすると RS-232C が選択されます。

スイッチ 2（通信ボーレート切換スイッチ）
ON にするとボーレートが 38400bps になり、OFF にすると 9600bps になります。

スイッチ 3（BRIGHT つまみ機能切換スイッチ）
ON にすると、IRIS と GAIN の調節ができ、OFF にすると IRIS のみの調節ができます。

ご注意

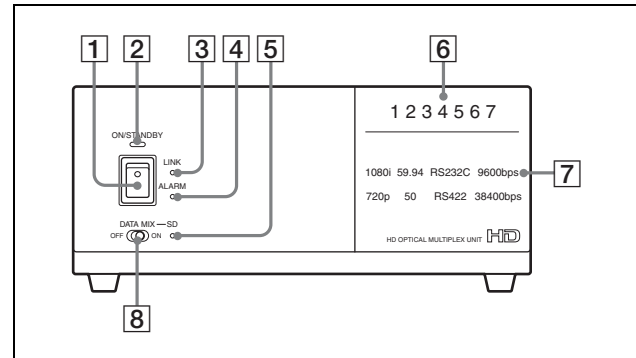
DIP スイッチの設定は、リモートコントロールユニットの電源を入れる前に行ってください。電源を入れたあとで切り換えても、有効になりません。

28 ON/OFF スイッチ
リモートコントロールユニットの電源を入切します。

重　要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10（別売）

前面

1 電源スイッチ
本体の電源を入切します。カメラ BRC-Z330 の電源を入れてから本機の電源を入れてください。

2 電源インジケーター
消灯：本機の電源スイッチが切れている状態です。
橙色の点灯：起動中、またはスリープ状態です。
緑色の点灯：正常に動作しています。

3 LINK インジケーター
緑色の点灯：光ファイバーケーブルで本機とカメラが正しく接続されています（システム起動後に緑色に点灯します）。
赤色の点灯：以下のことを確認してください。
・光ファイバーケーブルで BRU-SF10 とカメラが正しく接続されていません。接続を確認し、電源を入れ直してください。
・カメラと BRU-SF10 の映像周波数の設定が異なっています。電源を切ってから設定を確認し、電源を入れ直してください。
・カメラの DC IN 端子と AC アダプターが正しく接続されていないため、カメラが正しく起動していない可能性があります。カメラの電源を確認してください。

4 **ALARM インジケーター**

赤色の点灯：以下のことを確認してください。

- ・光ファイバーケーブルで BRU-SF10 とカメラが正しく接続されていません。接続を確認し、電源を入れ直してください。
- ・カメラと BRU-SF10 の映像周波数の設定が異なっています。電源を切ってから設定を確認し、電源を入れ直してください。
- ・カメラの DC IN 端子と AC アダプターが正しく接続されていないため、カメラが正しく起動していない可能性があります。カメラの電源を確認してください。
- ・BRU-SF10 のカードスロットに未サポートのオプションカードが挿入されています。電源を切ってからカードを抜き、再度電源を入れ直してください。

消灯：正常に動作しています。

5 **SD インジケーター**

別売のインターフェースカード BRBK-SA1 が挿入されている場合や、BRBK-HSD2 が挿入されていて背面のスイッチが SD に設定されている場合に点灯します。

6 **カメラ ID インジケーター**

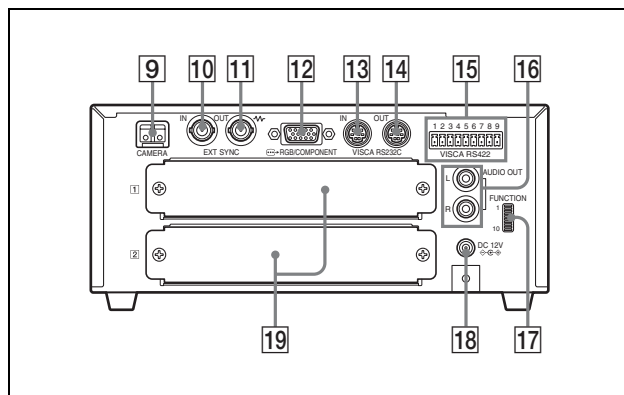
現在のカメラアドレスの番号が橙色で点灯します。カメラアドレスの設定方法は、「17 VISCA FUNCTION スイッチ」(29 ページ) をご覧ください。

7 **ステータスインジケーター**

現在の通信形式、通信ボーレート設定、映像フォーマット設定が、緑色で点灯します。
設定方法は、「17 VISCA FUNCTION スイッチ」(29 ページ) をご覧ください。

8 **DATA MIX スイッチ**

SD インジケーターが点灯中に、挿入されている BRBK-SA1 または BRBK-HSD2 の背面スイッチが SD に設定されているインターフェースカードすべての SD 映像信号にメニュー画面を重ねて表示するとき ON にします。
メニュー画面を表示しないときは OFF にします。

後面

9 **CAMERA 端子**

光ファイバーケーブル CCFC-S200 を使って、カメラ BRC-Z330 に挿入した HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 のオプチカル端子と接続します。
出荷時は、防塵キャップが取り付けてあります。
光ファイバーケーブルを接続していない場合は、この防塵キャップを取り付けたままにしてください。
また、BRBK-SF1、CCFC-S200 にも防塵キャップが付いています。接続しない場合は、防塵キャップを取り付けままにしてください。

10 **EXT SYNC IN 端子**

外部映像同期信号を入力します。

11 **EXT SYNC OUT 端子**

EXT SYNC IN 端子から入力した外部映像同期信号を出力します。
この端子にケーブルを接続すると、入力の 75 Ω 終端が自動的に開放され、EXT SYNC IN 端子に入力された信号が、この端子から出力されます。

12 **RGB/COMPONENT 端子**

本機に接続したカメラの映像を YPbPr 信号または RGB 信号として出力します。

13 **VISCA RS-232C IN 端子**

別売りのリモートコントロールユニット RM-BR300 と接続します。複数のカメラを接続するときは、前のカメラの VISCA RS-232C OUT 端子と接続します。

14 **VISCA RS-232C OUT 端子**

複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA RS-232C IN 端子と接続します。

ご注意

RS-232C 接続ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、同梱のケーブルを使用してください。

15 VISCA RS-422端子
カメラまたは別のHDオプチカルマルチプレックスユニットBRC-Z330のVISCA RS-422端子と接続します。

VISCA RS-422端子への接続のしかたは、「VISCA RS-422端子台コネクターの使いかた」（91ページ）をご覧ください。

16 AUDIO OUT L/R出力端子
本機に接続したカメラに挿入されたHDオプチカルマルチプレックスカードBRBK-SF1のAUDIO IN端子から入力されるオーディオライン信号が光ファイバーケーブルを経由して出力されます。

17 VISCA FUNCTIONスイッチ
VISCA通信の設定を行います。

スイッチ1（RS-232C/RS-422切換スイッチ）
ONにするとRS-422、OFFにするとRS-232Cが選択されます。

スイッチ2（通信ボーレート切換スイッチ）
ONにするとボーレートが38400 bpsになり、OFFにすると9600 bpsになります。

スイッチ3～5（カメラアドレス設定スイッチ）
カメラのアドレスを設定します。
通常は「0」に設定しておきます。「0」に設定すると、リモートコントロールユニットRM-BR300のRESETボタンを押しながらPOWERボタンを押すことによって、カメラが接続されている順番にアドレスが自動的に割り振られます。
また、アドレスを手動設定するときは、このスイッチを下記のように「1」～「7」に設定します。

アドレス	0	1	2	3	4	5	6	7
スイッチ3	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
スイッチ4	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
スイッチ5	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON

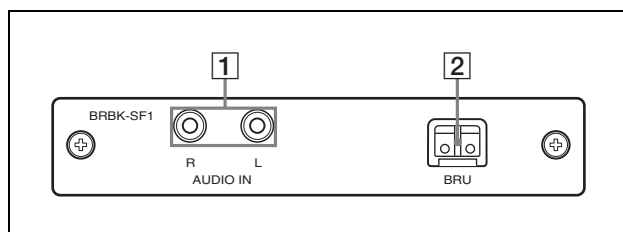
ご注意
カメラアドレス設定スイッチを「0」に設定したカメラと「1」～「7」に設定したカメラを混在して使用することはできません。また、アドレスの手動設定で複数のカメラを同一アドレスに設定することはできません。

スイッチ6（59.94/50信号フォーマット切り換えスイッチ）
ONにすると50方式のビデオフォーマットで出力され、OFFにすると59.94方式で出力されます。
1080i/720pのフォーマットはカメラのBOTTOMスイッチの設定になります。
本機とカメラは、同じ設定にしてください。
スイッチ7、8、9、10：未使用です。OFFに設定してください。

ご注意
各スイッチの設定は、本機の電源を入れる前に行ってください。

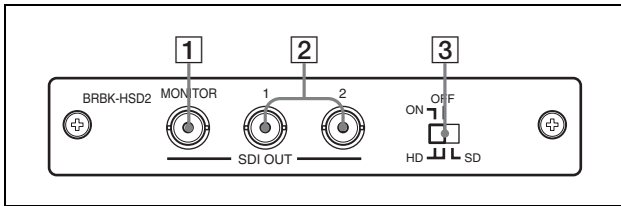
18 DC 12V端子
付属のACアダプターを接続します。

19 カードスロット
別売りのインターフェースカードBRBK-SA1またはBRBK-HSD2を挿入します。
出荷時は、カバーが取り付けてあります。

HDオプチカルマルチプレックスカードBRBK-SF1（別売）

1 AUDIO IN L/R端子（ピンジャック）
オーディオ信号（ステレオ）を入力します。入力したオーディオ信号は、光ファイバーケーブルを経由してHDオプチカルマルチプレックスユニットBRU-SF10のAUDIO OUT端子から出力されます。

ご注意
オーディオ信号は、ライン信号レベルのみ入力できます。マイクなどからの音声は、マイクアンプを介して適正なレベルで入力してください。

2 オプチカル端子
光デジタル多重伝送（映像、音声、外部同期、コントロール信号）を行います。
出荷時は、防塵キャップが取り付けてあります。

HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2（別売）

1 MONITOR 端子（BNC 型）

ダウンコンバートした SD-SDI 信号（1080/59.94i または 720/59.94p 設定時：SMPTE259M シリアルデジタルインターフェース規格に準拠、1080/50i または 720/50p 設定時：ITU-R BT.656 シリアルデジタルインターフェース規格に準拠）または HD-SDI 信号（SMPTE292M シリアルデジタルインターフェース規格に準拠）を出力します。

この端子は、カメラのメニュー表示を ON にしたときに、映像にメニューが重ねて表示される端子です。

HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 のカードスロットに SD-SDI 出力カードとして使用する場合は、BRU-SF10 の DATA MIX スイッチでメニューを非表示にすることもできます。詳細については、「メニュー ON 時の映像」（30 ページ）をご覧ください。

2 SDI 1、2 端子（BNC 型）

ダウンコンバートした SD-SDI 信号（1080/59.94i または 720/59.94p 設定時：SMPTE259M シリアルデジタルインターフェース規格に準拠、1080/50i または 720/50p 設定時：ITU-R BT.656 シリアルデジタルインターフェース規格に準拠）または HD-SDI 信号（SMPTE292M シリアルデジタルインターフェース規格に準拠）を出力します。

この端子は、カメラのメニュー表示を ON にしたときに、映像にメニューを重ねて表示するかどうかを 3 のパネルスイッチで切り換えることができます。

詳細については、「メニュー ON 時の映像」（30 ページ）をご覧ください。

3 パネルスイッチ

SD-SDI 信号と HD-SDI 信号を切り換えます。

HD-SDI 信号を出力する場合は、SDI 1、2 端子から出力された映像にメニューを重ねて表示するかどうかを切り換えることができます。詳細については、「メニュー ON 時の映像」（30 ページ）をご覧ください。

ご注意

- SD-SDI 信号と HD-SDI 信号を同時に出力することはできません。
- パネルスイッチの切り換えは、本機の電源を入れる前に行ってください。
- パネルスイッチにドライバーを差し込むなど、強い力を加えないでください。

メニュー ON 時の映像

BRC-Z330 のカードスロットに BRBK-HSD2 を装着した場合

BRBK-HSD2 のパネルスイッチ	MONITOR 端子	SDI 1、2 端子
左側 HD/DATA MIX：ON （HD-SDI 出力）	○	
中央 HD/DATA MIX：OFF （HD-SDI 出力）	○	×
右側 SD（SD-SDI 出力）	○	

○：メニューが映像に表示される
×：メニューが映像に表示されない

メモ

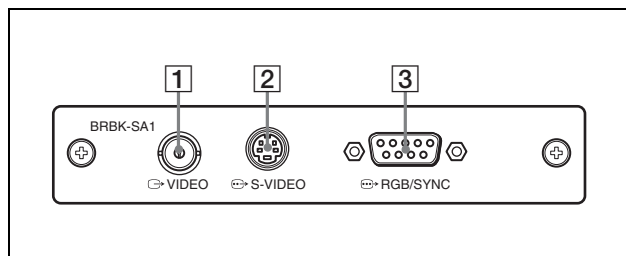
HD カラービデオカメラ BRC-Z330 の DATA MIX スイッチは無効になります。

BRU-SF10 のカードスロットに BRBK-HSD2 を装着した場合

BRBK-HSD2 のパネルスイッチ	MONITOR 端子	SDI 1、2 端子
左側 HD/DATA MIX：ON （HD-SDI 出力）	○	
中央 HD/DATA MIX：OFF （HD-SDI 出力）	○	×
右側 SD（SD-SDI 出力）	○／× 1)	

○：メニューが映像に表示される
×：メニューが映像に表示されない

1) HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 前面にある DATA MIX スイッチを ON にすると、カードからの全出力映像にメニューが重ねてが表示されます。DATA MIX スイッチを OFF にすると、カードからの全出力映像にメニューは表示されません。

アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1（別売）

1 **VIDEO 端子（BNC 型）**
アナログコンポジット信号を出力します。カメラの SD メニューでアスペクト比を設定できます。

2 **S VIDEO 端子（ミニ DIN4 ピン型）**
S ビデオ信号を出力します。カメラの SD メニューでアスペクト比を設定できます。

3 **RGB/SYNC 端子（D-sub9 ピン）**
各種アナログ信号（コンポジットビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオ、RGB）を出力します。
出力信号の切り換えは、カメラの SD メニューで行います。

ご注意

・アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1 を HD カラービデオカメラ BRC-Z330 に装着した場合は、カメラのメニューを ON にすると、映像にメニューが重ねて表示されます。
・アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1 を HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 に装着した場合は、BRU-SF10 前面の DATA MIX スイッチを ON にして、カメラのメニューを ON にすると、映像にメニューが重ねて表示されます。DATA MIX スイッチが OFF のときは、カメラのメニューを ON にしても、映像にメニューは表示されません。

メニュー画面の見かた

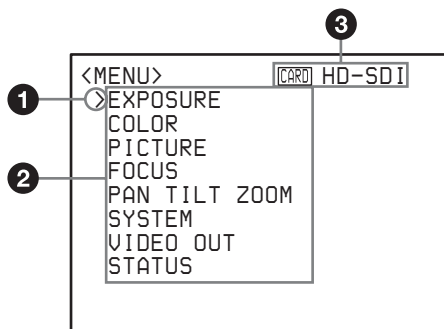
本機では、撮影の条件や本機のシステムセットアップなどを、外部モニターの画面に表示されるメニューを見ながら設定できます。
実際の操作を始める前にメニュー画面の見かたを説明します。

メニュー画面全体の構成については、74 ページをご覧ください。

ご注意

メニュー表示中は、パン・チルト・ズーム操作はできません。

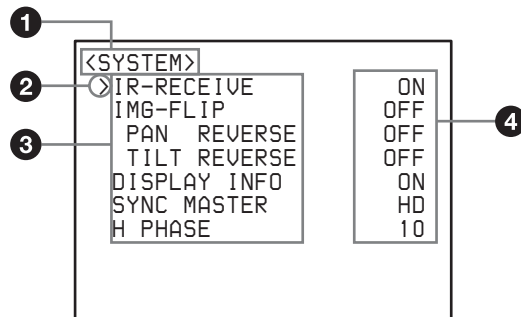
メインメニュー

付属のリモコンの DATA SCREEN ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 の MENU ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。

❶ **カーソル**
設定メニューを選択します。
リモコンの ⬆ または ⬇ ボタンを押すか、リモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックを上下に倒すと、カーソルが上下に動きます。

❷ **メニュー項目**
リモコンの ⬆ または ⬇ ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックで設定メニューを選択し、リモコンの HOME ボタン、または RM-BR300 のジョイスティック上部のボタンを押すと、選んだ設定メニューが表示されます。

❸ **オプションカード表示**
カメラのカードスロットに挿入されているカードの種類を表示します。
（例は、HD-SDI 出力カード BRBK-HD2 が挿入されている場合）

設定メニュー

メインメニューで選択した設定メニューが表示されます。

❶ **設定メニュー**
現在選択されているメニュー名が表示されます。

❷ **カーソル**
設定項目を選択します。
リモコンの ⬆ または ⬇ ボタンを押すか、リモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックを上下に倒すと、カーソルが上下に動きます。

❸ **設定項目**
この設定メニューで選択できる設定項目が表示されます。
リモコンの ⬆ または ⬇ ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックで設定項目を選択し、⬅ または ➡ ボタンを押すか、ジョイスティックを左右に倒して設定値を変更します。

❹ **設定値**
現在設定されている設定値が表示されます。
リモコンの ⬅ または ➡ ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックで設定を変更します。

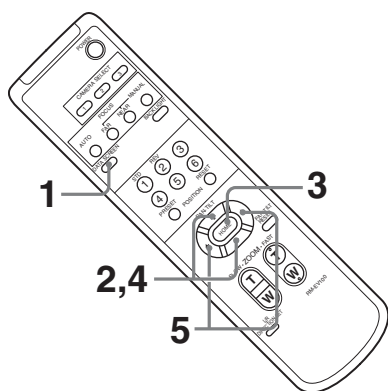
各設定項目の初期設定値については、「メニューの構成」（74 ページ）をご覧ください。

メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた

ここでは、付属のリモコンを使った操作のしかたと、別売のリモートコントロールユニット RM-BR300 を使った操作のしかたをそれぞれ説明します。

各メニューについて詳しくは、35 ～ 42 ページをご覧ください。

付属のリモコンを使って操作する

1 DATA SCREEN ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

```
<MENU>          CARD HD-SDI
 >EXPOSURE
  COLOR
  PICTURE
  FOCUS
  PAN TILT ZOOM
  SYSTEM
  VIDEO OUT
  STATUS
```

2 ↑ または ↓ ボタンを押して、変更したい設定メニューにカーソルを合わせる。

3 HOME ボタンを押す。
選んだ設定メニューが表示されます。

```
<SYSTEM>
 >IR-RECEIVE          ON
  IMG-FLIP           OFF
   PAN  REVERSE      OFF
   TILT REVERSE      OFF
  DISPLAY INFO        ON
  SYNC MASTER         HD
  H PHASE             10
```

4 ↑ または ↓ ボタンを押して、変更したい設定項目にカーソルを合わせる。

5 ← または → ボタンを押して、設定値を変更する。

ご注意

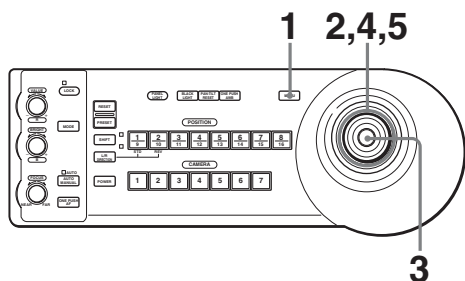
付属のリモコンでメニューを操作している場合は、SYSTEM メニューの IR-RECEIVE を OFF に設定することはできません。IR-RECEIVE を OFF にするには、別売のリモートコントロールユニット RM-BR300 または VISCA コマンドをご使用ください。

メインメニューへ戻るには

DATA SCREEN ボタンを押します。

メニューを消すには

メインメニューが表示されているときは、DATA SCREEN ボタンを 1 回押します。下層のメニューが表示されているときは、2 回押します。

リモートコントロールユニット RM-BR300 を使って操作する

1 MENU ボタンを約 1 秒押す。
メインメニューが表示されます。

2 ジョイスティックを上下に倒して、変更したい設定メニューにカーソルを合わせる。

3 ジョイスティック上部のボタンを押す。
選んだ設定メニューが表示されます。

```
<SYSTEM>
 >IR-RECEIVE          ON
  IMG-FLIP           OFF
   PAN  REVERSE      OFF
   TILT REVERSE      OFF
  DISPLAY INFO        ON
  SYNC MASTER         HD
  H PHASE             10
```

4 ジョイスティックを上下に倒して、変更したい設定項目にカーソルを合わせる。

5 ジョイスティックを左右に倒して、設定値を変更する。

メインメニューへ戻るには

MENU ボタンを約 1 秒押します。

メニューを消すには

メインメニューが表示されているときは、MENU ボタンを 1 回押します。下層のメニューが表示されているときは、2 回押します。
MENU ボタンを押すときは、約 1 秒押してください。

EXPOSURE メニュー

露出調整のメニューです。

```
<EXPOSURE>
 >MODE          FULL AUTO
   AE   SPEED         MID
   AGC  LIMIT         12dB
   IRIS LIMIT         F11
  EX-COMP             OFF

  BACK LIGHT          OFF
  SPOT LIGHT          OFF
  COLOR AE            OFF

  ND FILTER           OFF
```

MODE（露出モード）

FULL AUTO：感度、電子シャッター、絞りをすべて使用して、露出を自動調整します。

MANUAL：感度（GAIN）、電子シャッター（SPEED)、絞り（IRIS）をそれぞれ手動調整します。

SHUTTER Pri：感度と絞りを使用して露出を自動調整します。電子シャッター（SPEED) は手動調整します。

IRIS Pri：感度と電子シャッターを使用して露出を自動調整します。絞り（IRIS）は手動調整します。

GAIN Pri：絞りと電子シャッターを使用して露出を自動調整します。感度（GAIN）は手動調整します。

上記のモードを選択すると、下記の設定項目のうち、選択したモードで設定可能な項目が新たに表示されます。

AE SPEED：露出調整の調整速度を選択します。
適正な露出値に自動的に調整する速度を LOW（ゆっくり）、MID（標準）、HIGH（速い）から選択できます。被写体の明るさが瞬時に変化する場合にお好みで選択します。

AGC LIMIT：露出の自動調整時に使用する感度の範囲を制限します。
–3、0、6、12 dB から選択できます。OFF を選択すると制限なしに調整されます。

IRIS LIMIT：露出の自動調整時に使用する絞り値を制限します。
F11、F6.8、F4.0、F3.4 から選択できます。

GAIN：感度を選択します。
–3 dB、0 〜 24 dB（1 dB 単位）、HYPER から選択できます。

SPEED：電子シャッターのシャッタースピードを選択します。

信号フォーマットが 1080/59.94i、または 720/59.94p 方式のとき
1/10000、1/6000、1/4000、1/3000、1/2000、1/1500、1/1000、1/725、1/500、1/350、1/250、1/180、1/125、1/100、1/90、1/60 から選択できます。

信号フォーマットが 1080/50i、または 720/50p 方式のとき
1/10000、1/6000、1/3500、1/2500、1/1750、1/1250、1/1000、1/600、1/425、1/300、1/215、1/150、1/120、1/100、1/75、1/50 から選択できます。

IRIS：絞りを選択します。
CLOSE、F16、F15、F14、F12、F11、F10、F9.6、F8.7、F8.0、F7.3、F6.8、F6.2、F5.6、F5.2、F4.8、F4.4、F4.0、F3.7、F3.4、F3.1、F2.8、F2.6、F2.4、F2.2、F2.0、F1.8、F1.7、F1.6 から選択できます。

EX-COMP（露出補正）

MODE（露出モード）が FULL AUTO、SHUTTER Pri、IRIS Pri、GAIN Pri のとき ON にすると、露出補正ができ、LEVEL（露出補正レベル）が表示されます。
–7、–6、–5、–4、–3、–2、–1、0、+1、+2、+3、+4、+5、+6、+7 から選択できます。
0 は露出補正されません。+7 は最も明るく、–7 は最も暗く設定されます。
OFF は露出補正機能が働きません。

BACK LIGHT（逆光補正）

ON にすると、逆光補正機能が働きます。OFF にすると、逆光補正機能が働きません。
MODE（露出モード）が MANUAL 以外に設定されているときだけ有効です。

SPOT LIGHT（スポットライト補正）

被写体に一部明るい場所がある場合、露出を暗く調整します。
ON にすると、スポットライト補正機能が働きます。OFF にすると、スポットライト補正機能が働きません。
MODE（露出モード）が MANUAL 以外に設定されているときだけ有効です。

ご注意

BACK LIGHT と SPOT LIGHT の両方の機能を同時に働かせることはできません。

COLOR AE（色指定露出モード）

特定の色に対して露出を自動調整します。

MODE（露出モード）が MANUAL 以外に設定されているときだけ有効です。

OFF：COLOR AE 機能は働きません。

CHECK：PHASE で指定した色の部分（STD 領域）が白く表示されます。

WIDE：PHASE で指定した色の領域を広くします。

STD：PHASE で指定した色の領域を NARROW と WIDE の中間にします。

NARROW：PHASE で指定した色の領域を狭くします。

OFF 以外に設定されていると PHASE が表示され、露出を自動調整したい色を指定できます。設定範囲は 0 ～ 71 です。

COLOR AE の設定方法

1. COLOR AE を CHECK に設定する。
2. PHASE を選び、露出を自動調整したい色の領域が白く表示されるように調整する。
3. COLOR AE を NARROW、STD、WIDE のいずれかに設定する。

ご注意

COLOR AE の CHECK の状態をプリセットメモリーに記憶することはできません。

ND FILTER（ND フィルター切り換え）

カメラに内蔵の ND フィルターを選択します。
OFF、1/4、1/16 から選択できます。

OFF：ND フィルター機能は働きません。

1/4：約 1/4 に減光します。

1/16：約 1/16 に減光します。

ご注意

撮影中に ND フィルターを切り換えると、画像が乱れることがあります。

COLOR メニュー

ホワイトバランスとカラー調整のメニューです。

WHITE BALANCE（ホワイトバランスモード）

ホワイトバランスモードを選択します。
AUTO1（自動）、AUTO2（自動）、INDOOR（室内）、OUTDOOR（屋外）、ONE PUSH（ワンプッシュ）、MANUAL（手動）から選択できます。

AUTO1：自然な色味を残しつつ、ホワイトバランスを自動調整します。

AUTO2：ホワイトバランスを自動調整します。

INDOOR：色温度が 3200K のときの R/B GAIN（赤／青ゲイン）値に固定されます。

OUTDOOR：色温度が 5800K のときの R/B GAIN（赤／青ゲイン）値に固定されます。

ONE PUSH：画面中央に大きく白い被写体を写し、付属のリモコンの HOME ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティック上部のボタンまたは ONE PUSH AWB ボタンを押すと、ホワイトバランス調整が実行されます。

MANUAL：ホワイトバランスの手動調整ができます。

上記のモードを選択すると、下記の設定項目のうち、選択したモードで設定可能な項目が新たに表示されます。

WB SENS（ホワイトバランス感度）：AUTO1、AUTO2 に設定したとき、白収束点へ近づける収束速度を調整できます。HIGH を選ぶと速度が早くなり、LOW を選ぶと速度が遅くなります。
また、白熱電球やろうそくなどの赤みの強い光源下や屋外の日陰など青みの強い光源下での撮影時に、赤みや青みを調整できます。HIGH を選ぶと、赤みや青みが減少し、LOW を選ぶと赤みや青みが強まります。

WB R.SHIFT、WB B.SHIFT（ホワイトバランス赤／青シフト）：ホワイトバランス自動調整の白収束点

を、赤色系、青色系それぞれ別個にシフトさせることができます。それぞれ –7 ～ +7 の範囲で調整できます。

R. GAIN（赤ゲイン）、B. GAIN（青ゲイン）：MANUAL を選択すると表示されます。それぞれ、–128 ～ +127 の範囲でホワイトバランスを手動調整できます。

COLOR GAIN（カラーゲイン）

画像の色濃度を調整します。–7 ～ +7 の範囲で調整できます。+ 方向は色が濃くなり、– 方向は色が薄くなります。

COLOR HUE（カラーヒュー）

画像の色相を調整します。–7 ～ +7 の範囲で調整できます。

ご注意

COLOR MATRIX を OFF に設定している場合は、COLOR HUE は設定できません。

COLOR MATRIX（カラーマトリックス）

白収束点はそのままで、特定の色領域だけを強調したり弱めたりできます。

ON：R.ENHANCE（赤色の調整）、G.ENHANCE（緑色の調整）、B.ENHANCE（青色の調整）、YL.ENHANCE（黄色の調整）、CY.ENHANCE（シアンの調整）、MG.ENHANCE（マゼンダの調整）の色領域を –10 ～ +10 の範囲で調整できます。

OFF：カラーマトリックス機能は働きません。

PICTURE メニュー

画質調整などのメニューです。

```
<PICTURE>
 >DETAIL              7
  COLOR DETAIL       OFF

  GAMMA           NORMAL
  KNEE POINT        AUTO
  FLICKER CANCEL     OFF
  B&W                OFF
  COLOR BAR          OFF
```

DETAIL（輪郭補正）

画像の輪郭補正レベルを選択します。
0 ～ 15 の範囲で設定できます。設定値を大きくするほどくっきりした画像になります。0 は一番柔らかい輪郭になります。

COLOR DETAIL（カラーディーテル）

特定の色の輪郭強調を抑えます。

OFF：COLOR DETAIL 機能は働きません。

CHECK：PHASE で指定した色の部分（STD の領域）が白く表示されます。

NARROW：PHASE で指定した色の領域を狭くします。

STD：PHASE で指定した色の領域を NARROW と WIDE の中間にします。

WIDE：PHASE で指定した色の領域を広くします。

OFF 以外に設定されていると PHASE が表示され、輪郭強調を抑える色を指定できます。設定範囲は 0 ～ 71 です。

COLOR DETAIL の設定方法

1. COLOR DETAIL を CHECK に設定する。
2. PHASE を選び、輪郭強調を抑えたい領域が白く表示されるように調整する。
3. COLOR DETAIL を NARROW、STD、WIDE のいずれかに設定する。

ご注意

COLOR DETAIL の CHECK の状態をプリセットメモリーに記憶することはできません。

GAMMA（ガンマ）

カメラのガンマカーブを選択します。

NORMAL：通常のガンマカーブで撮影します。

CINEMA：フィルムに近い自然な諧調を再現するガンマカーブで撮影できます。

KNEE POINT（ニーポイント）

輝度が高い部分や白い被写体などの「白つぶれ」を抑えます。

AUTO：KNEE POINT を自動的に調整します。

LOW：KNEE POINT を MID よりも低い値に設定します。

MID：KNEE POINT を LOW と HIGH の間に設定します。

HIGH：KNEE POINT を MID よりも高い値に設定します。

OFF：KNEE 機能は働きません。

ご注意

GAMMA を CINEMA に設定している場合は、KNEE POINT は設定できません。

FLICKER CANCEL（フリッカー低減）

ON にすると、電源周波数が 50 Hz の蛍光灯などの光源下で撮影している場合でも画面のちらつき（フリッカー）を低減できます。OFF にすると、フリッカー低減機能は働きません。

ご注意

照明の種類によっては、低減効果が現れないことがあります。

B&W（白黒モード）

ON にすると、カメラ画像が白黒モードになります。

COLOR BAR（カラーバー）

ON にすると、カメラに内蔵のカラーバーが画面に表示されます。

FOCUS メニュー

フォーカスの設定メニューです。

MODE（フォーカスモード）

フォーカスモードを選択します。

AUTO：自動的にピントが合います。

MANUAL：手動でピントを調節できます。付属のリモコンの FAR/NEAR ボタンを押して調節します。

ご注意

以下のような被写体を撮影するときは、MANUAL に設定して手動でピントを合わせてください。
－白い壁など、コントラストのない被写体
－ガラスごしの被写体
－横縞の多い被写体
－照明や光の反射など、強い光が当たっている被写体
－夜景など暗い背景の中に点滅する光がある被写体

NEAR LIMIT（ニアリミット）

カメラの近くにある被写体にピントが合うのを制限します。

ON：カメラからの距離が約 50 cm より近い被写体にピントが合わないようにします。

OFF：カメラからの距離が約 10 cm ～∞までの被写体にピントが合うようにします。

AF ASSIST（オートフォーカスアシスト）

MODE を AUTO に設定しているときでも、一時的に手動でピントを調節することができます。
AF ASSIST は MODE が AUTO に設定されている場合のみ有効です。

ON：付属のリモコンの NEAR/FAR ボタンまたはリモートコントロールユニット RM-BR300 の FOCUS つまみで、ピントが合っている被写体より手前または奥の被写体に手動でピントを合わせることができます。

OFF：自動的にピントが合います。手動調節はできなくなります。

PAN TILT ZOOM メニュー

パン・チルト・ズーム用のメニューです。

```
<PAN TILT ZOOM>
  PAN-TILT LIMIT
 > PAN              OFF
    LEFT            END
    RIGHT           END
   TILT             OFF
    DOWN            END
    UP              END
  RAMP CURVE      MODE2
  D-ZOOM            OFF
```

PAN-TILT LIMIT（パン・チルト制限）

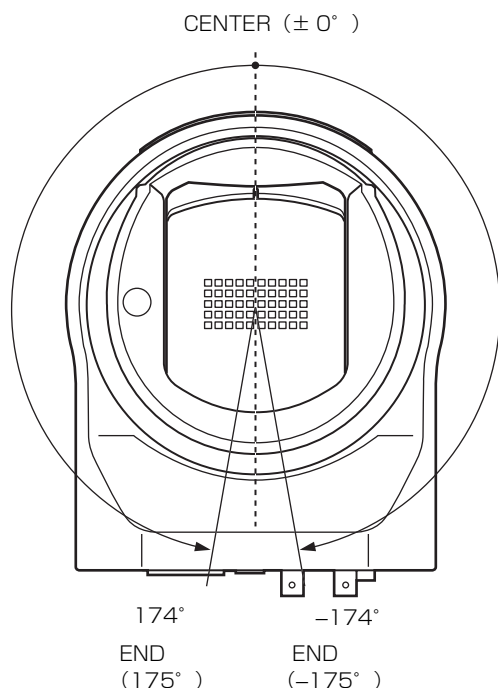
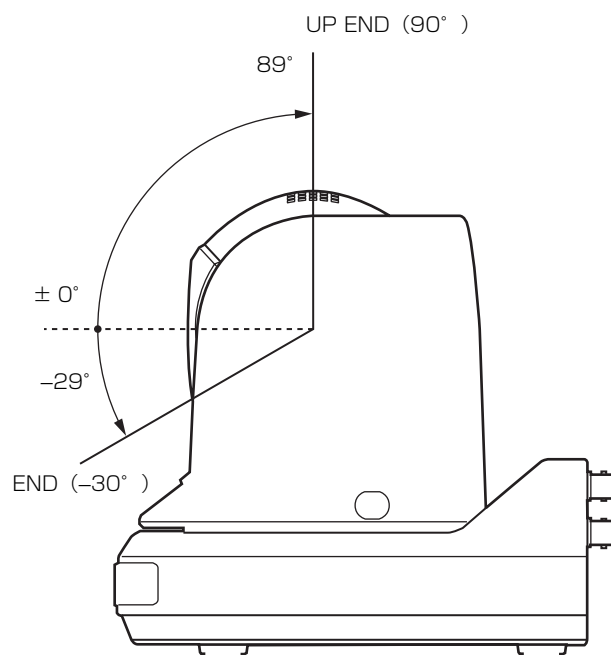
PAN を ON にすると LEFT、RIGHT で、TILT を ON にすると DOWN、UP でパン・チルト範囲の制限ができます。以下の設定値を選択できます。

PAN LEFT：END、174° ～ –174°（1° 単位）から選択できます。

PAN RIGHT：174° ～ –174°（1° 単位）、END から選択できます。

TILT DOWN：END、–29° ～ –89°（1° 単位）から選択できます。

TILT UP：–29° ～ –89°（1° 単位）、END から選択できます。

PAN LEFT/PAN RIGHT の設定範囲

TILT DOWN/TILT UP の設定範囲

ご注意

・カメラ位置のプリセットをするときは PAN-TILT LIMIT を設定してから行ってください。カメラが PAN-TILT LIMIT の設定範囲外にある場合、カメラの位置をプリセットすることはできません。

・SYSTEM メニューの IMG-FLP の設定を変更した場合、PAN-TILT LIMIT の設定は工場出荷時の設定に戻ります。

RAMP CURVE（加速・減速カーブ）

プリセット機能で呼び出したときの、加速・減速カーブを選択します。

MODE1：最も鋭敏に加速・減速します。

MODE2：MODE1 と MODE3 の中間の動作で加速・減速します。

MODE3：最も緩やかに加速・減速します。

D-ZOOM（デジタルズーム）

デジタルズーム倍率を選択すると、光学ズーム（18 倍）が動作した後、電子ズーム（1.5 倍、2 倍、4 倍）が動作して、最大 72 倍のズームができます。
OFF にするとデジタルズームは働きません。

ご注意

D-ZOOM の選択にかかわらず、カメラ画像は垂直同期期間分蓄積され、本機の RGB/COMPONENT 端子、S VIDEO 端子、VIDEO 端子、カードスロットに

装着した各種オプションカードの出力端子から出力されます。

SYSTEM メニュー

IR-RECEIVE（赤外線受光）

OFF にすると、付属のリモコンの信号を受け付けなくなります。
付属のリモコンを使うときは、必ず ON にしてください。

ご注意

付属のリモコンでメニューを操作している場合は、IR-RECEIVE を OFF に設定することはできません。IR-RECEIVE を OFF にするには、別売のリモートコントロールユニット RM-BR300 または VISCA コマンドをご使用ください。

IMG-FLIP（画像上下反転）

IMG-FLIP を ON にすると、RGB/COMPONENT 端子、S VIDEO 端子、VIDEO 端子、カードスロットに装着した各種オプションカードの出力端子から出力されるカメラの映像が上下反転し、パン・チルト操作によるカメラ映像の移動方向も逆転します。

PAN REVERSE：ON にすると、映像の移動方向が左右方向に逆転します。

TILT REVERSE：ON にすると、映像の移動方向が上下方向に逆転します。

IMG-FLIP を ON にすると、「Pleases restart system!」と表示されます。一度カメラの電源を切って、入れ直してください。

ご注意

- IMG-FLIP の ON、OFF にかかわらず、カメラ画像は垂直同期期間分蓄積され、本機の RGB/COMPONENT 端子、S VIDEO 端子、VIDEO 端子、カードスロットに装着した各種オプションカードの出力端子から出力されます。
- IMG-FLP を ON にし、カメラの電源を切って入れ直すと、PAN REVERSE と TILT REVERSE は ON に設定されます。また、IMG-FLP を OFF にして電源を入れ直すと、PAN REVERSE と TILT REVERSE は OFF に設定されます。

・IMG-FLIP を ON に設定すると、カメラ後面のリモコン受光部は効かなくなります。

DISPLAY INFO（情報表示）

付属のリモコンまたはリモートコントロールユニット RM-BR300 で POSITION1 ～ 16 にカメラの状態を記録させると、画面に「PRESET No. xx」が自動的に約 2 秒間、表示されます。
カメラを操作するたびにこの表示を行うときは、DISPLAY INFO を ON にします。OFF にすると表示は中止されます。

ご注意

本機の内部に搭載されたファンが異常停止した場合もメッセージが表示されます。DISPLAY INFO を OFF にすると、このメッセージの表示も中止されます。

SYNC MASTER（シンクマスター選択）

同期信号発生器接続時、本機の EXT SYNC IN 端子に入力される外部同期信号を、本機の VIDEO 端子または RGB/COMPONENT 端子からの出力信号に同期させるかを選択します。

HD：本機の RGB/COMPONENT 端子からの出力信号に同期させます。

SD：本機の VIDEO または S VIDEO 端子からの出力信号に同期させます。

H PHASE（水平位相）

同期信号発生器接続時、本機に入力した外部同期信号に水平位相が合うように調整します。調整範囲は 0 ～ 140 です。
H PHASE を選択すると、「PUSH ENTER BUTTON」と表示されます。リモコンの HOME ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 のジョイスティックの上部ボタンを押して、カラーバーを表示してください。
調整が終了したら、リモコンの HOME ボタンまたはリモートコントロールユニットのジョイスティックの上部ボタンを押してカラーバーを消してください。

ご注意

HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 を使用している場合は、H PHASE メニューは表示されません。

VIDEO OUT メニュー

```
<VIDEO OUT>
 HD-RGB/COMPONENT
 >FORMAT              YPbPr

   SYNC TYPE         SYNC
 SD-VIDEO/S VIDEO
  IMG SIZE  16:9[LETTER]
  SETUP                OFF
```

HD-RGB/COMPONENT

FORMAT（フォーマット）

本機の RGB/COMPONENT 端子からの出力信号を選択します。

YPbPr：アナログコンポーネント信号を出力します。

RGB：RGB 信号を出力します。

上記のモードを選択すると、下記の設定項目のうち、選択したモードで設定可能な項目が新たに表示されます。

ADD SYNC（同期信号付加）：同期信号を付加するかどうかを設定します。RGB を選ぶと、R、G、B のすべての信号に同期信号が付加されます。OFF を選ぶと、同期信号を付加しないで出力します。

SYNC TYPE：同期信号の種類を選択します。SYNC を選ぶと、複合同期信号（3 値同期信号）を出力します。VD を選ぶと、垂直同期信号を出力します。

SD-VIDEO/S VIDEO

IMG SIZE（画像サイズ）

本機の VIDEO または S VIDEO 端子から出力される信号の映像サイズ (アスペクト比) を選択します。

16：9[LETTER]：アスペクト比 16：9（レターボックス）で表示されます。

4：3[CROP]：アスペクト比 4：3（エッジクロップ）で表示されます。

4：3[SQUEEZE]：アスペクト比 4：3（スクイーズ）で表示されます。

SETUP（セットアップ信号切り換え）

出力される映像信号に 7.5 IRE のセットアップ信号を付加するかどうかを選択します。

ON：7.5 IRE のセットアップ信号が付加されます。

メニューで行う調整と設定

OFF：セットアップ信号は付加されません。

ご注意

HD 信号が 1080/50i、または 720/50p 方式の場合、この項目は表示されません。

STATUS メニュー

メニューで設定した内容を一覧表示します。

STATUS メニューは PAGE1 ～ PAGE6 まであります。
←/→ ボタンでページを切り換えます。
これらは内容を確認するためのもので、設定内容を変更することはできません。

PAGE1：EXPOSURE メニューの各項目

PAGE2：WHITE BALANCE モードなど、COLOR メニューの各項目

PAGE3：PICTURE メニューの各項目

PAGE4：FOCUS メニュー、SYSTEM メニューの各項目

PAGE5：PAN TILT ZOOM メニューの各項目

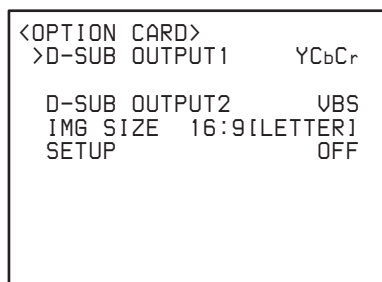
PAGE6：VIDEO OUT メニューの各項目、ファンの状態、BRC-Z330 のファームウェアバージョン、BRU-SF10 のファームウェアバージョン [1)]

[1)] HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 を使用している場合のみ。

SD メニュー

HD カラービデオカメラ BRC-Z330 または HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 に別売のアナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1 を挿入しているときのみ、このメニューが表示されます。

```
<OPTION CARD>
 >D-SUB OUTPUT1     YCbCr

  D-SUB OUTPUT2       VBS
  IMG SIZE   16:9[LETTER]
  SETUP               OFF
```

D-SUB OUTPUT1（D-SUB 出力 1）

アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1 の RGB/SYNC 端子（D-sub9 ピン）からの出力信号を選択します。

YCbCr：アナログコンポーネント信号を出力します。

RGB：RGB 信号を出力します。

ADD SYNC（同期信号付加）

D-SUB OUTPUT1 で RGB を選択している場合表示され、同期信号を付加するかどうかを設定します。

RGB：R、G、B 各信号に同期信号を付加して出力します。

OFF：R、G、B 各信号に同期信号を付加しないで出力します。

D-SUB OUTPUT2（D-SUB 出力 2）

アナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1 の RGB/SYNC 端子（D-sub9 ピン）からの出力信号を選択します。

VBS：アナログコンポジット信号を出力します。

Y/C：S ビデオ信号を出力します。

IMG SIZE（映像サイズ）

出力される信号の映像サイズ（アスペクト比）を選択します。

16：9 [LETTER]：アスペクト比 16：9（レターボックス）で表示されます。

4：3 [CROP]：アスペクト比 4：3（エッジクロップ）で表示されます。

4：3 [SQUEEZE]：アスペクト比 4：3（スクイーズ）で表示されます。

ご注意

・HD カラービデオカメラ BRC-Z330 にアナログ RGB コンポーネントカード BRBK-SA1 を挿入してお使いの場合、SD メニューの IMG SIZE と VIDEO OUT メニューの IMG SIZE は共通の設定項目となります。
・SD メニューの IMG SIZE を変更すると、HD カラービデオカメラ BRC-Z330 の VIDEO 端子および S VIDEO 端子出力の IMG SIZE も同時に切り換わります。
・VIDEO OUT メニューの IMG SIZE を変更すると、HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 の全系統の出力の IMG SIZE も同時に切り換わります。

SETUP（セットアップ信号切り換え）

出力される映像信号に 7.5 IRE のセットアップ信号を付加するかどうかを選択します。
ON を選択した場合は、YCbCr を除くすべての映像信号に対して、セットアップ信号が付加されます。

ON：7.5 IRE のセットアップ信号を付加します。

OFF：セットアップ信号を付加しません。

ご注意

HD 信号が 1080/50i または 720/50p 方式の場合、この項目は表示されません。

SD-SDI メニュー

HD カラービデオカメラ BRC-Z330 または HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 に、別売の HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2 を挿入して、カードのパネルスイッチを SD に設定した場合のみ、このメニューが表示されます。

IMG SIZE（映像サイズ）

出力される信号の映像サイズ（アスペクト比）を選択します。

16：9[LETTER]：アスペクト比 16：9（レターボックス）で表示されます。

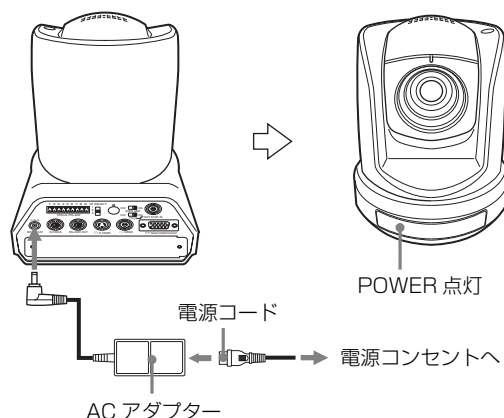
4：3[CROP]：アスペクト比 4：3（エッジクロップ）で表示されます。

4：3[SQUEEZE]：アスペクト比 4：3（スクイーズ）で表示されます。

ご注意

・HD カラービデオカメラ BRC-Z330 に HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2 を挿入して使用する場合、SD-SDI メニューの IMG SIZE と VIDEO OUT メニューの IMG SIZE は共通の設定項目となります。
・SD-SDI メニューの IMG SIZE を変更すると、HD カラービデオカメラ BRC-Z330 の VIDEO 端子および S VIDEO 端子出力の IMG SIZE も同時に切り換わります。
・VIDEO OUT メニューの IMG SIZE を変更すると、HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2 の SD-SDI 出力の IMG SIZE も同時に換わります。

付属のリモコンを使った操作

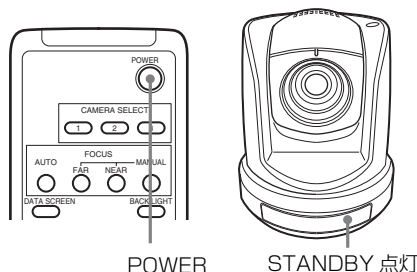
操作を行う前に、本機および周辺機器が正しく設置、接続されているか確認してください。

詳しくは、「設置する」(56 ページ)および「接続する」(63 ページ)をご欄ください。

電源を入れる

1 付属の AC アダプターと電源コードを使ってカメラをコンセントにつなぐ。
電源が入り、POWER ランプが点灯します。
電源を入れると、カメラは自動的にパン・チルト動作をして、POSITION 1 に記憶された位置になります。(パン・チルトリセット)。

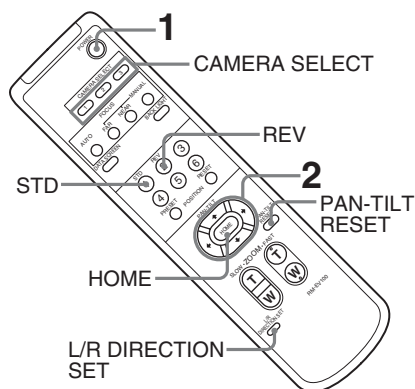
2 その他の周辺機器の電源を入れる。

リモコンで電源を入切するには

カメラをコンセントにつないでいるときは、リモコンの POWER スイッチで電源の入切ができます。
リモコンで電源を切ると、POWER ランプは消え、STANDBY ランプが点灯します。

ご注意

- リモコンで電源を切ると、レンズを埃から保護するために、カメラは下向きになって STANDBY になります。ただし、SYSTEM メニューの IMG-FLIP を ON に設定している場合は、カメラを天井から吊り下げたときにレンズが床に向くよう、カメラは上向きになって STANDBY になります。
- HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 をご使用の場合は、付属のリモコンで電源を入切することはできません。BRU-SF10 の電源スイッチ、または BRU-SF10 に接続されたリモートコントロールユニット RM-BR300 の POWER ボタンで電源を入切できます。

パン・チルト・ズームを操作する

パン・チルトする

1 POWER スイッチを押す。
電源が入って、カメラは自動的にパン・チルトリセット動作をします。

2 矢印ボタンを押してパン・チルトする。
画面を見ながら、見たい方向の矢印ボタンを押します。
細かく動かすには、短く押します。
大きく動かすには、長く押し続けます。
斜めに動かすには、⬆ または ⬇ ボタンを押しながら ⬅ または ➡ ボタンを押します。

カメラが望遠のとき、パン・チルト動作は遅くなり、広角のときは速くなります。

カメラの向きを正面に戻すには

HOME ボタンを押します。

カメラの向きを手で動かしてしまったら

PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットします。

カメラの動きと見たい方向の矢印ボタンが違うときは

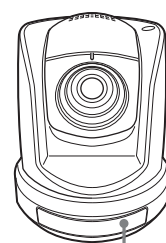
通常、➡ ボタンを押すとカメラは右方向に動くよう設定されています。画面を見ながらカメラの向きを変えるときなど、カメラの動きを左右逆にしたい場合は、L/R DIRECTION SET ボタンを押しながら 2(REV) ボタンを押します。もとの設定に戻すときは、L/R DIRECTION SET ボタンを押しながら 1(STD) ボタンを押します。

矢印ボタン	カメラの動き	設定方法
➡		L/R DIRECTION SET 押しながら STD 1 押す
➡		L/R DIRECTION SET 押しながら REV 2 押す

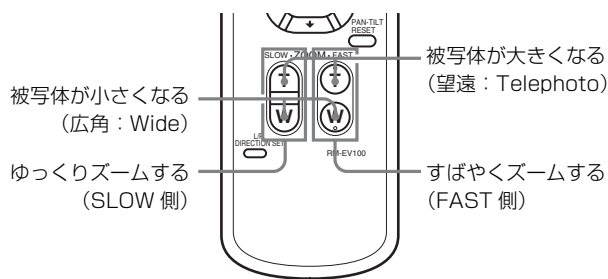
ご注意

上記の設定はリモコンの発信信号を変えているだけで、カメラ本体の設定を変えているのではありません。複数のリモコンを使うときは、リモコンごとに設定してください。

カメラの STANDBY ランプが点滅したら

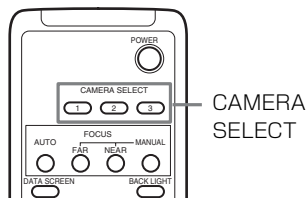
外力でカメラが動かされたときや、物や指をはさんだ場合など、カメラのマイコンがカメラのパン・チルト位置を正しく記憶していないことがあり、カメラの動きが自動停止します。
PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットするか、一度電源を切り、再度電源を入れてください。

ズームする

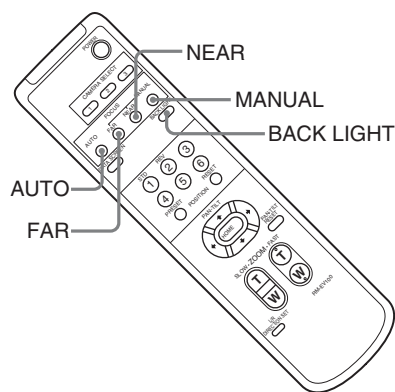
ZOOM ボタンを押します。

ご注意

望遠にした状態でパン・チルト動作をすると、画面上、動作速度が一定でないように見えることがあります。

複数のカメラをリモコンで操作する

1 操作したいカメラ後面の IR SELECT スイッチを 1、2、3 のどれかに合わせる。

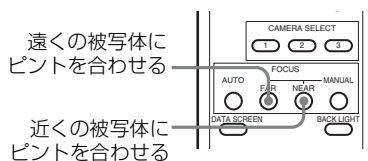
2 1で設定した番号と同じ番号のCAMERA SELECT ボタン（リモコン）を押す。

これで、特定のカメラをリモコンから操作できるようになります。
リモコンからカメラを操作するたびに、手順 2 で押したCAMERA SELECT ボタンが点灯します。

カメラを調節する

ピントを合わせる

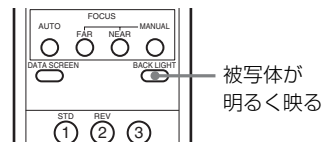
自動でピントを調節するには

AUTO ボタンを押します。
自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。

手動でピントを調節するには

MANUAL ボタンを押してから、FAR ボタンまたはNEAR ボタンで調節します。

逆光を補正する

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映る場合などBACK LIGHT ボタンを押します。
解除するには、もう一度 BACK LIGHT ボタンを押します。

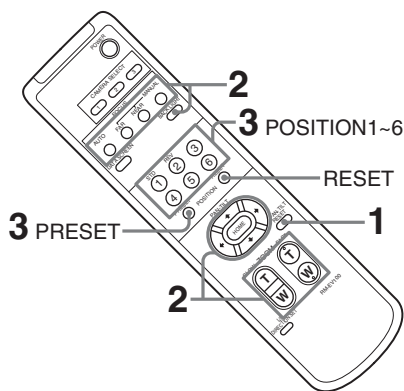
ご注意

BACK LIGHT ボタンは、EXPOSURE メニューの MODEを MANUAL に設定した場合無効となります。

カメラの状態を記憶させる―プリセット機能

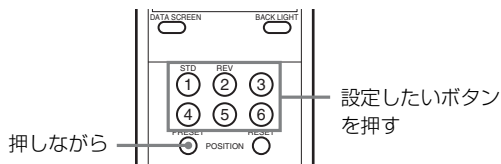
カメラの向きや、ズーム、ピント調節、逆光補正の入切などを 6 種類まで記憶できます。

ご注意

本機では、16 種類のプリセットに対応していますが、付属のリモコンで対応できるのは 1 ～ 6 ポジションです。7 ～ 16 ポジションにプリセットする場合は、別売のリモートコントロールユニット RM-BR300 をご使用ください。

記憶できる設定項目については、「プリセット項目」（79 ページ）をご覧ください。

1 PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットする。

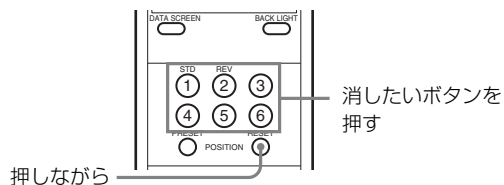
2 カメラの向き、ズーム、ピント、逆光補正を調節する。（46、47 ページ参照）

3 PRESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ～ 6 ボタンの中から 1 つ選んで押す。

選んだ PRESET ボタンの番号「PRESET No.xx」が約 2 秒間表示されます。

記憶させた状態を呼び出すには

POSITION 1 ～ 6 ボタンの中から 1 つ選んで押します。

記憶を消すには

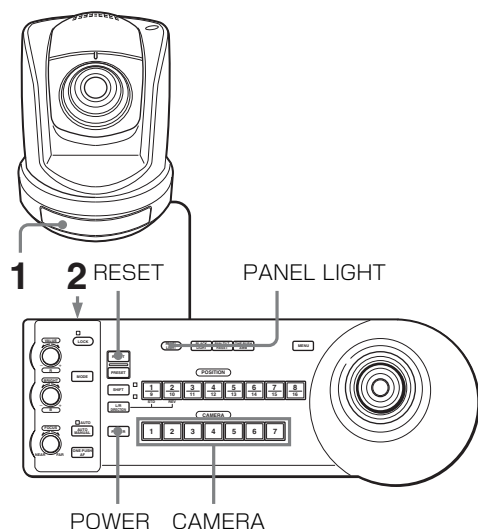
RESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ～ 6 ボタンの中から記憶を消したいボタンを選んで押します。

ご注意

- 電源を入れたときは、POSITION 1 に記憶された設定内容で起動します。
- 電源を一度切ってから再度入れたときに、電源を切る前のカメラの状態やパン・チルト位置を反映させたいときは、POSITION 1 に設定を記憶させてください。
- POSITION 1 への記憶設定、記憶消去は、他の POSITION よりも、2 秒程度時間が多くかかります。
- POSITION への記憶設定中または記憶消去中は、他の POSITION の記憶呼び出し、設定、消去はできません。

リモートコントロールユニット RM-BR300 を使った操作

操作を行う前に、本機とリモートコントロールユニット RM-BR300 および周辺機器が正しく設置、接続されているか確認してください。

詳しくは、「設置する」（56 ページ）および「接続する」（63 ページ）をご覧ください。

電源を入れる

1 付属のACアダプターと電源コードを使ってカメラをコンセントにつなぐ。
電源が入り、POWER ランプが点灯します。
電源を入れると、カメラは自動的にパン・チルト動作をして、POSITION1 に記憶された位置になります（パン・チルトリセット）。

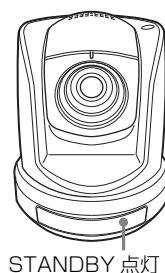
2 リモートコントロールユニット RM-BR300 の ON/OFF スイッチを押して、電源を入れる。
前回リモートコントロールユニットの電源を切る際に選択されていた番号の CAMERA ボタンが点灯します。
（お買い上げ後、初めて電源を入れたときは 1 ボタンが点灯します。）

3 その他の周辺機器の電源を入れる。

ご注意

カメラの電源は、リモートコントロールユニットの電源より先に入れてください。カメラの電源を後で入れると、リモートコントロールユニットで接続を認識できないことがあります。

リモートコントロールユニット RM-BR300 で電源を入切するには

カメラをコンセントにつないでいるときは、リモートコントロールユニットの POWER ボタンでカメラの電源の入切ができます。
POWER ボタンを押しながら、電源を入切したいカメラの CAMERA ボタンを押します。
リモートコントロールユニットで電源を切ると、カメラの POWER ランプは消え、STANDBY ランプが点灯します。

ご注意

リモコンで電源を切ると、レンズを埃から保護するために、カメラは下向きになって STANDBY になります。ただし、SYSTEM メニューの IMG-FLIP を ON に設定している場合は、カメラを天井から吊り下げたときにレンズが床に向くよう、カメラは上向きになって STANDBY になります。

リモートコントロールユニットのパネルを照明するには

PANEL LIGHT ボタンを押します。すべての POSITION ボタンと CAMERA ボタンが点灯します。
照明を消すには、もう一度 PANEL LIGHT ボタンを押します。

PANEL LIGHT

複数のカメラを操作する

操作の前に、接続したカメラにアドレスを割り当てます。いったんアドレスを割り当てれば、CAMERA ボタンを押すだけで、操作するカメラを切り換えることができます。

カメラアドレスを自動的に割り当てるには

1 各カメラの底面のカメラアドレス設定スイッチが0に設定されていることを確認する。

カメラアドレス設定スイッチについては、23 ページをご覧ください。

2 すべてのカメラとリモートコントロールユニットRM-BR300 の電源を入れる。

3 リモートコントロールユニットの RESET ボタンを押しながら POWER ボタンを押す。
カメラの接続が認識され、接続されている順番に各カメラに 1 ～ 7 のカメラアドレスが自動的に割り当てられます。

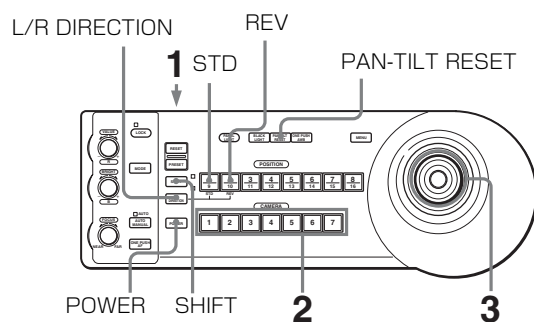
4 リモートコントロールユニットのPOWERボタンを押して、CAMERA ボタンが点灯することを確認する。
カメラアドレスが割り当てられたカメラの数だけCAMERA ボタンが点灯します。
これで CAMERA ボタンを押すだけで、カメラを切り換えることができます。

カメラアドレスを手動で割り当てるには

各カメラの底面のカメラアドレス設定スイッチでカメラアドレス 1 ～ 7 を設定します。

カメラアドレス設定スイッチの設定のしかたは、23 ページをご覧ください。

パン・チルト・ズームを操作する

パン・チルトする

1 カメラとリモートコントロールユニットRM-BR300の電源を入れる。
カメラの電源が入り、カメラは自動的にパン・チルトリセット動作をします。

2 CAMERA ボタンを押して、操作したいカメラを選ぶ。

3 ジョイスティックを使ってパン・チルトする。
画面を見ながら、見たい方向にジョイスティックを倒します。
ジョイスティックを倒す角度によって、パン・チルトの速度が変わります。
手を離すと、動作が停止します。

パン・チルトの最高速度を制限するには

ジョイスティックを最大限に倒したとき（最高速度）の速度を 7 段階に制限できます。

1 SHIFTボタンを押しながらPAN-TILT RESETボタンを 1 秒以上押す。
CAMERA ボタン 1 ～ 7 がすべて点滅します。

2 制限したい速度に対応した CAMERA ボタンを押す。

CAMERA ボタン	パン・チルト最高速度
1	4.4 度／秒
2	6.7 度／秒
3	11.6 度／秒
4	18.6 度／秒
5	29.2 度／秒

CAMERA ボタン	パン・チルト最高速度
6	43.4 度／秒
7	60 度／秒

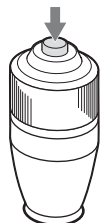
押した CAMERA ボタンのみが点滅し、対応する最高速度が設定されます。

ご注意

パン・チルトの最高速度を制限するための設定は、リモートコントロールユニット RM-BR300 に記憶されます。ご使用になる RM-BR300 を交換した場合や、RM-BR300 に接続するカメラを交換した場合は、再度設定し直してください。

カメラの向きを正面に戻すには

ジョイスティック上部のボタンを１～２秒押します。

１～２秒押す

カメラヘッド部の向きを手で動かしてしまったら

PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットします。

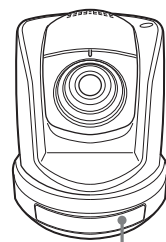
カメラの動きとジョイスティックを倒す方向が違うときは

通常、ジョイスティックを右へ倒すとカメラは右方向に動くよう設定されています。画面を見ながらカメラの向きを変えるときなど、カメラの動きを左右逆にしたい場合は、CAMERA ボタンでカメラを選び、L/R DIRECTION ボタンを押しながら POSITION 2（REV）ボタンを押します。もとの設定に戻すときは、L/R DIRECTION ボタンを押しながら POSITION 1（STD）ボタンを押します。

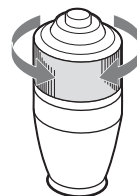
ご注意

上記の設定はリモートコントロールユニット RM-BR300 からの出力信号を変えているだけで、カメラ本体の設定を変えているのではありません。

カメラの STANDBY ランプが点滅したら

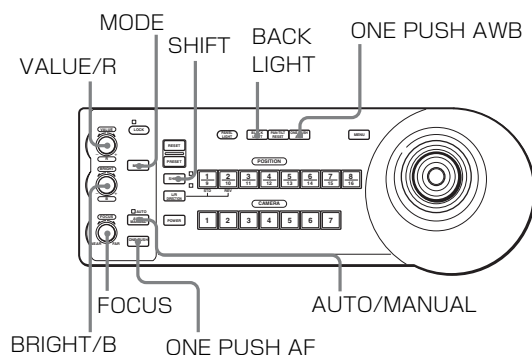
外力でカメラが動かされたときや、物や指をはさんだ場合など、カメラのマイコンがカメラのパン・チルト位置を正しく記憶していないことがあり、カメラの動きが自動停止します。
PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットするか、一度電源を切り再度電源を入れてください。

STANDBY 点滅

ズームする

ジョイスティック上部のダイヤルを左右に回します。

被写体が大きくなる
（望遠：Telephoto）

ご注意

望遠にした状態でパン・チルト動作をすると、画面上、動作速度が一定でないように見えることがあります。

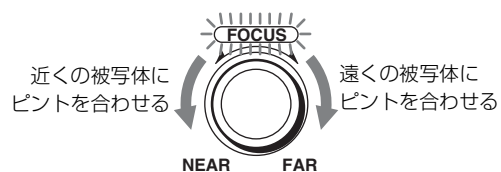
カメラを調節する

ピントを合わせる

自動でピントを調節するには

AUTO/MANUAL ボタンを押して、AUTO インジケーターを点灯させます。

自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。

手動でピントを調節するには

AUTO/MANUAL ボタンを押して AUTO インジケーターを消してから、FOCUS つまみを左右に回して調節します。

手動調整中にワンタッチでピントを自動調節するには

ONE PUSH AF ボタンを押します。自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。

逆光を補正する

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映る場合など BACK LIGHT ボタンを押します。
解除するには、もう一度 BACK LIGHT ボタンを押します。

BACK LIGHT

ご注意

BACK LIGHT ボタンは、EXPOSURE メニューの MODE を MANUAL に設定した場合無効となります。

スポットライト補正をする

被写体の一部に明るい場所がある場合、SHIFT ボタンを押しながら BACK LIGHT ボタンを押します。露出が暗く調整されて撮影できます。
解除するには、もう一度 SHIFT ボタンを押しながら BACK LIGHT ボタンを押します。

ご注意

逆光補正とスポットライト補正を同時に機能させることはできません。

ホワイトバランスを調節する

被写体と同じ照明条件のところに白いものを置き、ズームアップなどをして画面いっぱいに白い被写体を撮像します（白壁などでも代用できます）。
この白を使って、ホワイトバランスを調節します。

自動でホワイトバランスを調節するには

1 COLORメニューのWHITE BALANCEをONE PUSHに設定する。

設定のしかたは、「COLOR メニュー」（36 ページ）をご覧ください。

2 ONE PUSH AWB ボタンを押す。
自動的にホワイトバランスを調節します。

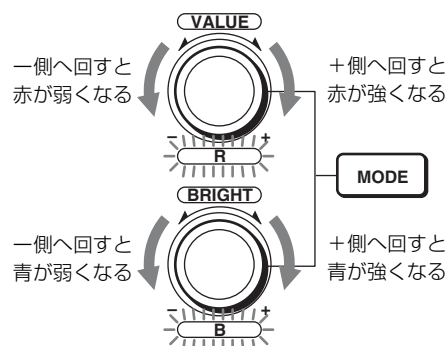
ONE PUSH AWB

手動でホワイトバランスを調節するには

1 COLOR メニューの WHITE BALANCE を MANUAL に設定する。

設定のしかたは、「COLOR メニュー」（36 ページ）をご覧ください。

2 MODE ボタンを押して、VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみの R、B の文字を点灯させる（ホワイトバランス調節モード）。

3 R つまみで赤のゲイン、B つまみで青のゲインを調節する。

R つまみと B つまみの機能

MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき、本機の COLOR メニューの WHITE BALANCE の設定により、R つまみと B つまみの機能は次のように変わります。

WHITE BALANCE の設定	R つまみ	B つまみ
MANUAL	赤のゲイン調整	青のゲイン調整
AUTO1/2、ONE PUSH	WB R.SHIFT 調整	WB B.SHIFT 調整

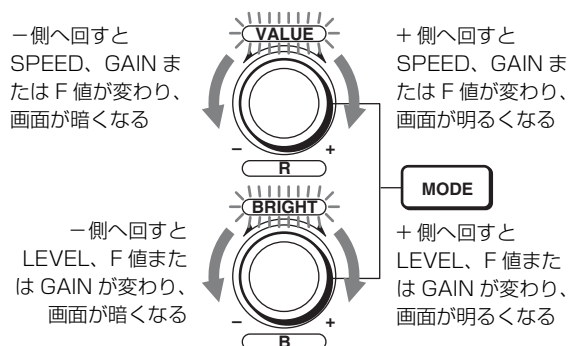
WB R./B.SHIFT（ホワイトバランス赤 / 青シフト）調整については、「WHITE BALANCE（ホワイトバランスモード）」（36 ページ）をご覧ください。

明るさを調節する

1 EXPOSURE メニューの MODE を SHUTTER Pri、または IRIS Pri、GAIN Pri、MANUAL に設定する。

設定のしかたは、「EXPOSURE メニュー」（35 ページ）をご覧ください。

2 MODE ボタンを押して、VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみの VALUE と BRIGHT の文字を点灯させる（明るさ調節モード）。

3 VALUE つまみ、または BRIGHT つまみで明るさを調節する。

VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能

VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能は、EXPOSURE メニューの MODE 設定によって次のように変わります。

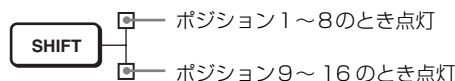
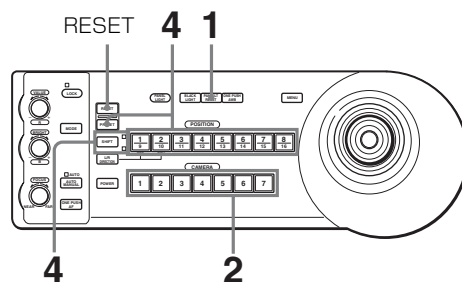
MODE の設定	VALUE つまみの機能	BRIGHT つまみの機能
FULL AUTO	（未使用）	EX-COMP LEVEL 調整（EXPOSURE メニューの EX-COMP が ON のとき）
SHUTTER Pri	SHUTTER SPEED 調整	
IRIS Pri	F 値調整	
GAIN Pri	GAIN 調整	
MANUAL	SHUTTER SPEED 調整	・ F 値 +GAIN 調整（リモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ 3 が ON のとき） ・ F 値調整（リモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ 3 が OFF のとき）

カメラの状態を記憶させる－プリセット機能

リモートコントロールユニット RM-BR300 を使って、カメラの向きや、ズーム、ピント調節、逆光補正の入 / 切などを 16 種類（16 ポジション）までカメラ内部のメモリーに記憶させることができます。
記憶できる設定項目については、「プリセット項目」（79 ページ）をご覧ください。

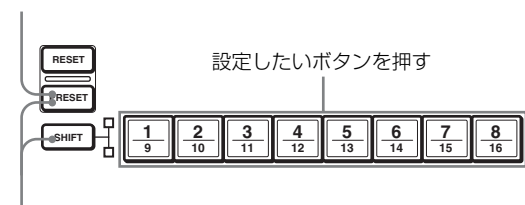
カメラの状態を記憶させる

ポジション 9 ～ 16 を選ぶには

SHIFT ボタンを押しながら PRESET ボタン（記憶させるとき）または RESET ボタン（記憶を消すとき）を押すと、SHIFT ボタンの下側のインジケーターが点灯します。POSITION1 ～ 8 ボタンがポジション 9 ～ 16 用に切り換わり、設定できます。
SHIFT ボタンから指を離すと、上側のインジケーターが点灯し、POSITION1 ～ 8 ボタンがポジション 1 ～ 8 用に戻ります。

カメラの状態を記憶させるには

1 PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットする。

2 CAMERA ボタンを押してカメラを選択する。

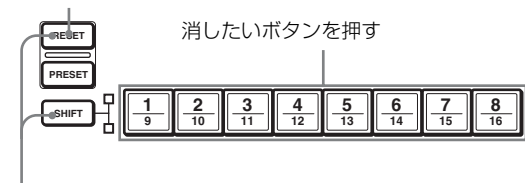
3 カメラの向き、ズーム、ピント、逆光補正などを調節する。（50、52 ページ参照）

4 PRESET ボタンを押しながら、POSITION ボタン（POSITION1 ～ 8）、または SHIFT ボタンと POSITION ボタン（POSITION9 ～ 16）を押す。

カメラの状態がカメラ内部のメモリーに記憶されます。
記憶中は押したボタンが点滅します。記憶が完了すると点滅が止まります。

記憶させた状態を呼び出すには

POSITION ボタンの中から 1 つ選んで押します。
POSITION 9 ～ 16 を呼び出す場合は、SHIFT ボタンを押しながら呼び出したい POSITION ボタンを押します。

記憶を消すには

RESET ボタンを押しながら、POSITION ボタン（POSITION1 ～ 8）、または SHIFT ボタンと POSITION ボタン（POSITION9 ～ 16）を押します。

記憶消去中は押したボタンが点滅します。消去が完了すると点滅が止まります。

ご注意

- 電源を入れたときは、POSITION 1 に記憶された設定内容で起動します。
- 電源を一度切ってから再度入れたときに、電源を切る前のカメラの状態やパン・チルト位置を反映させたいときは、POSITION 1 に設定を記憶させてください。
- POSITION への記憶設定中または記憶消去中は、他の POSITION の記憶呼び出し、設定、消去はできません。

ポジション移動時の速度を設定する

プリセットしたポジションへカメラが移動するときのパン・チルト速度を設定できます。

1 CAMERA ボタンを押してカメラを選択する。

2 移動速度を設定したいPOSITIONボタンを1秒以上押す。
CAMERA ボタン 1 ～ 7 がすべて点滅します。

3 設定したい速度に対応した CAMERA ボタンを押す。

CAMERA ボタン	パン・チルト速度
1	1.3 度 / 秒
2	3.4 度 / 秒
3	5.4 度 / 秒
4	11.6 度 / 秒
5	23.9 度 / 秒
6	43.4 度 / 秒
7	60 度 / 秒 (デフォルト)

これで、カメラが移動するときの速度が設定されました。

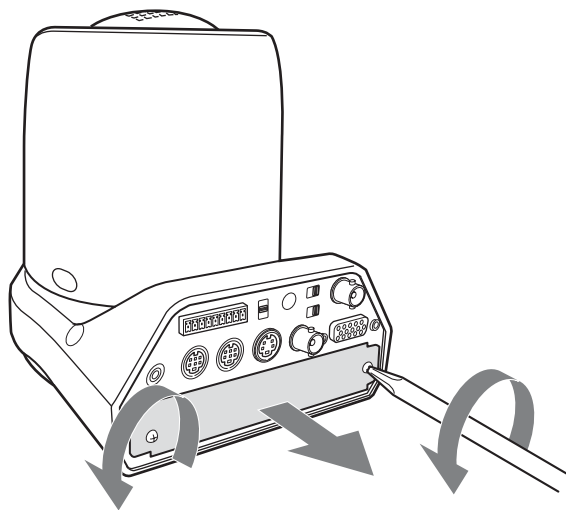
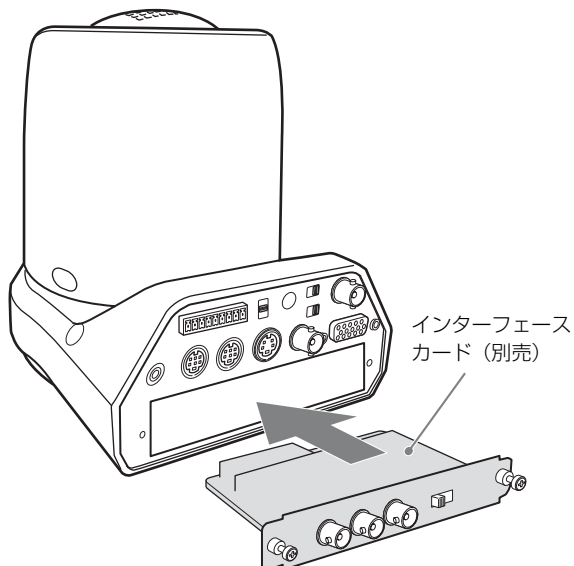
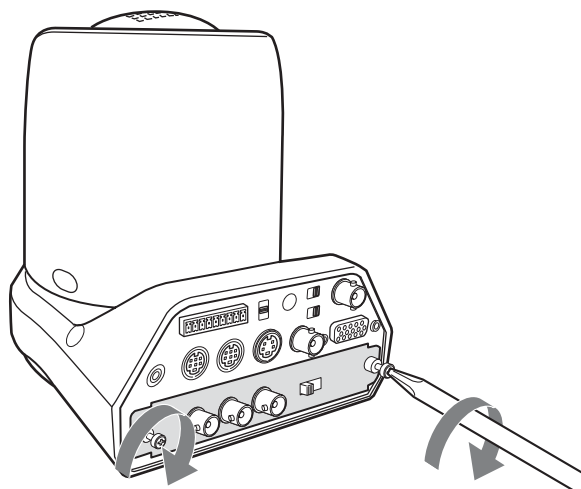
ポジション 9 ～ 16 の移動速度を設定するには

SHIFT ボタンを押しながら POSITION ボタンを 1 秒以上押すと、POSITION1 ～ 8 ボタンがポジション 9 ～ 16 用に切り換わり、設定できます。

設置する

インターフェースカードを取り付ける

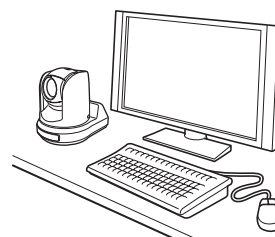
後面のカードスロットへ別売のインターフェースカードを取り付けます。

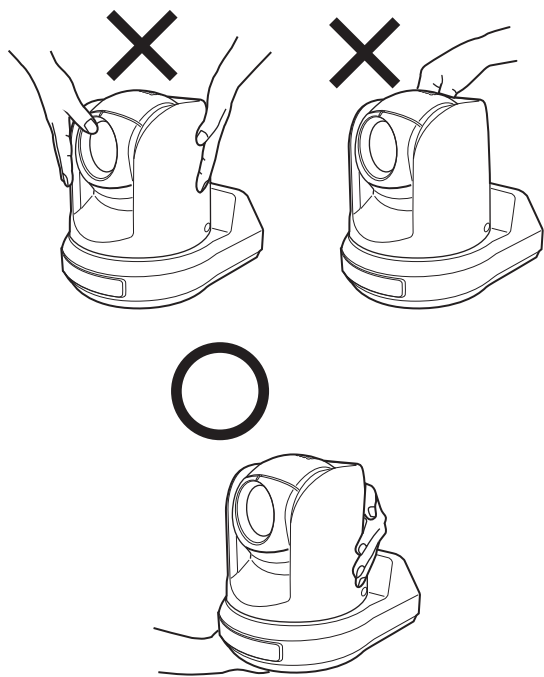
1 ネジを２本ゆるめ、カバーを取り外す。

2 別売のインターフェースカードを挿入する。
両側のスライドレールに基板の端を合わせ、奥までしっかりと挿入してください。

3 両側のネジを締める。

インターフェースカードを取り外すには

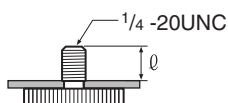
インターフェースカード両側のネジをゆるめ、水平にゆっくりと引き抜きます。

カメラを設置する

デスクトップへ設置するには

カメラ本体は、平らなところに置きます。
やむを得ず傾いたところに設置するときは、パン・チルト動作性能を保証するため、水平に対して± 15°以内のところに設置してください。

ご注意

・ 設置する際は落下防止処置を施してください。
・ 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
・ カメラヘッド部をパン方向やチルト方向へ手で回さないでください。故障の原因となります。

三脚に取り付けるには

底面の三脚取り付け用ネジ穴に三脚を取り付けます。
三脚は、段差のない平面に取り付け、手でしっかり締め付けてください。
三脚取り付け用のネジは、次の規格のものを使用してください。

ℓ ＝ 4.5 mm ～ 7 mm
ℓ ＝ 0.18 ～ 0.27 インチ

⚠警告

三脚用ネジによる固定は、落下防止のため高所への設置には使用しないでください。

高所へ設置する

付属のシーリングブラケットとワイヤーロープ、ネジを使って、既存の天井のジャンクションボックスや高い所に設置した棚や台などにカメラを取り付けることができます。
設置する際には、水平な天井や棚などに設置してください。やむを得ず傾きのあるところに設置する場合は、パン・チルト動作性能を保証するため、傾きが水平面に対して± 15° 以内のところに設置してください。

⚠警告

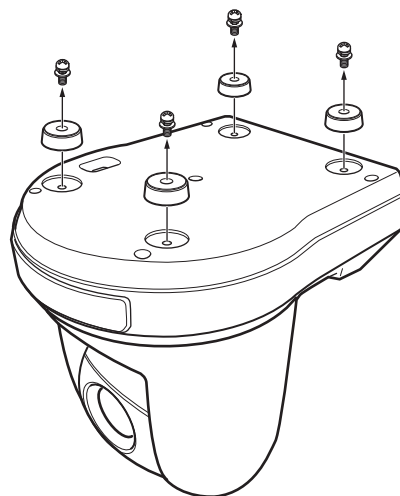
- 天井などの高所に設置する場合は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材（付属品を除く）が、40 kg 以上の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、付属のワイヤーロープは必ず取り付けてください。
- 高所へ設置した場合は、1 年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

設置する前に

接続ケーブルは、シーリングブラケット（A）の中を通して配線できません。天井や棚などの本体後部の位置に配線用の穴が必要です。また、天井に設置する場合は、天井にジャンクションボックス用の穴を、高所の棚などに設置する場合は、棚などにシーリングブラケットの突起用の穴を開けておきます。シーリングブラケット用には、直径 70 mm 程度の穴が必要です。
カメラの撮影方向を決めてから各穴を開けてください。

天井への設置（設置例）

1 SYSTEM メニューの IMG-FLIP を ON にする。

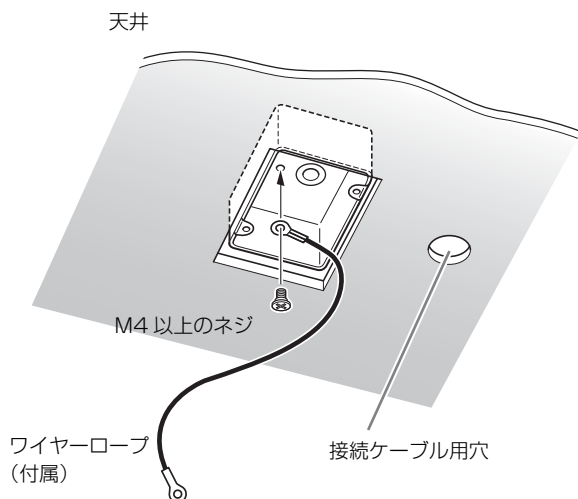
2 カメラ底面のネジをはずして脚 4 本を取り外す。

3 シーリングブラケット（A）を付属のネジ（⊕M3 × 8）4 本でカメラの底面に取り付ける。

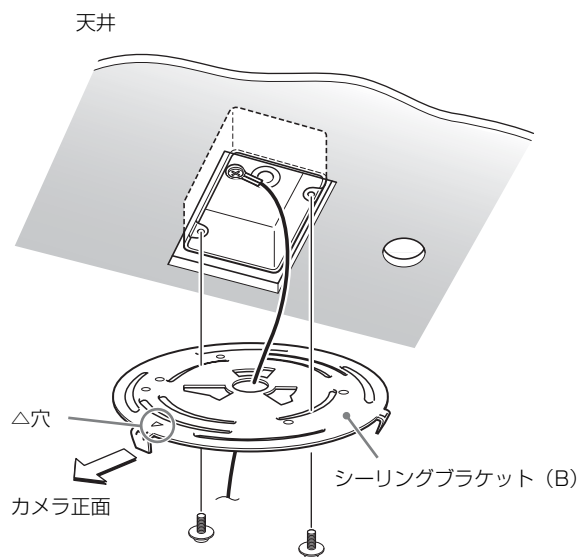
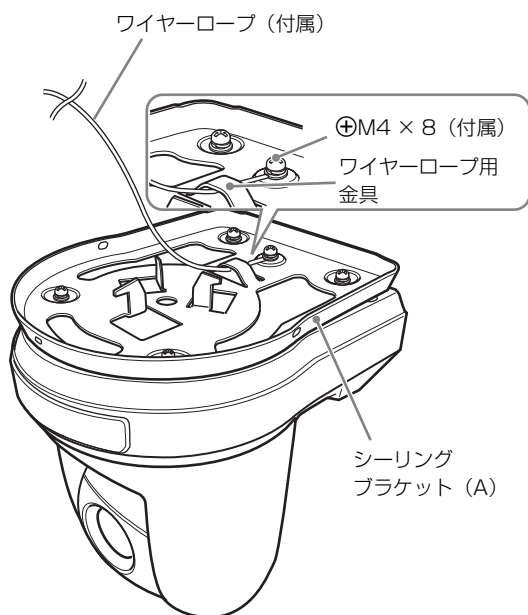
図のように、ブラケット（A）のねじ用の〇穴とカメラの正面を合わせ、ブラケットのネジ穴をカメラ底面のネジ穴に合わせて取り付けます。

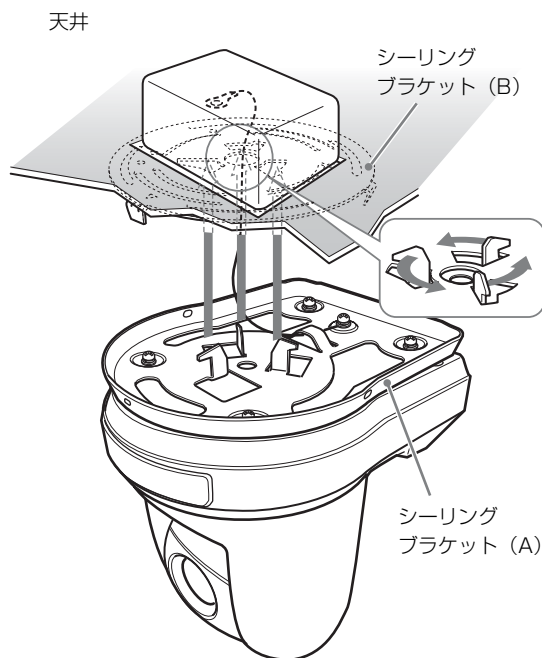
⚠注意

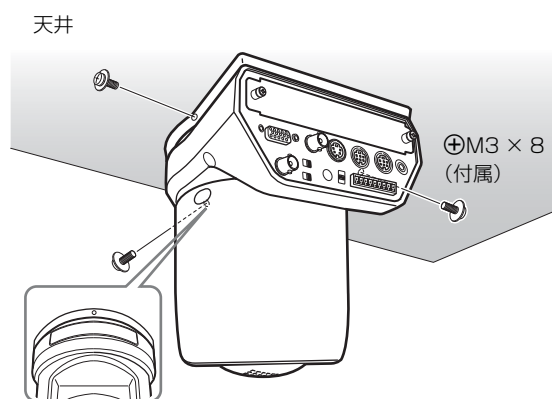
取り付けネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本体内部を破損する恐れがあります。

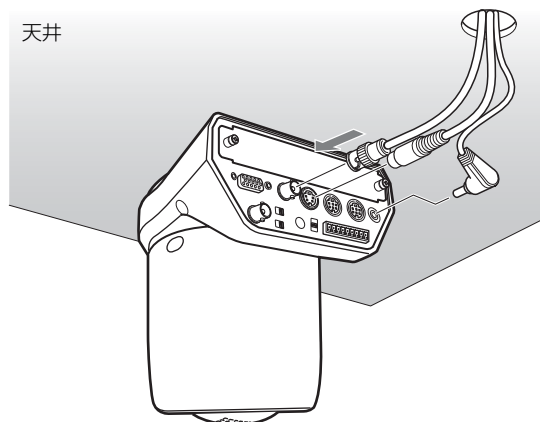
4 天井のジャンクションボックスへワイヤーロープを取り付ける。

取り付けネジは、外径が M4 以上のネジ（付属していません）をお使いください。

5 シーリングブラケット（B）を天井のジャンクションボックスに取り付ける。
ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジ（付属していません）をお使いください。

シーリングブラケット（B）の△穴が、あとでカメラの正面になる位置です。カメラが正面を向くよう、シーリングブラケットの向きを調整して取り付けてください。

6 落下防止用のワイヤーロープをシーリングブラケット（A）に取り付ける。
シーリングブラケット（A）のワイヤーロープ用金具にワイヤーロープを通し、付属のステンレスネジ（⊕M4 × 8）でブラケットの取り付け部にしっかり固定する。

> **⚠警告**
> 取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

7 シーリングブラケット（A）の正面にあるねじ用の○穴をシーリングブラケット（B）の△穴に合わせてさしこみ、シーリングブラケット（A）をカメラごと時計回り方向に回して仮固定する。

8 付属のネジ（⊕M3 × 8）3本でシーリングブラケット（A）と（B）を固定する。

設置と接続

9 カメラ後面の端子にケーブルを接続する。

ご注意

接続したケーブル類は接続部に負荷がかからないように処理してください。

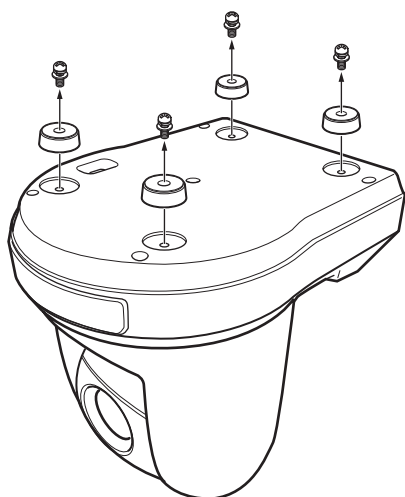
10 必要に応じて、SONY バッジと HD バッジを反転させる。

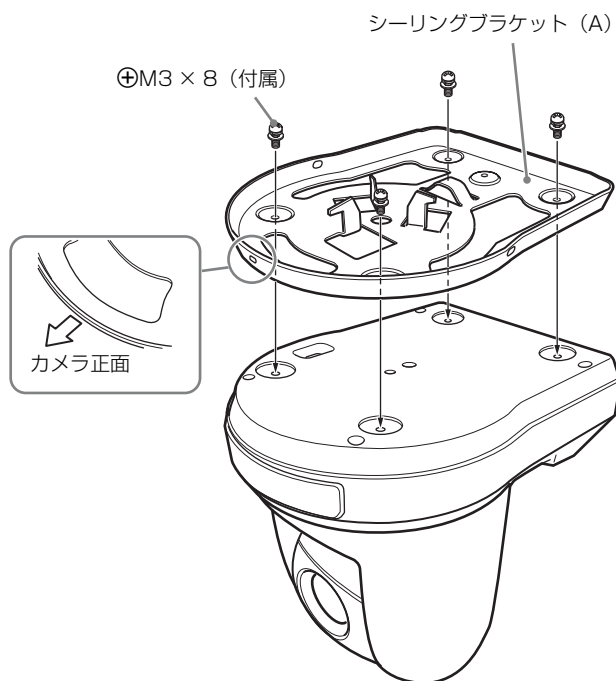
カメラの外しかた

1 「天井への設置（設置例）」の手順 8 で、カメラを固定したネジ 3 本を外す。

2 カメラ全体を反時計回り方向へ回して外す。

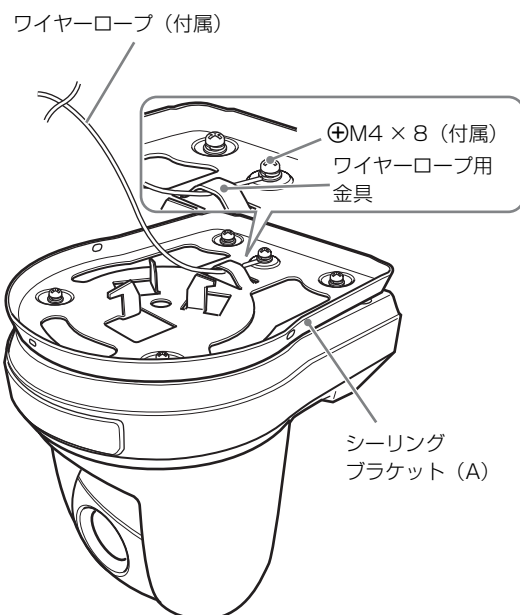
高所の棚などへの設置（設置例）

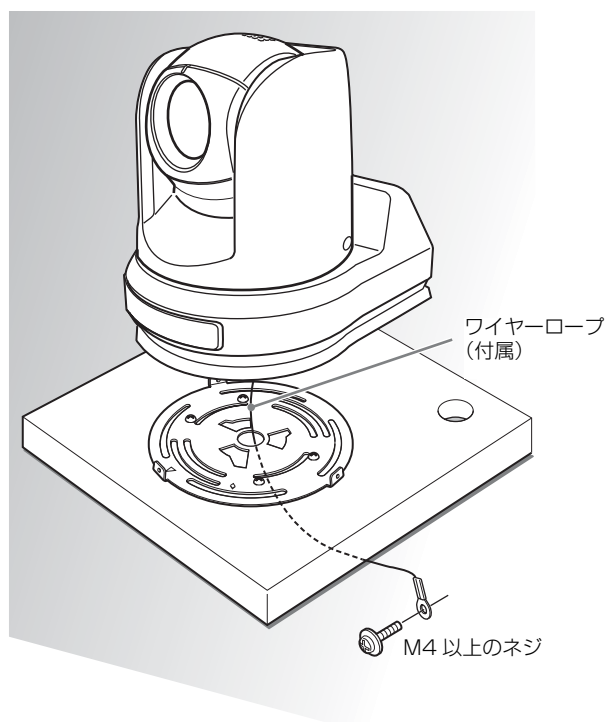
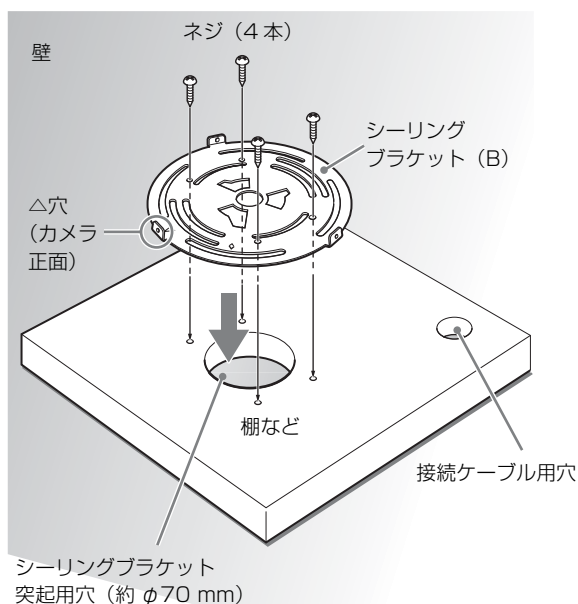
1 カメラ底面のネジをはずして脚 4 本を取り外す。

2 シーリングブラケット（A）を付属のネジ（⊕M3 × 8）4 本でカメラの底面に取り付ける。

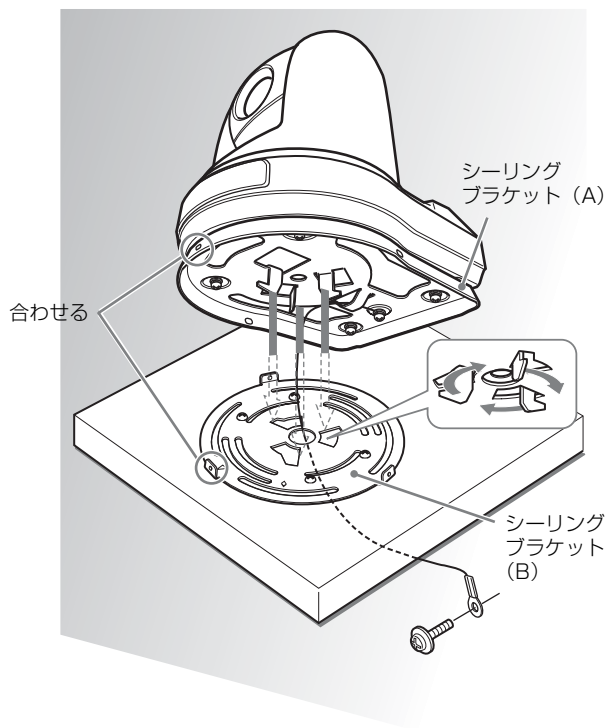
図のようにブラケット（A）のねじ用の○穴とカメラの正面を合わせ、ブラケットのネジ穴をカメラ底面のネジ穴に合わせて取り付けます。

ご注意

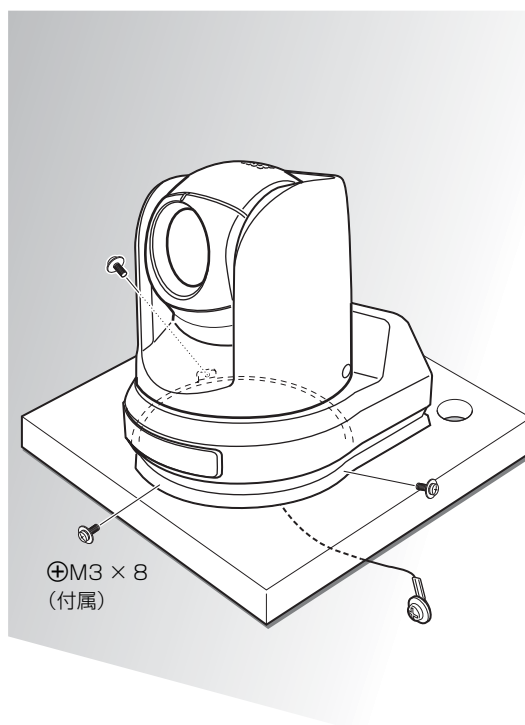
取り付けネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本体内部を破損する恐れがあります。

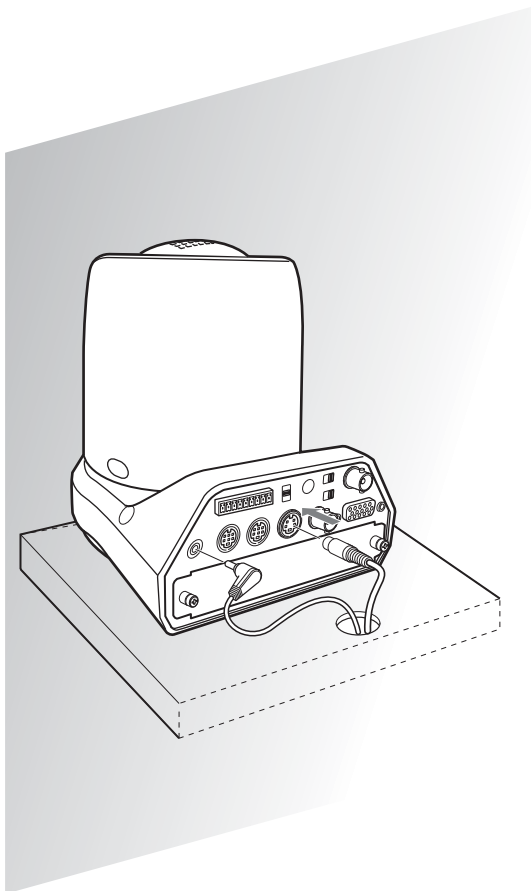
3 落下防止用のワイヤーロープをシーリングブラケット（A）に取り付ける。
シーリングブラケット（A）のワイヤーロープ用金具にワイヤーロープを通し、付属のステンレスネジ（⊕M4 × 8）でブラケットの取り付け部にしっかり固定する。

⚠警告

取り付けには付属のネジをご使用ください。付属以外のネジをご使用になると、ワイヤーロープの機能が有効に働かない可能性があります。

4 シーリングブラケット（B）を、カメラを設置する棚などに取り付ける。
ネジ4本（付属していません）を使って取り付けます。取り付ける棚などの材質に合ったネジをお使いください。
シーリングブラケット（B）の△穴が、あとでカメラの正面になる方向に合わせて取り付けてください。

5 ワイヤーロープを棚側の部材に取り付ける。
取り付けネジは、外径が M4 以上のネジ（付属していません）を使用し、シーリングブラケット（B）を取り付けた棚などとは別の部材に取り付けてください。

6 シーリングブラケット（A）の正面にあるねじ用の○穴をシーリングブラケット（B）の△穴に合わせてさしこみ、シーリングブラケット（A）をカメラごと時計回り方向に回して仮固定する。

7 付属のネジ（⊕M3 × 8）3本でシーリングブラケット（A）と（B）を固定する。

設置と接続

8 カメラ後面の端子にケーブルを接続する。

ご注意

接続したケーブル類は接続部に負荷がかからないように処理してください。

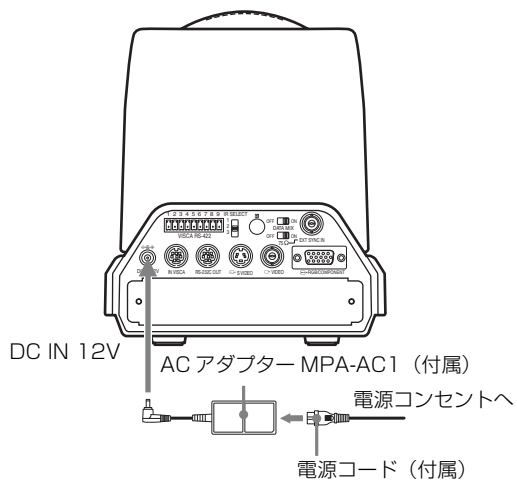
カメラの外しかた

1 「高所の棚などへの設置」の手順7で、カメラを固定したネジ3本を外す。

2 カメラ全体を反時計回り方向へ回して外す。

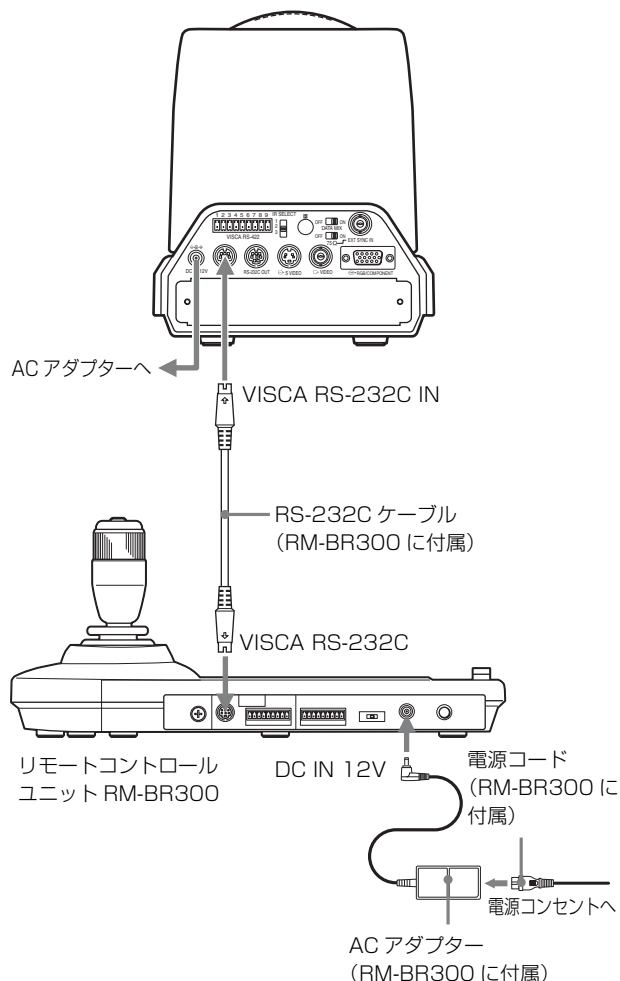
接続する

AC 電源への接続

付属の AC アダプターと電源コードを使って、AC 電源へ接続します。

警告

本機は電源スイッチを備えていません。
設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

リモートコントロールユニット RM-BR300 との接続

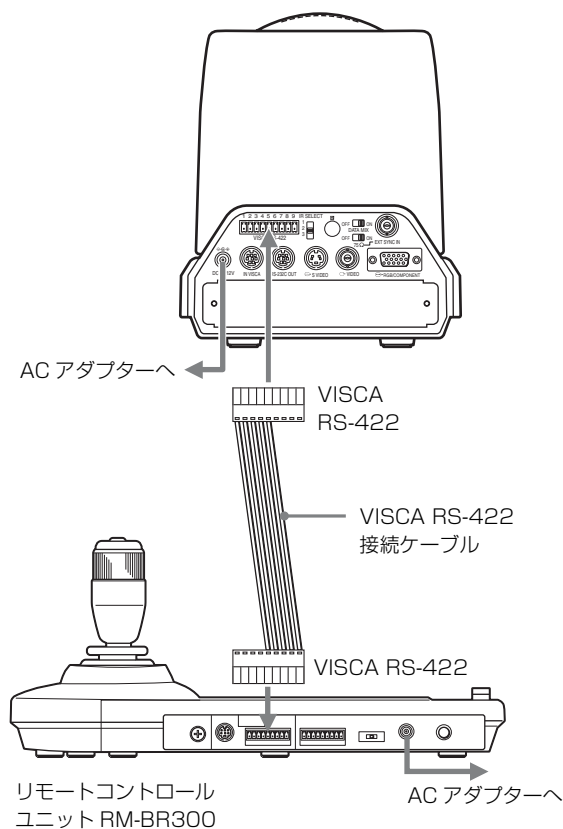
リモートコントロールユニットに付属の RS-232C 接続ケーブルを使って接続します。

ご注意

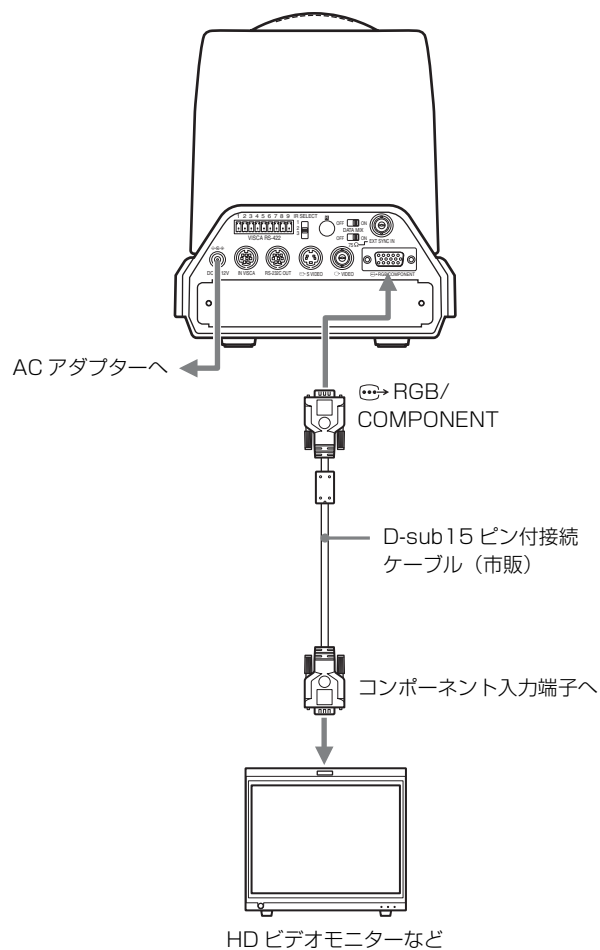
VISCA RS-232C 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ（22 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で RS-232C が選択されていることを確認してください。

VISCA RS-422 端子を使って接続するには

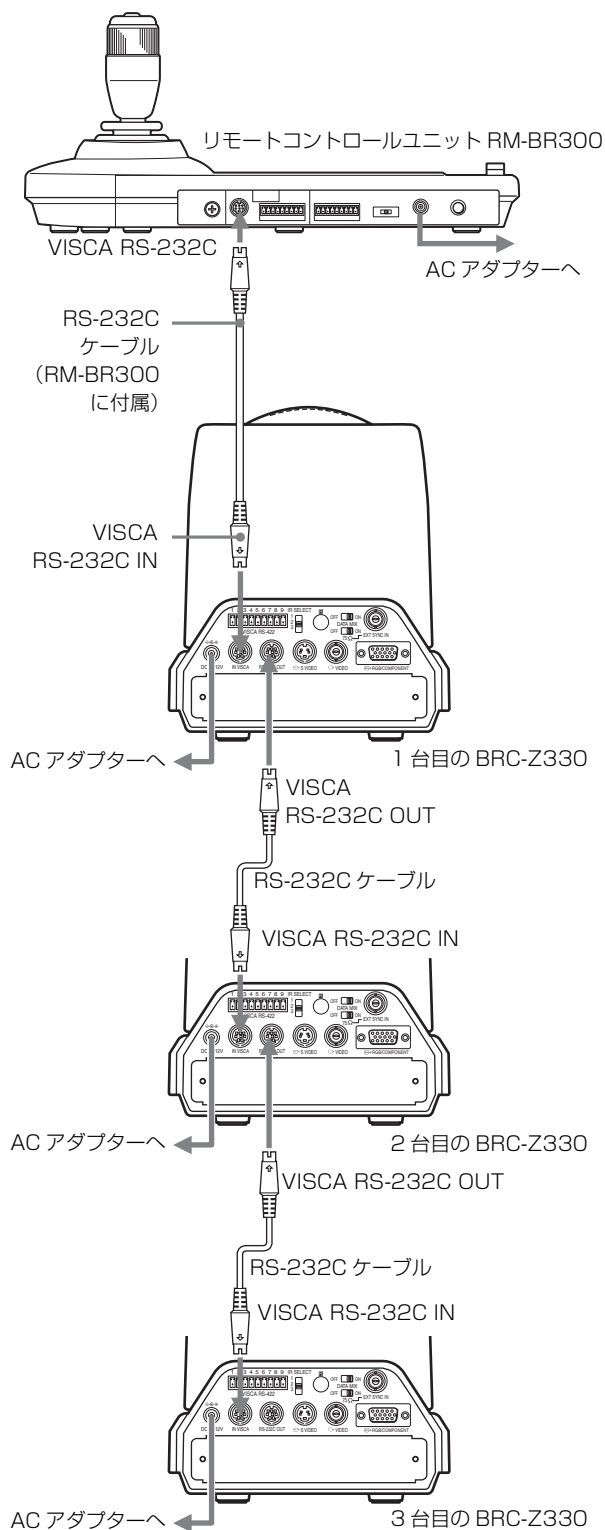
RS-232C 接続ケーブルの代わりに、VISCA RS-422 端子を使ってリモートコントロールユニット RM-BR300 を接続することもできます。VISCA RS-422 接続では、最大 1.2 km までの接続が可能です。
カメラとリモートコントロールユニットに付属の RS-422 端子台コネクターを使って、接続ケーブルを製作してください。

接続ケーブル製作の際は、VISCA RS-422 端子のピン配列（87、88 ページ）と VISCA RS-422 接続の配線図（90 ページ）を参考にしてください。
また、VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかたは、91 ページをご覧ください。

ご注意

- VISCA RS-422 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ（22 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で RS-422 が選択されていることを確認してください。
- VISCA RS-422 接続時は VISCA RS-232C 接続を行うことはできません。

アナログコンポーネント（YPbPr）入力端子を持つモニターなどとの接続

VISCA RS-232C 端子を持つ機器との接続

VISCA RS-232C 接続ケーブル（クロスタイプ）を接続すると、複数のカメラを 1 台のリモートコントロールユニット RM-BR300 でコントロールすることができます。

設置と接続

リモートコントロールユニット RM-BR300 の代わりに、VISCA RS-232C 端子を持つコンピューターに接続することも可能です。

ご注意

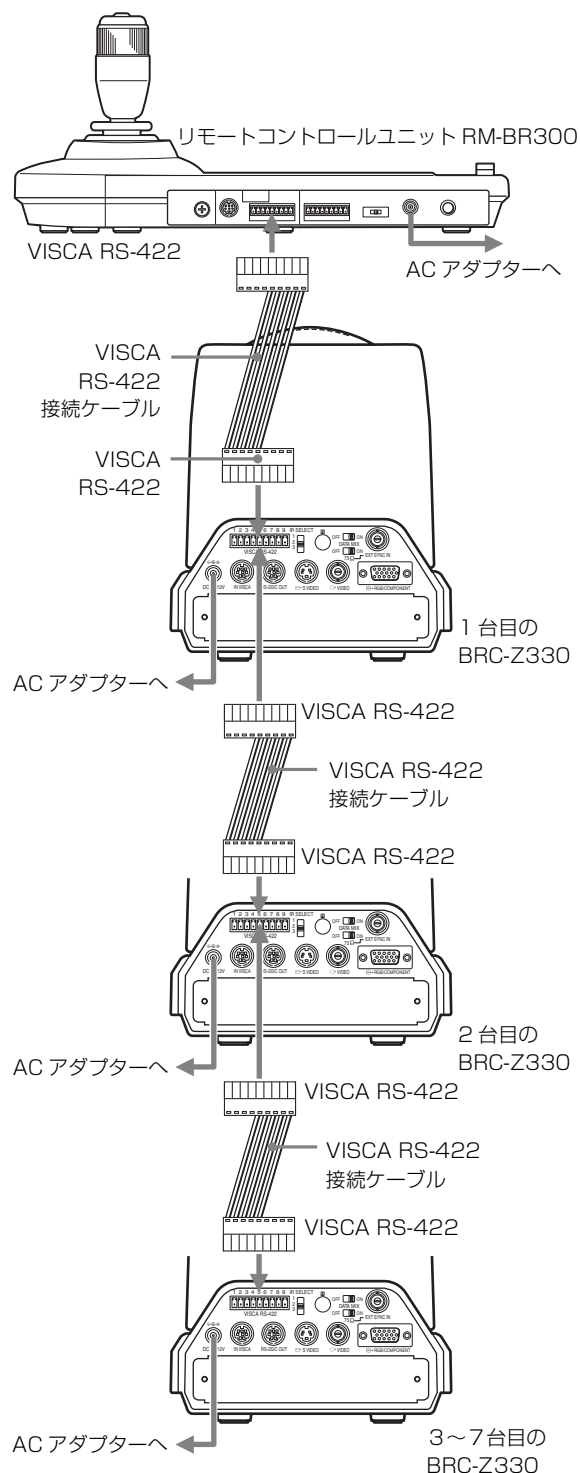
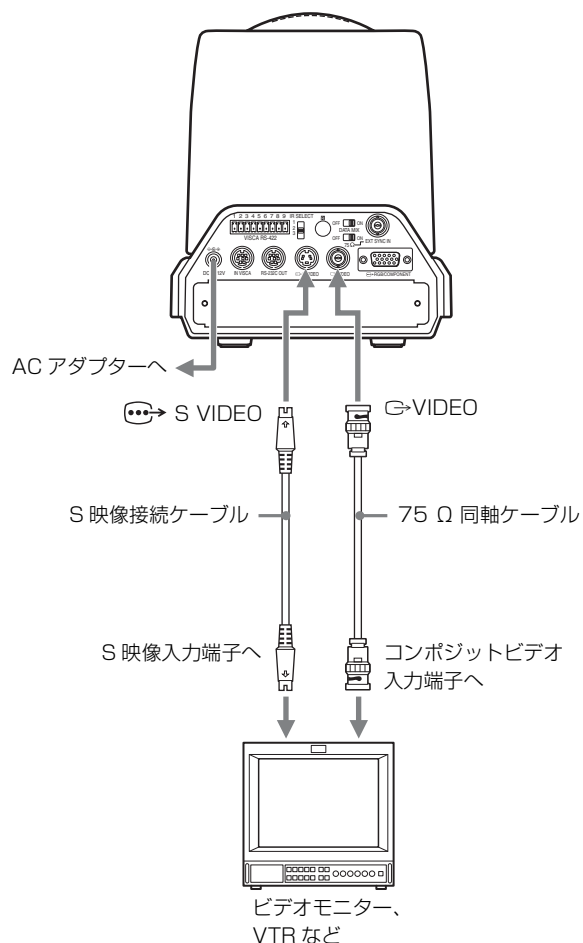
VISCA RS-232C 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ（22 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で RS-232C が選択されていることを確認してください。

VISCA RS-422 端子を持つ機器との接続

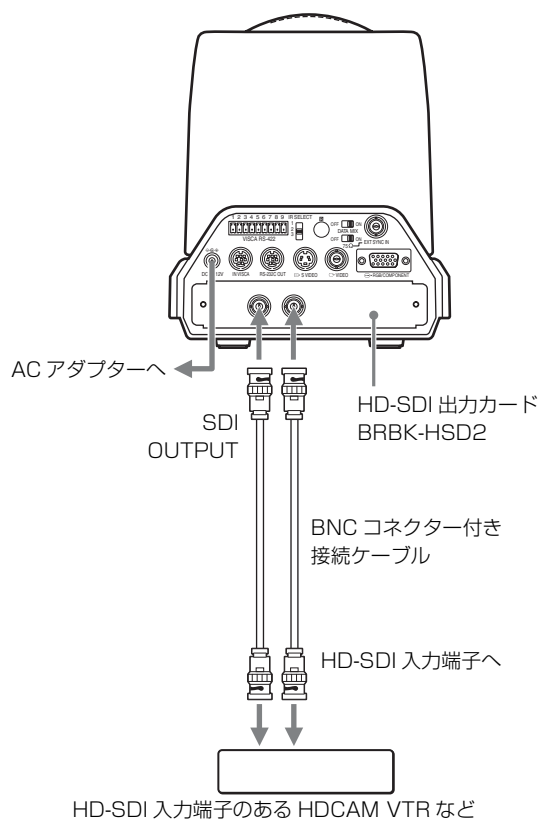
VISCA RS-422 端子を使って複数のカメラを接続することもできます。VISCA RS-422 接続では、最大 1.2 km までの接続が可能です。
カメラとリモートコントロールユニットに付属の RS-422 端子台コネクターを使って、接続ケーブルを製作してください。

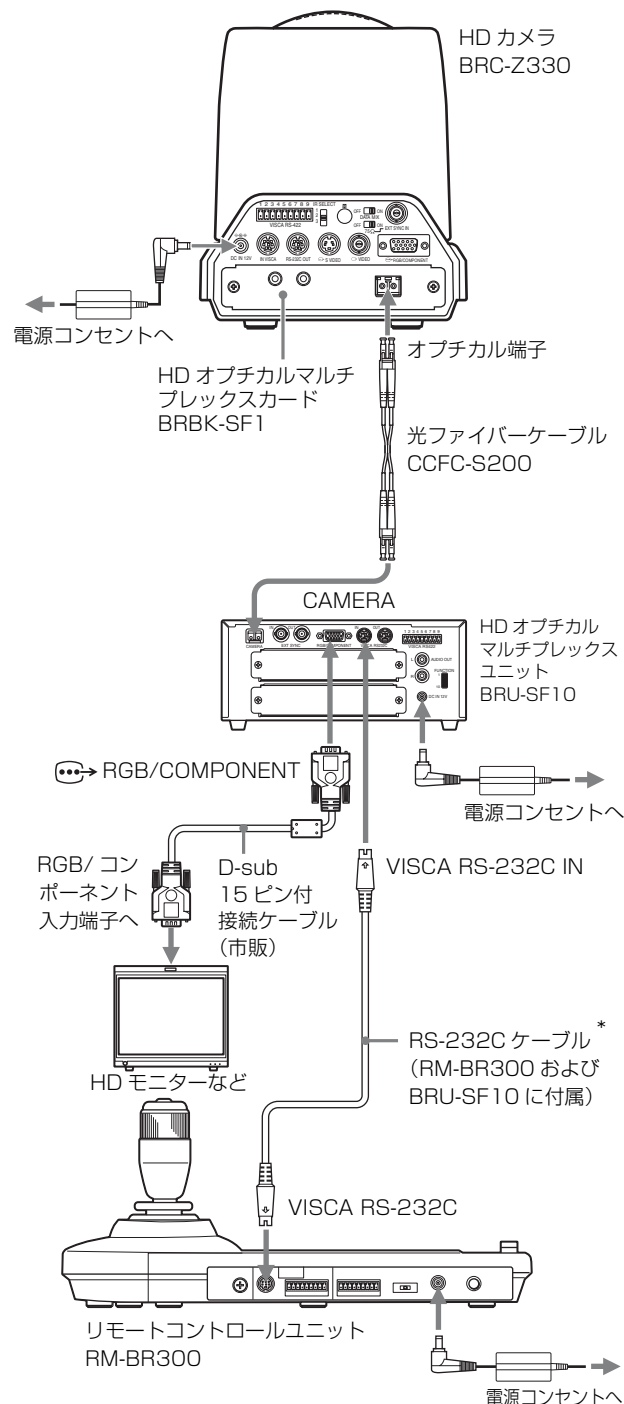
接続ケーブル製作の際は、VISCA RS-422 端子のピン配列（87、88 ページ）と VISCA RS-422 接続の配線図（90 ページ）を参考にしてください。
また、VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかたは、91 ページをご覧ください。

ご注意

- VISCA RS-422 接続の場合は、カメラ底面の BOTTOM スイッチ（22 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で RS-422 が選択されていることを確認してください。
- VISCA RS-422 接続時は VISCA RS-232C 接続を行うことはできません。
- VISCA RS-422 接続と VISCA RS-232C 接続のケーブルを同時に配線しないでください。同時に配線すると、カメラが誤動作することがあります。

コンポジットビデオまたは S 映像入力端子を持つビデオモニターや VTR との接続

HD-SDI 入力端子を持つ VTR との接続

別売の HD-SDI 出力カード BRBK-HD2 または HD/SD-SDI 出力カード BRBK-HSD2 を本機に取り付け、本機の電源を入れます。カメラ映像を HD-SDI（SMPTE292M シリアルデジタルインターフェース）規格に準拠した信号に変換して出力することができます。

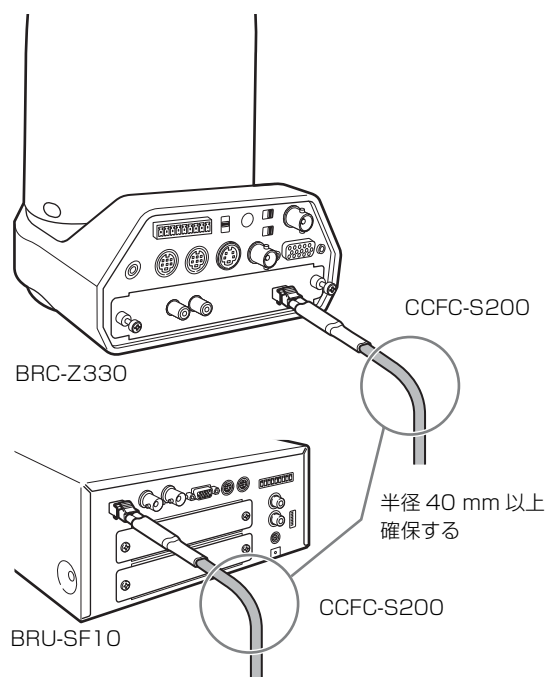
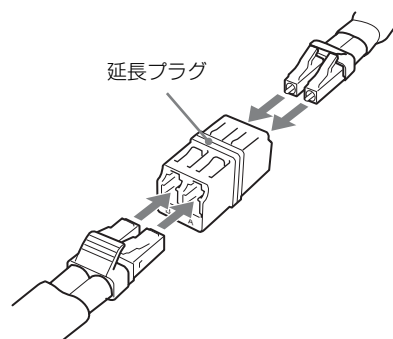
設置と接続

HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 との接続

別売の HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 を本機に取り付けると、光ファイバーケーブル CCFC-S200 と HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 を使って、最大 2,000 m の距離からカメラをコントロールすることができます。

* VISCA RS-232C 接続の代わりに VISCA RS-422 端子を使って、VISCA RS-422 接続を行うこともできます。

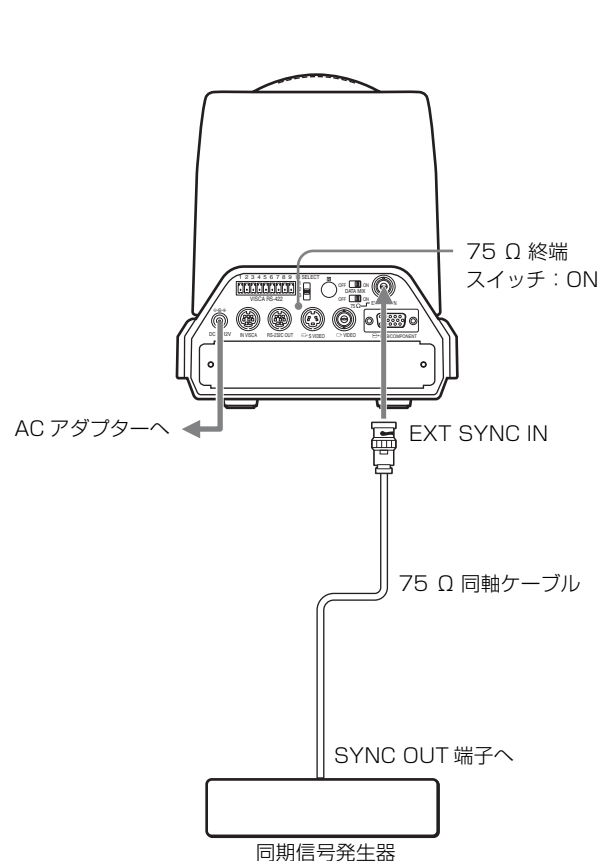
ご注意

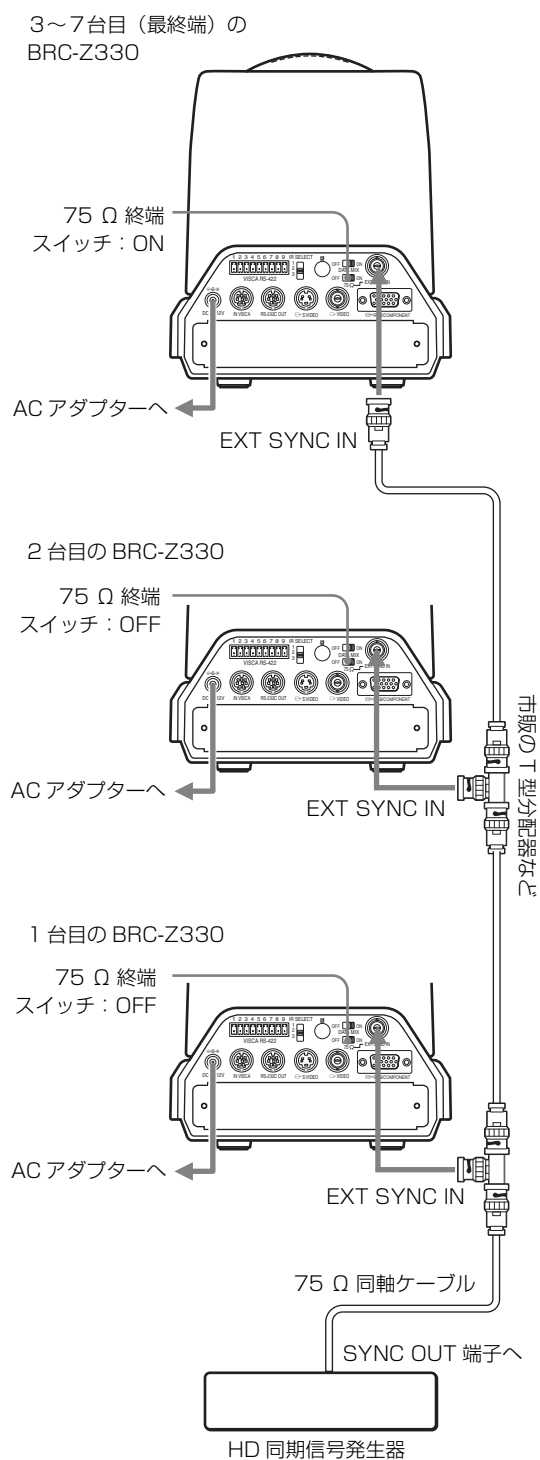
・光ファイバーケーブル接続時は、カメラの VISCA RS-232C 端子と VISCA RS-422 端子は使えません。
・HD オプチカルマルチプレックスユニットとリモートコントロールユニットを VISCA RS-232C 接続または VISCA RS-422 接続する場合は、HD オプチカルマルチプレックスユニット後面の VISCA FUNCTION スイッチ（29 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で使用する VISCA 方式が選択されていることを確認してください。

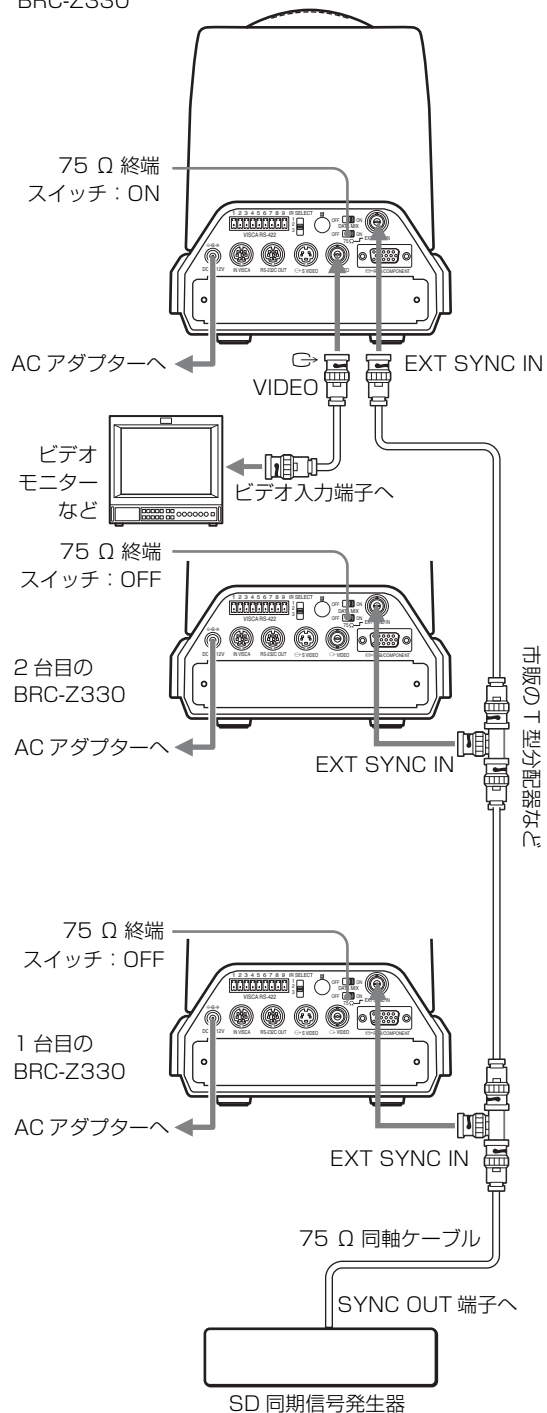
光ファイバーケーブル CCFC-S200 ご使用時のご注意

・光ファイバーケーブルの伝送特性に影響を及ぼさないため、ケーブルの曲げ部分は半径 40 mm 以上確保して固定してください。

・2 本の光ファイバーケーブル CCFC-S200 を接続して延長する場合は、光ファイバーケーブルに付属の延長プラグを使用してください。

光ファイバーケーブル CCFC-S200 は難燃規格 VW-1 適合品です。

外部同期の接続

カメラ 1 台の場合

複数のカメラを HD 同期信号で同期をとる

最大 7 台までのカメラが接続可能です。

複数のカメラを SD 同期信号で同期をとる場合

最大 7 台までのカメラが接続可能です。

メッセージ一覧

本機に表示されるメッセージは、以下のとおりです。必要に応じて次に示す処置を行ってください。

カメラ BRC-Z330 のランプ表示

ランプ	意味と対策
STANDBY ランプの点滅	パン・チルト駆動部にエラーが発生してカメラの動きが停止しました。パン・チルト位置をリセットしてください。または、カメラの電源を入れ直してください。
タリーランプの点滅	この状態で本機を使用すると故障の原因となりますので、本機の電源を切り、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

カメラ BRC-Z330 の画面表示

メッセージ	意味と対策
Please restart system	SYSTEM メニューの IMG-FLIP を変更したとき、カメラの電源を入れ直すことをうながすメッセージです。 付属のリモコンの POWER スイッチまたはリモートコントロールユニット RM-BR300 の POWER ボタンを押して、カメラの電源を入れ直してください。変更した設定が有効になります。
PRESET xx OK (xx はプリセットのポジション番号 01 ～ 16)	ポジション 1 ～ 16 にカメラの状態を記憶させたとき、2 秒間表示されます。
One Push WB...OK (NG)	ホワイトバランスの自動調整中、画面上に表示されます。しばらくお待ちください。調整が終了すると消えます。
⚠ STOP (STATUS メニュー PAGE6 の FAN MOTOR の項目で点滅)	この状態で本機を使用すると故障の原因となりますので、本機の電源を切り、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。
CAUTION COOLING FAN STOPPED !	この状態で本機を使用すると故障の原因となりますので、本機の電源を切り、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。
＊［ENTER］: EXIT	SYSTEM メニューで H PHASE を調整中に表示されます。調整を終了するときは、リモコンの HOME ボタンまたはリモートコントロールユニットのジョイスティックの上部ボタンを押してください。
＊ PUSH ENTER BUTTON	SYSTEM メニューで、H PHASE にカーソルを合わせると表示されます。H PHASE の調整を始めるときは、リモコンの HOME ボタンまたはリモートコントロールユニットのジョイスティック上部のボタンを押します。
PRESET (xx) OUT OF RANGE (xx はプリセットのポジション番号 01 ～ 16)	カメラの現在のパン・チルト位置が PAN-TILT LIMIT の設定範囲外にあるときにプリセットを実行すると表示されます。直前に実行したプリセットポジションは無効となります。カメラのパン・チルト位置を PAN-TILT LIMIT の範囲内に移動させてから再度プリセットを実行してください。

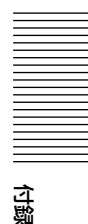
HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 の映像出力からの画面表示

メッセージ	意味と対策
Communication error Please check connection	・ BRC-Z330 の DC IN 12 V 端子に AC アダプターが正しく接続されていない。または、AC コードがコンセントから抜けている可能性があります。BRC-Z330 の電源を確認してください。 ・ BRC-Z330 と BRU-SF10 をつなぐ光ファイバーケーブル CCFC-S200 が正しく接続されていない。または、光ファイバー CCFC-S200 が断線している可能性があります。 ・ BRC-Z330 と BRU-SF10 の映像周波数の設定が異なっている可能性があります。設定方法は 22 ページ、30 ページをご覧ください。上記の条件を確認した後、BRC-Z330 と BRU-SF10 の電源を入れ直してください。
Option card error Please check option card	BRU-SF10 のカードスロットに未サポートのオプションカードが挿入されている場合に表示されます。 BRU-SF10 の電源を切ってからカードを抜いてください。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも具合の悪いときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	付属の AC アダプターが DC IN 12V 端子にしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	電源コードが AC アダプターや電源コンセントにしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 がカードスロットに挿入されている。	カードを抜いてください。
	HD オプチカルマルチプレックスカード BRBK-SF1 と光ファイバーケーブル CCFC-S200、HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 を使用した遠距離リモート操作用のシステムのとき、光ファイバーケーブルが正しく接続されていない、または HD オプチカルマルチプレックスユニットの電源が入っていない。	HD オプチカルマルチプレックスユニットの電源を入れてください、または電源コンセントにしっかり差し込んでください。
付属のリモコンでカメラの電源が入らない。	SYSTEM メニューの IR-RECEIVE が OFF になっている。	リモートコントロールユニット RM-BR300 を使ってメニューを操作し、IR-RECEIVE を ON にしてください（40 ページ）。
	カメラを HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 と接続している。	付属のリモコンからは電源の入切はできません。BRU-SF10 の電源スイッチ、または BRU-SF10 に接続した RM-BR300 の POWER スイッチを使用してください。
接続したビデオモニターに画像が出ない。	映像接続ケーブルが正しく接続されていない。	本機とビデオモニターの接続を確認してください。
	カメラの露出が正しく設定されていない。	EXPOSURE メニューで露出の設定を確認してください。
パン・チルト・ズームが動作しない。	カメラのメニューが表示されている。	付属のリモコンの DATA SCREEN ボタン、またはリモートコントロールユニット RM-BR300 の MENU ボタンを押してメニューを消してください。
	パン・チルト範囲が制限されている。	PAN TILT ZOOM メニューの PAN-TILT LIMIT の設定を変更してください （39 ページ）。
リモコンのボタンを押しても動作しない。	リモコンの CAMERA SELECT ボタンの番号と、カメラの IR SELECT スイッチの設定が違っている。	IR SELECT スイッチの設定と合った CAMERA SELECT ボタンを押してください（47 ページ）。
リモートコントロールユニット RM-BR300 からカメラが操作できない。	VISCA RS-422 接続が正しく行われていない。	VISCA RS-422 端子への接続、および RS-422 ケーブルの配線を確認してください。
	カメラ底面の BOTTOM スイッチでカメラアドレスを 0（AUTO）以外に設定している。	カメラアドレスを確認し（23 ページ）、リモートコントロールユニット後面の MODE 切換スイッチを同じ番号に設定してください（26 ページ）。
	VISCA 通信方法の設定が違っている。	カメラ底面の BOTTOM スイッチ（22 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で正しい通信方法（RS-232C または RS-422）に設定してください。
	通信ボーレートの設定が異なっている。	カメラ底面の BOTTOM スイッチ（22 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で同じボーレート（9600 bps または 38,400 bps）に設定してください。
	未使用のスイッチが ON になっている。	カメラ底面のスイッチ 9、10 を OFF に設定してください（22 ページ）。

症状	原因	処置
コンピューターに接続してもVISCA 通信ができない。	コンピューターが正しく接続されていない。	本機とコンピューターの接続を確認してください。
		カメラ底面の BOTTOM スイッチ（22 ページ）とリモートコントロールユニット底面の DIP スイッチ（27 ページ）で VISCA 通信方法（RS-232C または RS-422）とボーレート（9600 bps または 38,400 bps）が正しく設定されているか確認してください。
		リモートコントロールユニット RM-BR300 に接続して、本機が故障していないか確認してください。
コンピューターに接続したときの画質がビデオモニターの場合と異なる。	コンピューターやコンピューターの内蔵カードの機種によっては、ご希望の画質が得られないことがある。	詳しくは、お手持ちのコンピューターのメーカーや販売店へご相談ください。
どうしても動作しない。	—	電源コードのプラグをコンセントから抜き、しばらくしてからもう一度つないでみてください。

メニューの構成

本機のメニューは次のように構成されています。詳しい内容は、( ) 内のページをご覧ください。
各項目の初期設定値は、**太字**で示しています。

付録

- COLOR（36 ページ）
  - WHITE BALANCE
    - **AUTO1**
      - WB SENS — LOW, **MID**, HIGH
      - WB R.SHIFT — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
      - WB B.SHIFT — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
    - AUTO2
      - WB SENS — LOW, **MID**, HIGH
      - WB R.SHIFT — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
      - WB B.SHIFT — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
    - INDOOR
    - OUTDOOR
    - ONE PUSH
      - WB R.SHIFT — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
      - WB B.SHIFT — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
    - MANUAL
      - R.GAIN — -128 – **000** – +127
      - B.GAIN — -128 – **000** – +127
  - COLOR GAIN — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
  - COLOR HUE — -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7
  - COLOR MATRIX
    - **ON**
      - R.ENHANCE — -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7, +8, +9, +10
      - G.ENHANCE — -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7, +8, +9, +10
      - B.ENHANCE — -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7, +8, +9, +10
      - YL.ENHANCE — -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7 ,+8, +9, +10
      - CY.ENHANCE — -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7, +8, +9, +10
      - MG.ENHANCE — -10, -9, -8, -7, -6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, +1, +2, +3, +4, +5, +6, +7, +8, +9, +10
    - OFF

付録

[1] HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10 をご使用の場合は、表示されません。

[1] HD 信号が 1080/50i、または 720/50p 方式の場合は表示されません。

付録

- STATUS
  (42 ページ)
  - PAGE 1
    - EXPOSURE
      - AE SPEED
      - AGC LIMIT
      - IRIS LIMIT
      - EX-COMP
    - BACK LIGHT
    - SPOT LIGHT
    - COLOR AE
    - ND FILTER
  - PAGE 2
    - WHITE BALANCE
      - WB SENS
      - WB SHIFT
        - R:, B:
      - M. GAIN
        - R:, B:
    - COLOR GAIN
    - COLOR HUE
    - COLOR MATRIX
      - ENHANCE
        - R:, G:, B:, YL:, CY:, MG:
  - PAGE 3
    - DETAIL
    - COLOR DETAIL
      - PHASE
    - GAMMA
    - KNEE POINT
    - FLICKER CANCEL
    - B & W
    - COLOR BAR
  - PAGE 4
    - FOCUS MODE
    - NEAR LIMIT
    - AF ASSIST
    - IR-RECEIVE
    - IMG-FLIP
    - REVERSE
      - PAN, TILT
    - DISPLAY INFO
    - SYNC MASTER
    - H PHASE
  - PAGE 5
    - PAN-TILT LIMIT
      - PAN
        - LEFT
        - RIGHT
      - TILT
        - DOWN
        - UP
    - RAMP CURVE
    - D-ZOOM
  - PAGE 6
    - HD FORMAT
      - RGB SYNC
      - SYNC TYPE
    - SD IMG SIZE
      - SETUP
    - FAN MOTOR
    - BRC VERSION

インターフェースカード挿入時のメニュー

1) HD 信号が 1080/50i または 720/50p 方式の場合は表示されません。

付録

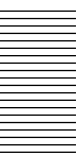
プリセット項目

カメラ内部のメモリーには、次の設定項目が記憶されます。

一般項目

記憶できる項目	プリセットポジション番号															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
パン・チルト位置	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ズーム位置	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フォーカス位置	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

プリセット可能なメニュー項目

記憶できる項目	プリセットポジション番号															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
EXPOSURE MODE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AE SPEED	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AGC LIMIT	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IRIS LIMIT	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MANUAL GAIN	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MANUAL SHUTTER	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MANUAL IRIS	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IRIS Pri VAL	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SHUTTER Pri VAL	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
GAIN Pri VAL	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
EX-COMP MODE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
EX-COMP VAL	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
BACK LIGHT	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SPOT LIGHT	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
COLOR AE[1)]	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PHASE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ND FILTER	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WHITE BALANCE MODE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WB SENS	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WB R.SHIFT（AUTO）	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WB B.SHIFT（AUTO）	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WB R.SHIFT（ONE PUSH）	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WB B.SHIFT（ONE PUSH）	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MANUAL R.GAIN	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MANUAL B.GAIN	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
COLOR GAIN	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
COLOR HUE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
COLOR MATRIX	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R.ENHANCE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
G.ENHANCE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B.ENHANCE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
YL.ENHANCE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CY.ENHANCE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MG.ENHANCE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
DETAIL	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

記憶できる項目	プリセットポジション番号															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
COLOR DETAIL[1]	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PHASE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
GAMMA	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
KNEE POINT	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FLICKER CANCEL	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B&W	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
COLOR BAR	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOCUS MODE	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
NEAR LIMIT	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AF ASSIST	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PAN LIMIT MODE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
TILT LIMIT MODE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
PAN LIMIT AREA	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
TILT LIMIT AREA	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
RAMP CURVE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
D-ZOOM	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
IR-RECEIVE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
IMG-FLIP [2]	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
PAN REVERSE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
TILT REVERSE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DISPLAY INFO	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
SYNC MASTER	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
H PHASE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FORMAT（HD OUTPUT）	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ADD SYNC	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
SYNC TYPE	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
IMG SIZE（SD OUTPUT）	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
SETUP（1080/50i、720/50p のときは記憶できません。）	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

[1] COLOR AE、および COLOR DETAIL で CHECK を選択している場合は、STD として記憶されます。
[2] IMG-FLIP はプリセット時の設定にかかわらず、現在の設定で動作します。

◎ 電源を入れ直しても記憶され、再度電源を入れるとこの設定内容でカメラが起動する項目。
○ 電源を入れ直しても記憶されている項目。
△ 電源投入時のみ設定が反映される項目。
× 電源を入れ直すと記憶が消える項目。

BRU-SF10 使用時に、BRU-SF10 にインターフェースカードを挿入したときに記憶できる項目

記憶できる項目	プリセットポジション番号															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
BRBK-SA1 挿入時に記憶可能なメニュー項目																
D-SUB OUTPUT 1	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ADD SYNC	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
D-SUB OUTPUT 2	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
IMG SIZE[1)]	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
SETUP （50i のときは記憶できません。）	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
BRBK-HSD2 挿入時に記憶可能なメニュー項目																
IMG SIZE[1)]	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

1) BRC-Z330 に挿入して使用する場合は、IMG SIZE は VIDEO OUT の設定と共通になります。
BRU-SF10 に BRBK-SA1 を 2 枚、または BRBK-SA1 と BRBK-HSD2 を SD-SDI として使用する場合は、IMG SIZE の設定は、2 枚のオプションカードで共通となります。BRU-SF10 に BRBK-HSD2 を 2 枚、または BRBK-SA1 と BRBK-HSD2 を SD-SDI として使用する場合は、IMG SIZE の設定は、2 枚のオプションカードで共通となります。

◎ 電源を入れ直しても記憶され、再度電源を入れるとこの設定内容でカメラが起動する項目。
○ 電源を入れ直しても記憶されている項目。
△ 電源投入時のみ設定が反映される項目。
× 電源を入れ直すと記憶が消える項目。

仕様

システム

映像信号　1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、720/50p（BOTTOM スイッチで切り換え）
同期方式　内部同期／外部同期方式、自動切り換え
映像素子　6 mm（1/3 型）、CMOS 固体撮像素子
総画素数：約 225 万画素
有効画素数：約 216 万画素
レンズ　光学 18 倍、デジタル 4 倍
f = 4.6 mm ～ 82.8 mm、F1.6 ～ F2.2
f = 36.2 mm ～ 651.0 mm（35mm カメラ換算）
最至近撮影距離　100 mm（WIDE 端：LIMIT OFF）／500 mm（WIDE 端：LIMIT ON）／1500 mm（TELE 端）
最低被写体照度　6 ルクス（F1.6）／50 IRE にて（WIDE 端）
シャッタースピード
1/59.94（1/50）～ 1/10,000 秒
映像 S/N　50 dB（コンポーネント Y 出力）
パン・チルト機能
水平 ± 175°
最高速度：60°／秒
最低速度：0.25 °／秒
垂直 + 90°、－ 30°
最高速度：60 °／秒
最低速度：0.25 °／秒

入出力端子

映像出力　RGB/COMPONENT（D-sub 15 ピン）
RGB：0.7 Vp-p（同期なし、75 Ω 終端時）
1 Vp-p（± 0.3V、3 値同期付き、75 Ω 終端時）
コンポーネント：
Y：1 Vp-p（± 0.3V、3 値同期付き、75 Ω 終端時）
Pb/Pr：± 350 mVp-p、75 Ω 終端
HD/VD Sync：1 Vp-p、75 Ω 終端
3 値 Sync：± 300 mVp-p、75 Ω 終端
VIDEO（BNC 型）
コンポジット：1 Vp-p（同期負、75 Ω 終端時）
S VIDEO（4 ピンミニ DIN）
S 映像出力：
Y：1 Vp-p（同期負、75 Ω 終端時）
C：コンポジットのクロマレベルと同じ（75 Ω 終端時）
外部同期入力　EXT SYNC IN：BNC 型
コントロール入／出力端子
VISCA RS-232C IN：8 ピンミニ DIN
VISCA RS-232C OUT：8 ピンミニ DIN
VISCA RS-422：9 ピン
コントロール信号形式
9600 bps/38400 bps、
データ 8 ビット、ストップ 1 ビット
電源端子　JEITA type4 (DC IN 12V 端子)

その他

入力電圧　DC 12 V（DC 10.8 ～ 13.2 V）
消費電流　最大 1.5 A（DC 12 V 入力時）、18 W、別売のインターフェースカードなしのとき
動作温度　0 ～ 40 ℃
保存温度　－ 20 ～ + 60 ℃
最大外形寸法　本体：約 160.8 × 186 × 193.4 mm（幅／高さ／奥行き）（突起含まず）
リモコン：約 56 × 26 × 210 mm（幅／高さ／奥行き）
質量　本体：約 1.9 kg
リモコン：約 110 g
設置角度　水平に対して ± 15°以内

付属品

AC アダプター MPA-AC1（ソニー製）（AC 100 V、50/60 Hz）（1）
電源コード（1）
リモコン（1）
シーリングブラケット（A）（1）
シーリングブラケット（B）（1）
ワイヤーロープ（1）
取り付け用ネジ（⊕M3 × 8）（7）
ステンレスネジ（⊕M4 × 8）（1）
RS-422 端子台コネクター（1）
取扱説明書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

付録

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

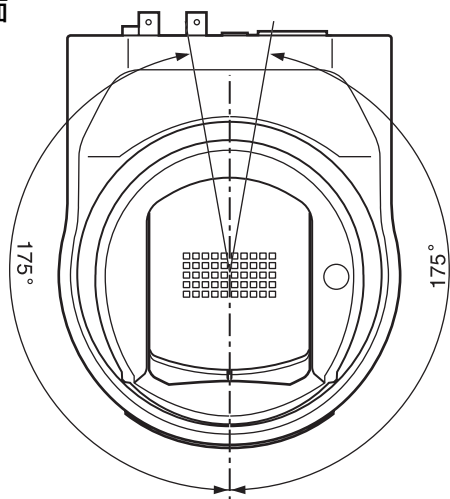
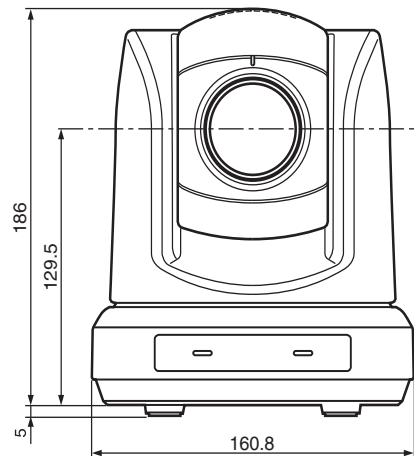
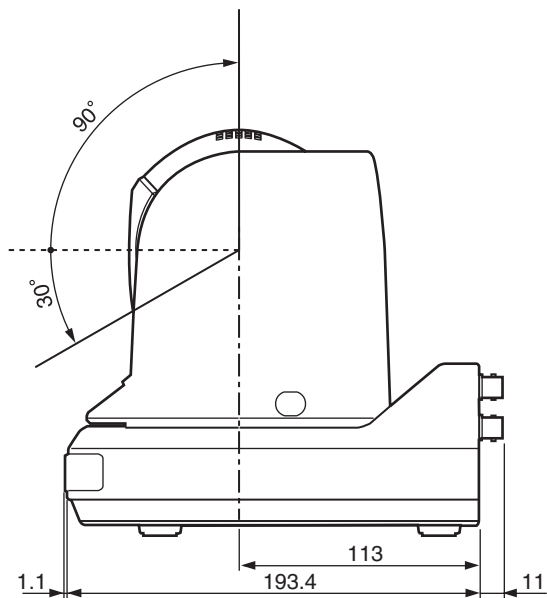
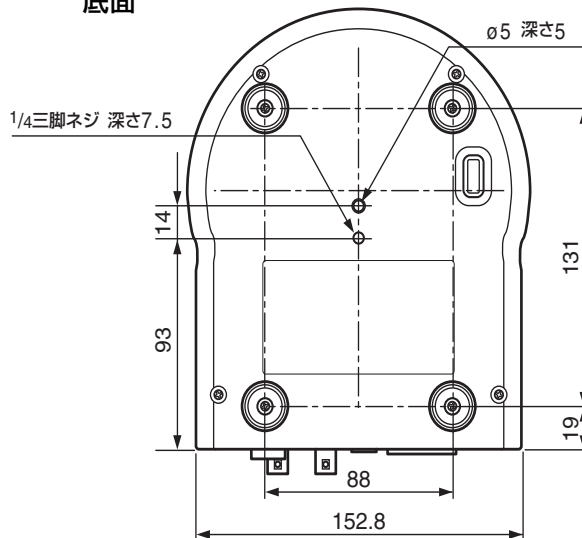
VCCI-A

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

付録

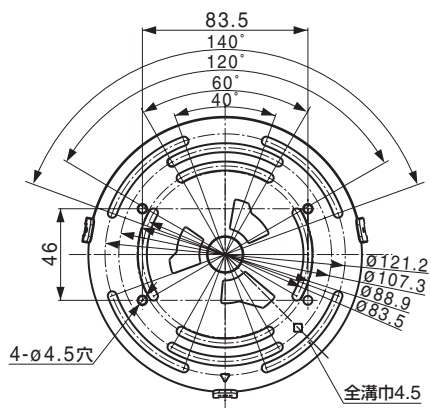
寸法図

カメラ BRC-Z330

上面

正面

側面

底面

シーリングブラケット（B）

上面

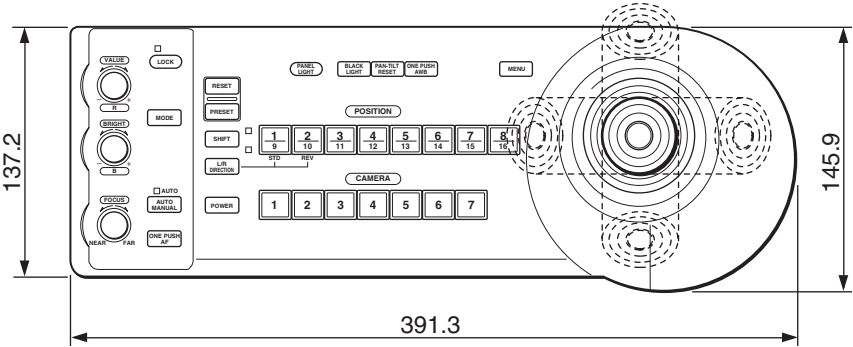
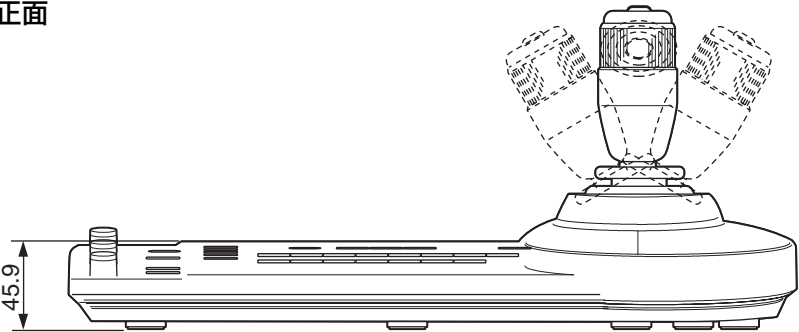
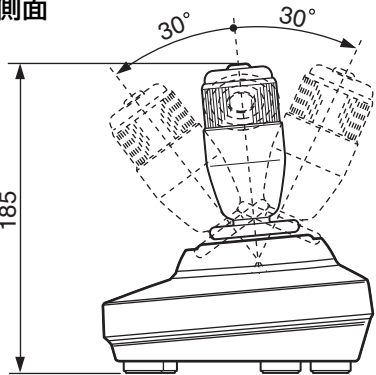
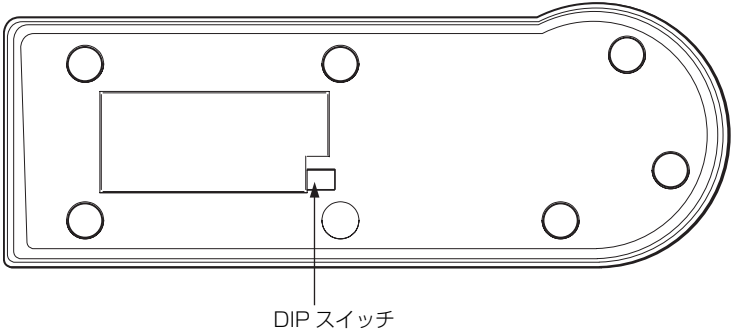
単位：mm

付録

リモートコントロールユニット RM-BR300

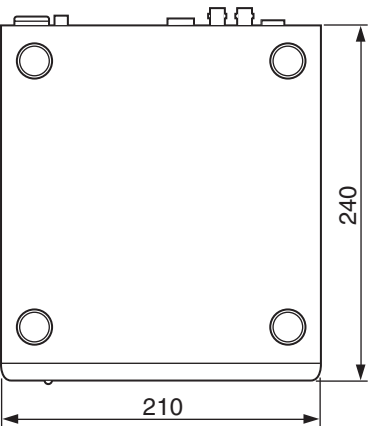
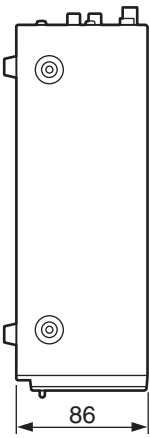
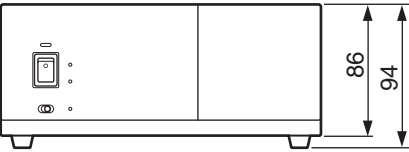
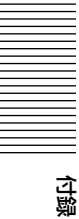
上面

正面

側面

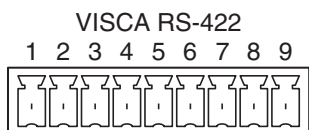
底面

単位：mm

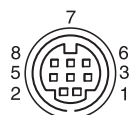
HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10

上面

側面

正面

単位：mm

端子のピン配列

カメラ BRC-Z330

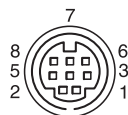
VISCA RS-422 端子（コンタクト端子台、9 ピン）

VISCA RS-422
1 2 3 4 5 6 7 8 9

ピン番号	機能
1	RXD OUT −
2	RXD OUT+
3	TXD OUT −
4	TXD OUT+
5	GND
6	RXD IN −
7	RXD IN+
8	TXD IN −
9	TXD IN+

VISCA RS-232C IN 端子（8 ピンミニ DIN、メス）

IN VISCA RS-232C

ピン番号	機能
1	DTR IN
2	DSR IN
3	TXD IN
4	GND
5	RXD IN
6	GND
7	SIRCS OUT *
8	未使用

* ピン 7 の SIRCS OUT は、底面の BOTTOM スイッチにて切り換え可能です。

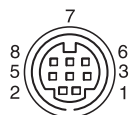
VISCA RS-232C OUT 端子（8 ピンミニ DIN、メス）

VISCA RS-232C OUT

ピン番号	機能
1	DTR OUT
2	DSR OUT
3	TXD OUT
4	GND
5	RXD OUT
6	GND
7	未使用
8	未使用

アナログ RGB/COMPONENT 端子（D-sub 15 ピン）

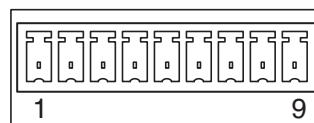
ピン番号	機能			
	YPbPr COMPONENT 設定時	YPbPr COMPONENT 設定時、VD 時	RGB 設定時 SYNC 時	RGB 設定時 VD 時
1	Pr-OUT	Pr-OUT	R-OUT	R-OUT
2	Y-OUT	Y-OUT	G-OUT	G-OUT
3	Pb-OUT	Pb-OUT	B-OUT	B-OUT
4	GND	GND	GND	GND
5	GND	GND	GND	GND
6	GND	GND	GND	GND
7	GND	GND	GND	GND
8	GND	GND	GND	GND
9	NC	NC	NC	NC
10	GND	GND	GND	GND
11	GND	GND	GND	GND
12	NC	NC	NC	NC
13	HD-OUT	HD-OUT	HD-OUT	HD-OUT
14	3 値 SYNC-OUT	2 値 VD-OUT	3 値 SYNC-OUT	2 値 VD-OUT
15	NC	NC	NC	NC

リモートコントロールユニット RM-BR300（別売）

VISCA RS-232C 出力端子（8 ピンミニ DIN、メス）

ピン番号	機能
1	未使用
2	未使用
3	TXD IN
4	GND
5	RXD IN
6	GND
7	未使用
8	未使用

VISCA RS-422 端子 (コンタクト端子台、9 ピン)

ピン番号	機能
1	未使用
2	未使用
3	未使用
4	未使用
5	GND
6	RXD IN −
7	RXD IN +
8	TXD IN −
9	TXD IN +

TALLY/CONTACT 端子（コンタクト端子台、9 ピン）

ピン番号	機能
1	CAMERA 1
2	CAMERA 2
3	CAMERA 3
4	CAMERA 4
5	CAMERA 5
6	CAMERA 6
7	CAMERA 7
8	GND
9	GND

HD オプチカルマルチプレックスユニット BRU-SF10（別売り）

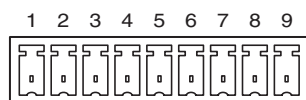
VISCA RS-232C IN 端子（8 ピンミニ DIN、メス）

ピン番号	機能
1	DTR IN
2	DSR IN
3	TXD IN
4	GND
5	RXD IN
6	GND
7	未使用
8	未使用

付録

VISCA RS-232C OUT 端子（8 ピンミニ DIN、メス）

ピン番号	機能
1	DTR OUT
2	DSR OUT
3	TXD OUT
4	GND
5	RXD OUT
6	GND
7	未使用
8	未使用

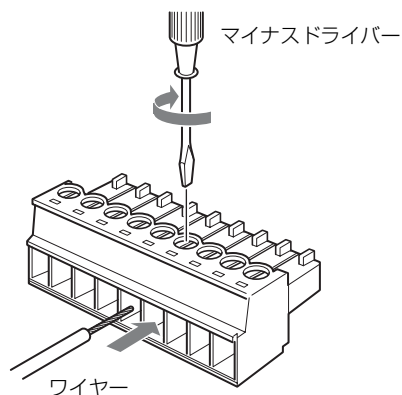
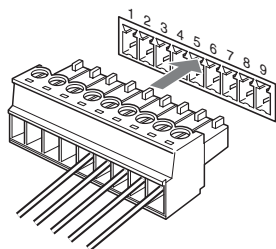
VISCA RS-422 端子 (コンタクト端子台、9 ピン)

ピン番号	機能
1	RXD OUT −
2	RXD OUT +
3	TXD OUT −
4	TXD OUT +
5	GND
6	RXD IN −
7	RXD IN +
8	TXD IN −
9	TXD IN +

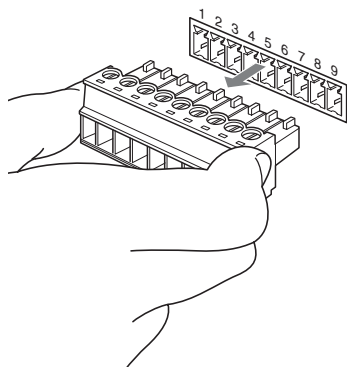
アナログ RGB/COMPONENT 端子（D-sub 15 ピン）

ピン番号	機能			
	YPbPr COMPONENT 設定時	YPbPr COMPONENT 設定時、VD 時	RGB 設定時 SYNC 時	RGB 設定時 VD 時
1	Pr-OUT	Pr-OUT	R-OUT	R-OUT
2	Y-OUT	Y-OUT	G-OUT	G-OUT
3	Pb-OUT	Pb-OUT	B-OUT	B-OUT
4	GND	GND	GND	GND
5	GND	GND	GND	GND
6	GND	GND	GND	GND
7	GND	GND	GND	GND
8	GND	GND	GND	GND
9	NC	NC	NC	NC
10	GND	GND	GND	GND
11	GND	GND	GND	GND
12	NC	NC	NC	NC
13	HD-OUT	HD-OUT	HD-OUT	HD-OUT
14	3 値 SYNC-OUT	2 値 VD-OUT	3 値 SYNC-OUT	2 値 VD-OUT
15	NC	NC	NC	NC

VISCA RS-422 接続の配線図

VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた

1 ワイヤー（AWG No.28 ～ 18）を接続したい穴に差し込み、入れた穴に対応するネジをマイナスドライバーで固定する。

2 VISCA RS-422 端子台コネクターを VISCA RS-422 端子へ差し込む。

コネクタープラグを取り外すには

VISCA RS-422 端子台コネクタープラグの両端を持ち、図のように引き抜きます。

ご注意

・信号の電圧レベルを安定させるため、お互いの GND を接続してください。
・VISCA RS-422 の接続時は、VISCA RS-232C との接続はできません。
・VISCA RS-422 接続の最大距離は、約 1.2 km です。

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口へ

裏表紙にあるソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。